

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
鈴木康夫	1.潰瘍性大腸炎	水澤英洋/五十嵐 隆/北川泰久/高橋和久/弓倉 整	指定難病ペディア 2019	日本医師会	東京	222-2223	2019
山田哲弘、松岡克善、鈴木康夫	炎症性腸疾患の内科治療 抗 TNF- 抗体製剤-ゴリムマブ	監修：鈴木康夫	【臨牀日本消化器内科 6月増刊号】 炎症性腸疾患診療の update-診断・治療の最新知見	日本メディカルセンター	東京	142-145	2019
山田哲弘、竹内 健、鈴木康夫	第6章 症例から学ぶ 症例 5 1) 診断に関する症例 食道気管支	監修：鈴木康夫、編集：飯塚文瑛、田中正則、松田隆秀	腸管ペーチェット病のすべてがわかる：診療ハンドブック	先端医学社	東京	155-156	2018
山田哲弘、竹内 健、鈴木康夫	第6章 症例から学ぶ 症例4 1) 診断に関する症例 食道穿孔を認めた腸管ペーチェット病(不全型)の1例	監修：鈴木康夫、編集：飯塚文瑛、田中正則、松田隆秀	腸管ペーチェット病のすべてがわかる：診療ハンドブック	先端医学社	東京	154-155	2018
竹内 健、鈴木康夫	第2章 腸管ペーチェット病の臨床診断 2 画像診断 C.CT/MRI	監修：鈴木康夫、編集：飯塚文瑛、田中正則、松田隆秀	腸管ペーチェット病のすべてがわかる：診療ハンドブック	先端医学社	東京	41-43	2018
Yasuo Suzuki	【Part III Endoscopy in the Management of IBD】 Chapter 15 Endoscopy in the Management of Inflammatory Bowel Disease	Toshifumi Hibi Tadakazu Hisamatsu Taku Kobayashi	Advances in Endoscopy in Inflammatory Bowel Disease	Springer	tokyo	155-162	2017
Ken Takeuchi, Miyuki Miyamura, Tsunetaka Arai, Rumiko Ishikawa, Akihiro Yamada and Yasuo Suzuki	Current Progress of Endoscopy in Inflammatory Bowel Disease: CT Enterography and CT Colonography in Inflammatory Bowel Disease.	Toshifumi Hibi Tadakazu Hisamatsu Taku Kobayashi	Advances in Endoscopy in Inflammatory Bowel Disease	Springer	tokyo	43-56	2017
鈴木康夫	章 治療法各論 炎症性腸疾患 潰瘍性大腸炎	総編集：佐々木 裕 専門編集：渡辺 守	腸疾患診療の現在	中山書店	東京	214-220	2017
山田哲弘、鈴木康夫	虚血性大腸炎	監修：猿田享男、北村惣一郎	1336専門家による私の治療 2017-18年度版	日本医事新報社	東京	395-396	2017
池内 浩基、内野 基	【潰瘍性大腸炎手術】トラブルシューティング - J-pouch が肛門まで届かない!! -	杉山 政則, 正木 忠彦, 阿部 展次: 編	消化器外科手術 起死回生の一手	メジカルビュー社	東京	161-165	2019
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki	Surveillance Colonoscopy (Cases of Small Intestinal Cancers in Crohn's Disease, Cases of Anal Cancers in Crohn's Disease).	Ed.: Hibi Toshifumi, Hisamatsu Tadakazu, Kobayashi Taku	Advances in Endoscopy in Inflammatory Bowel Disease	Springer Japan	Tokyo	221-228	2017
秋田義博, 猿田雅之.	炎症性腸疾患薬物療法の新展開.	小池和彦、山本博徳、瀬戸泰之	消化器疾患の最新の治療 2019-2020	南江堂	東京	12-15	2019
清水俊明, 大塚宜一.	小児消化器疾患.	五十嵐隆	別冊「医学のあゆみ」移行期医療	医歯薬出版株式会社	東京	92-97	2019
Hirosuke Kuroki, Akira Sugita, Kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi, Ryo Futatsuki, Katsuhiko Araki,	Two cases of esophageal ulcer after surgical treatment for ulcerative colitis		Clinical Journal of Gastroenterology			Online20 December	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
Hideki Kumagai, Takahiro Kudo, Kenji Uchida, Reiko Kunisaki, Akira Sugita, Yoshikazu Ohtsuka, Katsuhiko Arai, Mitsuru Kubota, Hitoshi Tajiri, Yasuo Suzuki and Toshiaki Shimizu	Adult gastroenterologists' views on transitional care : Results from a survey		Pediatrics International 34(7)	Springer		817-822	2019
Akira Sugita, Kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi, Ryo Futatsuki, Hirosuke Kuroki, Kyoko Ymada, Hideaki Kimura & Tsuneo Fukushima	Postoperative functional outcomes and complications of partially intraanal canal anastomosis in stapled ileal pouch anal anastomosis for ulcerative colitis		International journal of Colorectal Disease Clinical and Molecular Gastroenterology and Surgery 61(8)	Springer		1317-1323	2019
Hiroki Ikeuchi, Motoi Uchino, Akira Sugita, Kitano Futami, Kouhei Fukushima, Keisuke Hata, Kazutaka Koganei, Masato Kusunoki, Keiichi Uchida, Riichiro Nezu, Hideaki Kimura, Kenichi Takahashi, Michio Itabashi, Hitoshi Kameyama, Daijiro Higashi, Fumikazu Koyama, Takeshi Ueda, Tsunekazu Mizushima, Yasuo Suzuki	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch-anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients: Multicenter national study in Japan.		J Gastroenterol (2)			Issue 6	2018
Hirosuke Kuroki, Akira Sugita, Kazutaka Koganei, Kenji Tatsumi, Ryo Futatsuki, Nao Obara, Katsuhiko Arai, Tsuneo Fukushima	Crohn's disease manifesting as ileo-urachal fistula: Two cases reports and review of literatures.		International Journal of Surgery Case Reports (53)			70-74	2018
Kanada S, Sugita A, Mikami T, Ohashi K, Hayashi H	Microcarcinoid arising in patients with long-standing ulcerative colitis: histological analysis		Human Pathology 64			28-36	2017
仲瀬裕志	免疫制御薬 - シクロスポリン, タクロリムス	監修 鈴木康夫 編集 臨牀消化器内科編集委員会	炎症性腸疾患診療の update - 診断・治療の最新知見	日本メディカルセンター	東京	126-130	2019
仲瀬裕志	クローン病		最適治療を極める!	医学と看護社	東京	1-78	2019
仲瀬裕志	腸管(型) Behçet 病と単純性潰瘍	編集 南学正臣	内科学書 改訂第9版 Vol.4	中山書店	東京	193-195	2019
仲瀬裕志	膠原病の消化管病変	編集 南学正臣	内科学書 改訂第9版 Vol.4	中山書店	東京	278-281	2019
仲瀬裕志	11. 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)	編集: 櫻井晃洋	最新 多因子遺伝性疾患研究と遺伝カウンセリング	メディカルドゥ	大阪	165-169	2018
仲瀬裕志	炎症性腸疾患の免疫学的要因 自然免疫・獲得免疫の関与		炎症性腸疾患(第2版)	日本臨床	大阪	76:83-86	2018
仲瀬裕志	潰瘍性大腸炎とは		最適治療を極める! 潰瘍性大腸炎	医学と看護社	東京	1-82	2018
仲瀬裕志, 飯田智哉	消化器疾患 C 腸 潰瘍性大腸炎	編集: 小池和彦, 山本博徳, 瀬戸泰之	消化器疾患 最新の治療 2017-2018	南江堂	東京	206-211	2017
仲瀬裕志	消化器疾患 小腸・大腸・肛門疾患 薬剤による顕微鏡的大腸炎 放射線性腸炎	監修: 猿田享男, 北村惣一郎	1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版	日本医事新報社	東京	406-408	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
仲瀬裕志	章 治療法総論 炎症性腸疾患 免疫調節薬, 免疫制御薬	編集: 渡辺守, 佐々木裕, 木下 芳一, 下瀬川徹	プリンシプル消化 器疾患の臨床2 腸 疾患診療の現在	中山書店	東京	130-134	2017
仲瀬裕志, 飯田智哉	ガイドラインを活かしたクローン 病の診断と治療		IBD Research	先端医学社	東京	11:76-80	2017
飯田智哉, 平山大輔, 仲瀬裕 志	潰瘍性大腸炎に対するカルシニウ ーリン阻害薬の適応と位置づけ		Mebio	メジカルビュ ー	東京	34:41-49	2017
仲瀬裕志	炎症性腸疾患診療について		別冊 BIO Cliniva	北隆館	東京	6:58-62	2017
仲瀬裕志	チオプリン製剤の位置づけ ベネフィットとリスクから		IBD Research	先端医学社	東京	11:207-212	2017
中村 志郎, 樋田 信幸, 渡 辺 憲治.	炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クロ ーン病)	泉 孝英	今日の診療のため に ガイドライン 外来診療 2018	日経メディカ ル開発	東京	447-52	2018
中村 志郎, 横山 陽子.	trisomy8 を合併した高齢発症の腸 管ペーチェット病(疑い)の1例.	飯塚 文瑛, 田 中 正則, 松田 隆秀.	腸管ペーチェット 病のすべてがわか る診療ハンドブック.	先端医学社	東京	178-9	2018
岸 昌廣, 平井郁仁, 八尾 建史	Celiac 病の十二指腸病変	藤城光弘(編 集)	十二指腸内視鏡 ATLAS	日本メディカ ルセンター	東京	104-105	2017
福島浩平, 渡辺和弘, 神山 篤史	わが国炎症性腸疾患の自然史	福島浩平	炎症性腸疾患(第 2版)	日本臨床	東京	40-45	2018
福島浩平, 渡辺和弘, 神山 篤史	術後 pouchitis(回腸囊炎) の診断 と治療	福島浩平	炎症性腸疾患(第 2版)	日本臨床	東京	464-468	2018
福島浩平, 渡辺和弘	回腸囊炎の診断と治療	日比紀文、久 松理一	IBD を日常診療で 診る	羊土社	東京	212-216	2017
二見 喜太郎, 東 大二郎, 平野 由紀子, 小金井 一 隆, 内野 基, 高橋 賢一, 杉田 昭, 池内 浩基, 佐々 木 巖, 根津 理一郎, 舟山 裕士, 藤井 久男, 福島 浩 平, 板橋 道朗, 荒木 俊 光, 畑 啓介, 篠崎 大, 木 村 英明, 水島 恒和, 亀山 仁史, 佐原 力三郎, 梅枝 寛, 太田 章比古, 江崎 幹 宏, 渡辺 憲治, 平井 郁仁	クローン病肛門部病変のすべて - 診断から治療まで -	厚生労働科学 研究費補助金 難治性疾患等 施策研究事業 「難治性炎症性 腸管障害に関 する調査研 究」(鈴木班)	第二版 クローン病肛門部 病変のすべて - 診 断から治療まで -			1-54	2019
虹川大樹, 四龍美帆	潰瘍性大腸炎	日本小児栄養 消化器肝臓学 会	小児臨床栄養学 改訂第2版	診断と治療社	東京	200-204	2018
新井勝大.	IBD エキスパートをめざして 小児IBD患者の診療.	日比紀史、久 松理一	IBD を日常診療 で診る 炎症性腸 疾患を疑うべき症 状と、患者にあわ せた治療法.	羊土社	東京	217-221	2017
Kobayasi Yumie, Ohfuji Satoko, Kondo Kyoko, Fukushima Wakaba	Association between dietary iron and zinc intake and development of ulcerative colitis: A case-control study in Japan	Joseph Sung	Journal Gastroenterology and Hepatology	Wiley		2019 Oct;34(10): 1703-1710	2019
熊谷秀規	消化器領域における移行支援	水口雅監修, 石崎優子編著	小児期発症慢性疾 患患者のための移 行支援ガイド. 初 版	じほう	東京	p72-73	2018
Hibi T, Hisamatsu T, Kobayashi T.	Endoscopic Indices for Ulcerative Colitis.	Hibi T, Hisamatsu T, Kobayashi T.	Advances in Endoscopy in Inflammatory Bowel Disease	Springer Japan	東京	163-172	2018
Saitoh Y, Fujiya M.	Chapter 1 Conventional Colonoscopy Including Indigo Carmine Dye Spray	Tanaka S, Saitoh Y.	Endoscopic Management of Colorectal T1(SM) Carcinoma	Springer	Tokyo	in press	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
Saitoh Y, Fujiya M.	Chapter 5 Endoscopic Ultrasound Sonography Including High-Frequency Ultrasound Probes	Tanaka S, Saitoh Y.	Endoscopic Management of Colorectal T1(SM) Carcinoma	Springer	Tokyo	in press	2020
藤谷幹造	III-C. 腸管感染症	小池和彦、山本博徳、瀬戸泰之	消化器疾患最新の治療 2019-2021	南江堂	東京	181-184	2019
齊藤裕輔、稲場勇平、藤谷幹造	超音波内視鏡(EUS)	田尻久雄、長南明道、田中信治、武藤学	内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像 改訂第4版	日本メディカルセンター	東京	129-138	2018
藤谷幹造	第III編 乳酸菌 第7章 乳酸菌由来活性質を用いた新規治療薬の開発	五味勝也, 阿部敬悦	酵母菌・酵母菌・麹乳酸の産業応用展開	シーエムシー出版	東京		2018
藤谷幹造	急性腸管虚血の病態	佐々木裕、木下芳一、下瀬川徹、渡辺守	プリンシプル消化器疾患の臨床「腸疾患診療の現在」	中山書店	東京	50-53	2017
藤谷幹造、中村哲也、緒方晴彦	小腸 カプセル内視鏡	日本消化器内視鏡学会、日本消化器内視鏡学会卒後教育委員会	消化器内視鏡ハンドブック改訂第2版	日本メディカルセンター	東京	349-354	2017
松浦 稔	腸管ペーチェット病の鑑別診断 サイトメガロウイルス腸炎	久松理一	Intestine	日本メディカルセンター	東京	505-511	2019
松浦 稔	IBD に合併する皮膚病変.	仲瀬裕志	IBD Research	先端医学社	東京	131-137	2019
松浦 稔, 妹尾 浩.	実地内科医のための潰瘍性大腸炎診療 ABC 急性増悪の要因と対処.	穂刈量太	診断と治療	診断と治療社	東京	831-836	2019
松浦 稔, 本澤有介, 山本修司, 妹尾 浩.	炎症性腸疾患診療のupdate-診断・治療の最新知見 サイトメガロウイルス(CMV)腸炎.	鈴木康夫	臨床消化器内科	日本メディカルセンター	東京	888-893	2019
松浦 稔, 本澤有介, 山本修司, 妹尾 浩.	サイトメガロウイルス感染症: 最近の知見	緒方晴彦	Intestine	日本メディカルセンター	東京	167-173	2019
松浦 稔, 本澤有介, 山本修司, 妹尾 浩, 仲瀬裕志	IBDの類縁疾患を知り、鑑別する! 家族性地中海熱	加藤 順	IBD Research	先端医学社	東京	85-92	2018
吉村 直樹	ワンランク上を目指したGMAの治療戦略	桑山 肇	消化器の臨床	ヴァン メディカル	東京	79-80	2019
吉村 直樹	クローン病に対する顆粒球・単球吸着除去療法	桑山 肇	消化器の臨床	ヴァン メディカル	東京	60-66	2018
吉村 直樹	潰瘍性大腸炎での抗 TNF 抗体薬治療の選択	桑山 肇	消化器の臨床	ヴァン メディカル	東京	140-148	2017
吉村 直樹、岡野 荘、酒匂美奈子、高添 正和	難治性潰瘍性大腸炎に対する抗 TNF 抗体製剤アダリムマブの適応と有効性の検討	中村 治雄	Progress in Medicine	ライフサイエンス出版	東京	401-408	2017
吉村 直樹、岡野荘、酒匂美奈子、高添正和	活動期潰瘍性大腸炎における新規MMX型メサラジン放出調節剤(リアルダ錠)の有効性の検討	松岡 光明	Pharma Medica	メディカルレビュー社	大阪	92-99	2017
渡辺憲治	10. 画像強調観察(IEE)、(2) NBI、炎症性腸疾患での有用性	監修 田尻久雄、編集 田中信治、長南明道、武藤学	内視鏡診断のプロセスと疾患別内視鏡像[下部消化管]	日本メディカルセンター	東京	114-118	2018
渡辺憲治、十河光栄、鎌田紀子	第5章 治療法 E. アザチオプリン / 6-メルカプトプリン	監修: 鈴木康夫 編集: 飯塚文瑛、田中正則、松田隆秀 編集協力: 小林清典、長沼誠、星野惠津夫、本間照、渡辺憲治	腸管ペーチェット病のすべてがわかる診療ハンドブック	先端医学社	東京	121-124	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
渡辺憲治、末包剛久、佐野弘治	第5章 治療法 B. ステロイド	監修：鈴木康夫 編集：飯塚文瑛、田中正則、松田隆秀 編集協力：小林清典、長沼誠、星野恵津夫、本間照、渡辺憲治	腸管ベーチェット病のすべてがわかる診療ハンドブック	先端医学社	東京	111 - 113	2018
宮崎孝子、鎌田紀子、渡辺憲治	第6章 症例から学ぶ 症例8 経過中に潰瘍性大腸炎様の内視鏡像を呈した腸管ベーチェット病(不全型)の一例	監修：鈴木康夫 編集：飯塚文瑛、田中正則、松田隆秀 編集協力：小林清典、長沼誠、星野恵津夫、本間照、渡辺憲治	腸管ベーチェット病のすべてがわかる診療ハンドブック	先端医学社	東京	162 - 163	2018
渡辺憲治	Mini Lecture "Treat to Target"	渡辺 守	プリンシプル消化器疾患の臨床 『プリンシプル消化器疾患の臨床』	中山書店	東京	298 - 299	2017
渡辺憲治	炎症性腸疾患 疾患のポイントをおさえよう、潰瘍性大腸炎の治療法はどうやって決めるの?、クローン病の治療法はどうやって決めるの?、IBD患者に非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)を使用してはいけないの?	西口幸雄, 久保健太郎	日ごろの?をまとめて解決 消化器ナースのギモン	照林社	東京	78-79、80-81、82-83、87	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Mari S OBA, Yoshitaka Murakami, Yuji Nishiwaki, Keiko Asakura, Satoko Ohfuji, Wakaba Fukushima, Yoshikazu Nakamura, <u>Yasuo Suzuki</u>	Estimated prevalence of Cronkhite-Canada Syndrome, Chronic Enteropathy Associated with SLC02A1 Gene, and Intestinal Behçet's Disease in Japan in 2017: A Nationwide Survey	J Epidemiol	In press		2020
Yoshitaka Murakami, Yuji Nishiwaki, Mari S Oba, Keiko Asakura, Satoko Ohfuji, Wakaba Fukushima, <u>Yasuo Suzuki</u> , Yosikazu Nakamura	Correction To: Estimated Prevalence of Ulcerative Colitis and Crohn's Disease in Japan in 2015: An Analysis of a Nationwide Survey	J Gastroenterol	55 (1)	131	2019
Kumagai H, Kudo T, Uchida K, Kunisaki R, Sugita A, Ohtsuka Y, Arai K, Kubota M, Tajiri H, <u>Suzuki Y</u> , Shimizu T.	Adult gastroenterologists' views on transitional care: Results from a survey.	Pediatr Int	61 (8)	817-822	2019
Yoshitaka Murakami, Yuji Nishiwaki, Mari S Oba, Keiko Asakura, Satoko Ohfuji, Wakaba Fukushima, <u>Yasuo Suzuki</u> , Yosikazu Nakamura	Estimated Prevalence of Ulcerative Colitis and Crohn's Disease in Japan in 2014: An Analysis of a Nationwide Survey	J Gastroenterol	54(12)	1070-1077	2019
Kondo K, Ohfuji S, Watanabe K, Yamagami H, Fukushima W, Ito K, <u>Suzuki Y</u> , Hirota Y; Japanese Case-Control Study Group for Crohn's disease.	The association between environmental factors and the development of Crohn's disease with focusing on passive smoking: A multicenter case-control study in Japan.	PLoS One	14(6)	e0216429	2019
<u>鈴木康夫</u>	本邦で急増する炎症性腸疾患患者と代謝的側面(消化器)	日本内科学会雑誌	108 (4)	666-672	2019
Keisuke Hata, Hiroyuki Anzai, Hiroki Ikeuchi, Kitaro Futami, Kouhei Fukushima, Akira Sugita, Motoi Uchino, Daijiro Higashi, Michio Itabashi, Kazuhiro Watanabe, Kazutaka Koganei, Toshimitsu Araki, Hideaki Kimura, Tsunekazu Mizushima, Takeshi Ueda, Soichiro Ishihara, <u>Yasuo Suzuki</u> , on behalf of the Research Group for Intractable Inflammatory Bowel Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan (RGIBD)	Surveillance colonoscopy for ulcerative colitis-associated colorectal cancer offers better overall survival in real-world surgically resected cases	American Journal of Gastroenterology	114(3)	483-489	2019
Ikuta K, Ito H, Takahashi K, Masaki S, Terauchi M, <u>Suzuki Y</u> .	Safety and efficacy of intravenous ferric carboxymaltose in Japanese patients with iron-deficiency anemia caused by digestive diseases: an open-label, single-arm study.	Int J Hematol	109(1)	50-58	2018
Kakuta Y, Kawai Y, Okamoto D, Takagawa T, Ikeya K, Sakuraba H, Nishida A, Nakagawa S, Miura M, Toyonaga T, Onodera K, Shinozaki M, Ishiguro Y, Mizuno S, Takahara M, Yanai S, Hokari R, Nakagawa T, Araki H, Motoya S, Naito T, Moroi R, Shiga H, Endo K, Kobayashi T, Naganuma M, Hiraoka S, Matsumoto T, Nakamura S, Nakase H, Hisamatsu T, Sasaki M, Hanai H6, Andoh A, Nagasaki M, Kinouchi Y, Shimosegawa T, Masamune A, <u>Suzuki Y</u> ; MENDEL study group.	NUDT15 codon 139 is the best pharmacogenetic marker for predicting thiopurine-induced severe adverse events in Japanese patients with inflammatory bowel disease: a multicenter study.	J Gastroenterol	53 (9)	1065-1078	2018
Motoya S, Watanabe M, Wallace K., Lazar A, Nishimura Y, Ozawa M, Thakkar R, Robinson A., Singh R, Mostafa N, <u>Suzuki Y</u> , Hibi T	Efficacy and safety of dose escalation to adalimumab 80 mg every other week in Japanese patients with Crohn's disease who lost response to maintenance therapy	Intestinal Inflammatory Diseases	2(4)	228-235	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Shunsuke Komoto, Katsuyoshi Matsuoka, Taku Kobayashi, Yoko, Yokoyama, Yasuo Suzuki, Toshifumi Hibi, Soichiro Miura, Ryota Hokari	Safety and Efficacy of Leukocytapheresis in elderly patients with Ulcerative Colitis: -the impact of Leukocytapheresis in steroid-naive elderly patients	Journal of Gastroenterology	33(8)	1485-1491	2018
Watanabe K, Matsumoto T, Hisamatsu T, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M16, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Clinical and pharmacokinetic factors associated with adalimumab-induced mucosal healing in patients with Crohn's disease.	Clin Gastroenterol Hepatol	16(4)	542-549	2018
Taku Kobayashi, Tadakazu Hisamatsu, Yasuo Suzuki, Haruhiko Ogata, Akira Andoh, Toshimitsu Araki, Ryota Hokari, Hideki Iijima, Hiroki Ikeuchi, Yoh Ishiguro, Shingo Kato, Reiko Kunisaki, Takayuki Matsumoto, Satoshi Motoya, Masakazu Nagahori, Shiro Nakamura, Hiroshi Nakase, Tomoyuki Tsujikawa, Makoto Sasaki, Kaoru Yokoyama, Naoki Yoshimura, Kenji Watanabe, Miiko Katafuchi, Mamoru Watanabe, Toshifumi Hibi	Predicting outcomes to optimize disease management in inflammatory bowel disease in Japan: their differences and similarities to Western countries	INTESTINAL RESEARCH	16(2)	168-177	2018
山田 哲弘, 鈴木 康夫	【特集 疫学的検討からみるIBD診療の現状と未来への展望】 生物学的製剤の疫学	IBD Research	12(4)	216-221	2018
山田 哲弘, 鈴木 康夫	【特集 潰瘍性大腸炎の内科的治療-進め方と見極め方】潰瘍性大腸炎における各薬物療法の進め方と薬剤・治療変更の見極め方 ステロイド製剤 その有用性とリスクを踏まえて	消化器の臨床	21(4)	253-257	2018
松井 敏幸, 本谷 聡, 渡辺 憲治, 緒方 晴彦, 金井 隆典, 鈴木 康夫, 鹿村 光宏, 杉浦 賢吉, 小田 和健, 堀 徹治, 荒木 孝浩, 渡辺 守, 日比 紀文	中等症・重症の日本人潰瘍性大腸炎患者に対するベドリズムマブ導入・維持療法施行時のQOLの探索的評価	日本消化器病学会雑誌	115巻臨増大会	A719	2018
鈴木 康夫, 本谷 聡, 渡辺 憲治, 緒方 晴彦, 金井 隆典, 松井 敏幸, 鹿村 光宏, 杉浦 賢吉, 小田 和健, 堀 徹治, 荒木 孝浩, 渡辺 守, 日比 紀文	ベドリズムマブで改善した中等症・重症の日本人潰瘍性大腸炎患者での疾患悪化及び治療失敗までの期間に関する探索的評価	日本消化器病学会雑誌	115巻臨増大会	A719	2018
中川 倫夫, 西川 清広, 小林 拓, 浅井 哲, 鮫島 由規則, 鈴木 康夫, 渡辺 守, 日比 紀文	インフリキシマブ・バイオシミラーの炎症性腸疾患を対象とした特定使用成績調査の中間報告	日本消化器病学会雑誌	115巻臨増総会	A272	2018
日比 紀文, 本谷 聡, 渡辺 憲治, 緒方 晴彦, 金井 隆典, 松井 敏幸, 鈴木 康夫, 鹿村 光宏, 杉浦 賢吉, 小田 和健, 堀 徹治, 荒木 孝浩, 渡辺 守	中等症又は重症の日本人潰瘍性大腸炎患者の導入・維持療法におけるベドリズムマブ第3相試験	日本消化器病学会雑誌	115巻臨増総会	A260	2018
江崎 幹宏, 松本 主之, 鈴木 康夫	炎症性腸疾患に対する内視鏡診断の役割 クローン病診断におけるカプセル内視鏡の有用性 検証試験結果報告	Gastroenterological Endoscopy	60(1)	590	2018
篠崎 大(東京大学医科学研究所附属病院 外科), 小林 清典, 国崎 玲子, 久松 理一, 長沼 誠, 高橋 賢一, 岩男 泰, 鈴木 康夫, 渡辺 守, 板橋 道朗, 鳥居 明, 高添 正和, 杉田 昭	潰瘍性大腸炎に対するサーベイランス内視鏡ガイドラインと実際の相違	Gastroenterological Endoscopy	60(4)	1033-1043	2018
山田 哲弘, 鈴木 康夫	【炎症性腸疾患の内科的治療 3.炎症性腸疾患治療薬の使い方と特性】抗TNF- 抗体製剤 ゴリムマブ	日本臨床	76巻増刊3炎症性腸疾患	342-344	2018
Hirai F, Andoh A, Ueno F, Watanabe K, Ohmiya N, Nakase H, Kato S, Esaki M, Endo Y, Yamamoto H, Matsui T, Iida M, Hibi T, Watanabe M, Suzuki Y, Matsumoto T.	Efficacy of endoscopic balloon dilation for small bowel strictures in patients with Crohn's disease: A nationwide, multi-center, open-label, prospective cohort study.	J Crohns Colitis	12(4)	394-401	2018
Yokoyama T, Ohta A, Motoya S, Takazoe M, Yajima T, Date M, Nii M, Nagyp, Suzuki Y, Hibi T	Efficacy and Safety of Oral Budesonide in Patients with Active Crohn's Disease in Japan: A Multicenter, Double-Blind, Randomized, Parallel-Group Phase 3 Study	Inflamm Intest Dis	2(3)	154-162	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Osamura A, <u>Suzuki Y</u>	Fourteen-year anti-TNF therapy in Crohn's disease patients: clinical characteristics and predictive factors	Dig Dis Sci	63(1)	204-208	2018
Toshifumi Hibi, RemoPanaccione, Miiiko Katafuchi, Kaoru Yokoyama, Kenji Watanabe, Toshiyuki Matsui, Takayuki Matsumoto, Simon Travis, <u>Yasuo Suzuki</u>	The 5C Concept and 5S Principles in Inflammatory Bowel Disease Management	Journal of Crohn's and Colitis	11(1)	1302-1308	2017
Fukushima K, Sugita A, Futami K, Takahashi KI, Motoya S, Kimura H, Yoshikawa S, Kinouchi Y, Iijima H, Endo K, Hibi T, Watanabe M, Sasaki I, <u>Suzuki Y</u> ; Surgical Research Group, the Research Committee of Inflammatory Bowel Disease, the Ministry of Health, Welfare and Labor of Japan.	Postoperative therapy with infliximab for Crohn's disease: a 2-year prospective randomized multicenter study in Japan.	Surg Today	48(6)	584-590	2017
Yuga Komaki, Fukiko Komaki, Dejan Micic, Akihiro Yamada, <u>Yasuo Suzuki</u> , Atsushi Sakuraba	Pharmacologic therapies for severe steroid refractory hospitalized ulcerative colitis: A network meta-analysis	Journal of Gastroenterology and Hepatology	32(6)	1143-1151	2017
<u>Suzuki Y</u> , Iida M, Ito H, Nishino H, Ohmori T, Arai T, Yokoyama T, Okubo T, Hibi T.	2.4 g Mesalamine (Asacol 400 mg tablet) Once Daily is as Effective as Three Times Daily in Maintenance of Remission in Ulcerative Colitis: A Randomized, Noninferiority, Multi-center Trial.	Inflamm Bowel Dis	23(5)	822-832	2017
山田哲弘、 <u>鈴木康夫</u>	【特集：コモンな難病 炎症性腸疾患の薬物療法】IBD治療薬の選び方、使い方 カルシニューリン阻害薬	月刊薬事	30(1)	50-52	2018
<u>鈴木康夫</u>	クローン病治療薬 プデソニド(ゼンタコート®)	臨床消化器内科	33(1)	134-137	2017
<u>鈴木康夫</u>	【特集：消化器の臨床20年の歩み -消化器疾患治療はどう変わったか-】 炎症性腸疾患(IBD)	消化器の臨床	20(5)	362-368	2017
竹内 健、 <u>鈴木康夫</u>	【特集：潰瘍性大腸炎の治療選択】 潰瘍性大腸炎治療薬の特徴と適応 抗TNF- 抗体製剤	消化器の臨床	20(4)	276-281	2017
<u>鈴木康夫</u>	対談：クローン病治療におけるステララの可能性-乾癬治療で示されたステララの有効性と安全性から考える-	日経メディカル	(596)	59-61	2017
竹内 健、 <u>鈴木康夫</u>	炎症性腸疾患における新しい便中マーカー：カルプロテクチンを中心に	Mebio	34(7)	88-95	2017
竹内 健、新井典岳、 <u>鈴木康夫</u>	TOPICS:便中カルプロテクチンはバルーン小腸内視鏡とCTエンテログラフィーで確認した小腸クローン病の重症度と相関する	INTESTINE21(3)	21(3)	276-277	2017
<u>鈴木康夫</u>	炎症性腸疾患治療最前線	Medical Tribune	50(14)	13	2017
Ng SC, Kamm MA, Yeoh YK, Chan PKS, Zuo T, Tang W, Sood A, Andoh A, Ohmiya N, Zhou Y, Ooi CJ, Mahachai V, Wu CY, Zhang F, Sugano K, Chan FKL	Scientific frontiers in faecal microbiota transplantation: joint document of Asia-Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) and Asia-Pacific Society for Digestive Endoscopy (APSDE)	Gut	69(1)	83-91	2020
Morita Y, Imai T, Bamba S, Takahashi K, Inatomi O, Miyazaki T, Watanabe K, Nakamura S, Yoshida A, Endo Y, Ohmiya N, Tsujikawa T, <u>Andoh A</u>	Clinical relevance of innovative immunoassays for serum ustekinumab and anti-ustekinumab antibody levels in Crohn's disease.	J Gastroenterol Hepatol	Dec 20	Epub ahead of prin	2019
Tatsumi G, Kawahara M, Imai T, Nishishita-Asai A, Nishida A, Inatomi O, Yokoyama A, Kakuta Y, Kito K, <u>Andoh A</u>	Thiopurine-mediated impairment of hematopoietic stem and leukemia cells in Nudt15R138C knock-in mice.	Leukemia	Oct 24	Epub ahead of prin	2019
<u>Andoh A</u> , Inoue R, Kawada Y, Morishima S, Inatomi O, Ohno M, Bamba S, Nishida A, Kawahara M, Naito Y	Elemental diet induces alterations of the gut microbial community in mice	J Clin Biochem Nutr	65(2)	118-124	2019
Nishida A, Imaeda H, Inatomi O, Bamba S, Sugimoto M, <u>Andoh A</u>	The efficacy of fecal microbiota transplantation for patients with chronic pouchitis	Clin Case Rep	12;7(4)	782-788	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Takahashi K, Bamba S, Morita Y, Nishida A, Kawahara M, Inatomi O, Sugimoto M, Sasaki M, Andoh A	pH-Dependent 5-Aminosalicylates Releasing Preparations Do Not Affect Thiopurine Metabolism	Digestion	100(4)	238-246	2019
Sakai S, Nishida A, Ohno M, Inatomi O, Bamba S, Sugimoto M, Kawahara M, Andoh A	Astaxanthin, a xanthophyll carotenoid, prevents development of dextran sulphate sodium-induced murine colitis	J Clin Biochem Nutr	64(1)	66-72	2019
Nishida A, Inoue R, Inatomi O, Bamba S, Naito Y, Andoh A	Gut microbiota in the pathogenesis of inflammatory bowel disease.	Clin J Gastroenterol	11(1)	1-10	2018
Bamba S, Takahashi K, Imaeda H, Nishida A, Kawahara M, Inatomi O, Sugimoto M, Sasaki M, Andoh A	Effect of fermented vegetable beverage containing <i>Pediococcus pentosaceus</i> in patients with mild to moderate ulcerative colitis	Biomed Rep	9(1)	74-80	2018
Nakamura S, Imaeda H, Nishikawa H, Iimuro M, Matsuura M, Oka H, Oku J, Miyazaki T, Honda H, Watanabe K, Nakase H, Andoh A	Usefulness of fecal calprotectin by monoclonal antibody testing in adult Japanese with inflammatory bowel diseases: a prospective multicenter study	Intest Res	16(4)	554-562	2018
Takahashi K, Bamba S, Kawahara M, Nishida A, Inatomi O, Sasaki M, Tsujikawa T, Kushima R, Sugimoto M, Kitoh K, Andoh A	Magnified single-balloon enteroscopy in the diagnosis of intestinal follicular lymphoma: a case series	Intest Res	16(4)	628-634	2018
Imai T, Inoue R, Kawada Y, Morita Y, Inatomi O, Nishida A, Bamba S, Kawahara M, Andoh A	Characterization of fungal dysbiosis in Japanese patients with inflammatory bowel disease	J Gastroenterol	54(2)	149-159	2018
Sakai S, Nishida A, Ohno M, Inatomi O, Bamba S, Sugimoto M, Kawahara M, Andoh A	Ameliorating effects of bortezomib, a proteasome inhibitor, on development of dextran sulfate sodium-induced murine colitis	J Clin Biochem Nutr	63(3)	217-223	2018
Koga A, Matsui T, Takatsu N, Takada Y, Kishi M, Yano Y, Beppu T, Ono Y, Ninomiya K, Hirai F, Nagahama T, Hisabe T, Takaki Y, Yao K, Imaeda H, Andoh A	Trough level of infliximab is useful for assessing mucosal healing in Crohn's disease: a prospective cohort study	Intest Res	16(2)	223-232	2018
Kusaka S, Nishida A, Takahashi K, Bamba S, Yasui H, Kawahara M, Inatomi O, Sugimoto M, Andoh A	Expression of human cathelicidin peptide LL-37 in inflammatory bowel disease	Clin Exp Immunol	191(1)	96-106	2018
Takaoka A, Sasaki M, Nakanishi N, Kurihara M, Ohi A, Bamba S, Andoh A	Nutritional Screening and Clinical Outcome in Hospitalized Patients with Crohn's Disease	Ann Nutr Metab	71(3-4)	266-272	2017
Bamba S, Nishida A, Imaeda H, Inatomi O, Sasaki M, Sugimoto M, Andoh A	Successful treatment by fecal microbiota transplantation for Japanese patients with refractory <i>Clostridium difficile</i> infection: A prospective case series	J Microbiol Immunol Infect	52(4)	663-666	2017
Park DI, Hisamatsu T, Chen M, Ng SC, Ooi CJ, Wei SC, Banerjee R, Hilmi IN, Jeon YT, Han DS, Kim HJ, Ran Z, Wu K, Qian J, Hu PJ, Matsuoka K, Andoh A, Suzuki Y, Sugano K, Watanabe M, Hibi T, Puri AS, Yang SK	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology consensus on tuberculosis infection in patients with inflammatory bowel disease receiving anti-tumor necrosis factor treatment. Park 1: risk assessment	J Gastroenterol Hepatol	16(1)	4-16	2017
Park DI, Hisamatsu T, Chen M, Ng SC, Ooi CJ, Wei SC, Banerjee R, Hilmi IN, Jeon YT, Han DS, Kim HJ, Ran Z, Wu K, Qian J, Hu PJ, Matsuoka K, Andoh A, Suzuki Y, Sugano K, Watanabe M, Hibi T, Puri AS, Yang SK	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology consensus on tuberculosis infection in patients with inflammatory bowel disease receiving anti-tumor necrosis factor treatment. Park 2: management	J Gastroenterol Hepatol	16(1):	17-25	2017
Ohno M, Nishida A, Sugitani Y, Nishino K, Inatomi O, Sugimoto M, Kawahara M, Andoh A	Nanoparticle curcumin ameliorates experimental colitis via modulation of gut microbiota and induction of regulatory T cells	PLoS One	12(10)	e0185999	2017
Nishino K, Nishida A, Inoue R, Kawada Y, Ohno M, Sakai S, Inatomi O, Bamba S, Sugimoto M, Kawahara M, Naito Y, Andoh A	Analysis of endoscopic brush samples identified mucosa-associated dysbiosis in inflammatory bowel disease	J Gastroenterol	53(1)	95-106	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Fujii M, Nishida A, Imaeda H, Ohno M, Nishino K, Sakai S, Inatomi O, Bamba S, Kawahara M, Shimizu T, Andoh A	Expression of Interleukin-26 is upregulated in inflammatory bowel disease	J Gastroenterol	23(30)	5519-5529	2017
Bamba S, Sasaki M, Takaoka A, Takahashi K, Imaeda H, Nishida A, Inatomi O, Sugimoto M, Andoh A	Sarcopenia is a predictive factor for intestinal resection in admitted patients with Crohn's disease	PLoS One	12(6)	e0180036	2017
Otsuka T, Sugimoto M, Inoue R, Ohno M, Ban H, Nishida A, Inatomi O, Takahashi S, Naito Y, Andoh A	Influence of potassium-competitive acid blocker on the gut microbiome of Helicobacter pylori-negative healthy individuals	Gut	66(9)	1723-1725	2017
Kobayashi Masayoshi, Matsubara Nagahide, Nakachi Yutaka, Okazaki Yasushi, Uchino Motoi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Song Jihyng, Kimura Kei, Yasuhara Michiko, Babaya Akihito, Yamano Tomoki, Ikeda Masataka, Nishikawa Hiroki, Matsuda Ikuko, Hirota Seiichi, Tomita Naohiro	Hypermethylation of corticotropin releasing hormone receptor-2 gene in ulcerative colitis associated colorectal cancer.	In vivo	34	57-63	2020
Yamada Kimiko, Ueda Takashi, Nakajima Kazuhiko, Ichiki Kaoru, Tsuchida Toshie, Otani Naruhito, Takahashi Yoshiko, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , <u>Uchino Motoi</u> , Koshiba Masahiro, Takesue Yoshio	Clinical efficacy of teicoplanin in the treatment of bloodstream infection caused by methicilline-resistant coagulase-negative staphylococci.	Journal of Infection and Chemotherapy	Epub ahead of print		2019
Kakiuchi Nobuyuki, Yoshida Kenichi, Uchino Motoi, Kihara Takako, Akaki Kotaro, Inoue Yoshikage, Kawada Kenji, Nagayama Satoshi, Yokoyama Akira, Yamamoto Shuji, Matsuura Minoru, Horimatsu Takahiro, Hirano Tomonori, Goto Norihiro, Takeuchi Yasuhide, Ochi Yotaro, Shiozawa Yusuke, Kogure Yasunori, Watatani Yosaku, Fujii Yoichi, Soo Ki Kim, Kon Ayana, Kataoka Keisuke, Yoshizato Tetsuichi, Nakagawa M.Masahiro, Yoda Akinori, Nanya Yasuhito, Makishima Hideki, Shiraishi Yuichi, Chiba Kenichi, Tanaka Hiroko, Sanada Masashi, Sugihara Eiji, Sato Taka-aki, Maruyama Takashi, Miyoshi Hiroyuki, Makoto Mark Taketo, Oishi Jun, Inagaki Ryosaku, Ueda Yutaka, Okamoto Shinya, Okajima Hideaki, Sakai Yoshiharu, Sakurai Takaki, Haga Hironori, Hirota Seiichi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Nakase Hiroshi, Marusawa Hiroyuki, Chiba Tsutomu, Takeuchi Osamu, Miyano Satoru, Seno Hiroshi, Ogawa Seishi	Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis.	Nature	Epub ahead of print		2019
Iida Tomoya, Hirayama Daisuke, Minami Naoki, Matsuura Minoru, Wagatsuma Kohei, Kawakami Kentaro, Nagaishi Kanna, Nojima Masanori, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Hirota Seiichi, Shirakawa Ryutarou, Horiuchi Hisanori, Nakase Hiroshi	Downregulation of RalGTPase-Activating protein promotes colitis-associated cancer via NLRP3 inflammasome activation.	Cellular and Molecular Gastroenterology and Hepatology	Epub ahead of print		2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Hata Keisuke, Okada Satoshi, Ishihara Soichiro, Morimoto Koji, Sahara Rikisaburo, Watanabe Kazuhiro, Fukushima Kouhei, Takahashi Kenichi, Kimura Hideaki, Hirata Keiji, Mizushima Tsunekazu, Araki Toshimitsu, Kusunoki Masato, Nezu Riichiro, Nakao Sayumi, Itabashi Michio, Hirata Akira, Ozawa Heita, Ishida Takashi, Okabayashi Koji, Yamamoto Takayuki, Noake Toshihiro, Arakaki Junya, Watadani Yusuke, Ohge Hiroki, Futatsuki Ryo, Koganei Kazutaka, Sugita Akira, Higashi Daijiro, Futami Kitaro	Changes in the rate of and trends in colectomy for ulcerative colitis during the era of biologics and calcineurin inhibitors based on a Japanese nationwide cohort study.	Surgery Today	49(12)	1066-1073	2019
Minagawa Tomohiro, Ikeuchi Hiroki, Kuwahara Ryuichi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Chohno Teruhiro, Bando Toshihiro, Uchino Motoi	Functional outcomes and quality of life in elderly patients after restorative proctocolectomy for ulcerative colitis.	Digestion	5	1-6 (published online)	2019
Shinagawa Takahide, Hata Keisuke, Ikeuchi Hiroki, Fukushima Kouhei, Futami Kitaro, Sugita Akira, Uchino Motoi, Watanabe Kazuhiro, Higashi Daijiro, Kimura Hideaki, Araki Toshimitsu, Mizushima Tsunekazu, Itabashi Michio, Ueda Takeshi, Koganei Kazutaka, Oba Koji, Ishihara Soichiro, Suzuki Yasuo	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease.	Clinical Gastroenterology and Hepatology	Epub ahead of print		2019
Ueda Takashi, Takesue Yoshio, Tokimatsu Issei, Miyazaki Taiga, Nakada-Motokawa Nana, Nagao Miki, Nakajima Kazuhiko, Mikamo Hiroshige, Yamagishi Yuka, Kasahara Kei, Yoshihara Shingo, Ukimura Akira, Yoshida Koichiro, Yoshinaga Naomi, Izumi Masaaki, Kakeya Hiroshi, Yamada Koichi, Kawamura Hideki, Endou Kazuo, Yamanaka Kazuaki, Yoshioka Mitsunobu, Amino Kayoko, Ikeuchi Hiroki, Uchino Motoi, Miyazaki Yoshitsugu	The incidence of endophthalmitis or macular involvement and the necessity of a routine ophthalmic examination in patients with candidemia.	PLoS One	14(5)	Published online	2019
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Kuwahara Ryuichi, Minagawa Tomohiro, Goto Yoshiko, Ichiki Kaoru, Nakajima Kazuhiko, Takahashi Yoshiko, Ueda Takashi, Takesue Yoshio	Associations between multiple immunosuppressive treatments before surgery and surgical morbidity in patients with ulcerative colitis during the era of biologics.	International Journal of Colorectal Disease	34(4)	699-710	2019
Takesue Yoshio, Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Ueda Takashi, Nakajima Kazuhiko	Is fixed short-course antimicrobial therapy justified for patients who are critically ill with intra-abdominal infections?.	Journal of the Anus, Rectum and Colon	3(2)	53-59	2019
Hata Keisuke, Anzai Hiroyuki, Ikeuchi Hiroki, Futami Kitaro, Fukushima Kouhei, Sugita Akira, Uchino Motoi, Higashi Daijiro, Itabashi Michio, Watanabe Kazuhiro, Koganei Kazutaka, Araki Toshimitsu, Kimura Hideaki, Mizushima Tsunekazu, Ueda Takeshi, Ishihara Soichiro, Suzuki Yasuo.	Surveillance colonoscopy for ulcerative colitis- Associated colorectal cancer offers better overall survival in real world surgically resected cases.	The American Journal of Gastroenterology	114	483-489	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Chohnno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Nakajima Kazuhiko, Takesue Yoshio	Efficacy of Preoperative Oral Antibiotic Prophylaxis for the Prevention of Surgical Site Infections in Patients With Crohn Disease.	Annals of Surgery	269(3)	420-426	2019
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する外科治療の現状と課題	胃と腸	55(2)	183-190	2020
池田 正孝, 木村 慶, 別府 直仁, 片岡 幸三, 安原 美千子, 馬場谷 彰仁, 宋 智亨, 松原 孝明, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	【“超”高難度手術! 他臓器合併切除術を極める下部消化管の拡大手術】仙骨合併切除を伴う骨盤内臓全摘	臨床外科	75(1)	38-46	2020
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 桑原 隆一, 皆川 知洋	重症潰瘍性大腸炎に対する外科治療	消化器外科	42(12)	1703-1710	2019
堀尾 勇規, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 岡山 カナ子, 内野 基	炎症性腸疾患症例における人工肛門関連合併症の検討	日本消化器外科学会雑誌	52(7)	358-367	2019
木村 慶, 池田 正孝, 宋 智亨, 安原 美千子, 馬場谷 彰仁, 片岡 幸三, 別府 直仁, 山野 智基, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	外科大腸領域における鏡視下手術の最前線(口ポットを含む) - 進行・再発直腸癌に対する腹腔鏡下骨盤内臓全摘術 -	日本大腸肛門病学会雑誌	72(10)	559-566	2019
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 内野 基	外科大腸領域における鏡視下手術の最前線(口ポットを含む) - 炎症性腸疾患に対する腹腔鏡手術 -	日本大腸肛門病学会雑誌	72(10)	541-549	2019
内野 基, 池内 浩基, 竹末 芳生	【Operation 手術種類別にみたSSI対策の実実際】消化器外科手術	感染対策ICTジャーナル	14(4)	318-323	2019
内野 基, 池内 浩基	【消化器疾患にまつわる貧血診療】消化器外科における貧血診療	消化器の臨床	22(2)	154-159	2019
桑原 隆一, 池内 浩基, 内野 基	【炎症性腸疾患の外科治療】炎症性腸疾患の外科治療	臨牀消化器内科	34(7)	900-903	2019
池内 浩基, 内野 基	【消化器疾患に対する機能温存・再建手術】下部消化管領域 炎症性腸疾患に対する機能温存手術	外科	81(5)	462-467	2019
堀尾 勇規, 池内 浩基, 荒木 敬士, 坂東 俊宏, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 内野 基, 竹末 芳生	周術期に心筋性眼病変を併発した炎症性腸疾患手術症例の検討	日本外科感染症学会雑誌	16(2)	87-92	2019
Ikeuchi Hiroki, Uchino Motoi, Sugita Akira, Futami Kitaro, Fukushima Kouhei, Hata Keisuke, Koganei Kazutaka, Kusunoki Masato, Uchida Keiichi, Nezu Riichiro, Kimura Hideaki, Takahashi Kenichi, Itabashi Michio, Kameyama Hitoshi, Higashi Daijiro, Koyama Fumikazu, Ueda Takeshi, Mizushima Tsunekazu, Suzuki Yasuo	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch-anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients: Multicenter national study in Japan.	Ann Gastroenterol Surg	2(6)	428-433	2018
Toiyama Yuji, Okugawa Yoshinaga, Kondo Satoru, Okita Yoshiki, Araki Toshimitsu, Kusunoki Kurando, Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Hirota Seiichi, Mitsui Akira, Takehara Kenji, Umezawa Tsutomu, Kusunoki Masato	Comprehensive analysis identifying aberrant DNA methylation in rectal mucosa from ulcerative colitis patients with neoplasia.	Oncotarget	9(69)	33149-33159	2018
Horio Yuki, Uchino Motoi, Bando Toshihiro, Chohnno Teruhiro, Takesue Yoshio, Ikeuchi Hiroki	Association between Higher Body Mass Index and Pouch-Related Complications during Restorative Proctocolectomy in Patients with Ulcerative Colitis.	Digestion	98	257-262	2018
Chohnno Teruhiro, Uchino Motoi, Sasaki Hirofumi, Bando Toshihiro, Takesue Yoshio, Ikeuchi Hiroki	Associations between the prognostic nutritional index and morbidity/mortality during intestinal resection in patients with ulcerative colitis.	World Journal of Surgery	42	1949-1959	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Hirata Akihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki, Nakamura Shiro	Association between serum tumor necrosis factor-alpha level and the efficacy of infliximab for refractory pouchitis after restorative proctocolectomy in patients with ulcerative colitis.	Journal of the Anus, Rectum and Colon	1(4)	106-111	2018
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Sugita Akira, Futami Kitaro, Watanabe Toshiaki, Fukushima Kouhei, Tatsumi Kenji, Koganei Kazutaka, Kimura Hideaki, Hata Keisuke, Takahashi Kenichi, Watanabe Kazuhiro, Mizushima Tsunekazu, Funayama Yuji, Higashi Daijiro, Araki Toshimitsu, Kusunoki Masato, Ueda Takeshi, Koyama Fumikazu, Itabashi Michio, Nezu Riichiro, Suzuki Yasuo	Pouch functional outcomes after restorative proctocolectomy with ileal pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis Japanese multi center nationwide cohort study.	Journal of Gastroenterology	53	642-651	2018
Kobayashi Taku, Hisamatsu Tadakazu, Suzuki Yasuo, Ogata Haruhiko, Andoh Akira, Araki Toshimitsu, Hokari Ryota, Iijima Hideki, Ikeuchi Hiroki, Ishiguro Yoh, Kato Shingo, Kunisaki Reiko, Matsumoto Takayuki, Motoya Satoshi, Nagahori Masakazu, Nakamura Shiro, Nakase Hiroshi, Tsujikawa Tomoyuki, Sasaki Makoto, Yokoyama Kaoru, Yoshimura Naoki, Watanabe Kenji, Katafuchi Miiko, Watanabe Mamoru, Hibi Toshifumi	Predicting outcomes to optimize disease management in inflammatory bowel disease in Japan: their differences and similarities to Western countries.	Intestinal Research	16(2)	168-177	2018
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Sasaki Hirofumi, Chohno Teruhiro, Horio Yuki, Takesue Yoshio	Ostomy creation with fewer sutures using tissue adhesives (cyanoacrylates) in inflammatory bowel disease: a pilot study.	Annals of the Royal College of Surgeons of England	100	190-193	2018
Fujita Masashi, Matsubara Nagahide, Matsuda Ikuo, Maejima Kazuhiro, Oosawa Ayako, Yamano Tomoki, Fujimoto Akihiro, Furuta Mayuko, Nakano Kaoru, Oku-Sasaki Aya, Tanaka Hiroko, Shiraishi Yuichi, Nicolás Mateos Raúl, Nakai Kenta, Miyano Satoru, Tomita Naohiro, Hirota Seiichi, Ikeuchi Hiroki, Nakagawa Hidewaki	Genomic landscape of colitis-associated cancer indicates the impact of chronic inflammation and its stratification by mutations in the Wnt signaling.	Oncotarget	9(1)	969-981	2018
Matsuoka Hiroki, Uchino Motoi, Horio Yuki, Sasaki Hirofumi, Chohno Teruhiro, Hirata Akihiro, Bando Toshihiro, Ito Takashi, Yamaguchi Toshimasa, Ikeuchi Hiroki	The Use of Oral Herbal Medicine (Hange-Shashin-To) in Patients with Pouchitis: A Pilot Study.	Journal of the Anus, Rectum and Colon	2(1)	9-15	2018
佐々木 寛文, 池内 浩基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 井出 良浩, 廣田 誠一, 内野 基	潰瘍性大腸炎術後 30 年目に J 型回腸囊内に high grade dysplasia を認めた 1 例	日本消化器外科学会雑誌	51(12)	784-790	2018
佐藤 寿行, 内野 基, 横山 陽子, 應田 義雄, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 堀 和敏, 三輪 洋人, 池内 浩基, 中村 志郎	当院における免疫抑制治療中の潰瘍性大腸炎に合併したニューモシス肺炎に関する臨床的検討: case-control study	日本外科感染症学会雑誌	15(6)	639-644	2018
蝶野 晃弘, 内野 基, 皆川 知洋, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 坂東 俊宏, 竹末 芳生, 池内 浩基	潰瘍性大腸炎分割手術例における人工肛門閉鎖時ステロイドカバーの必要性	日本外科感染症学会雑誌	15(6)	632-638	2018
池内 浩基, 内野 基, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	炎症性腸疾患外科における緊急手術の現状	日本腹部救急医学会雑誌	38(7)	1127-1131	2018
桑原 隆一, 池内 浩基, 皆川 知洋, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 内野 基	クローン病に対する腸管切除症例1,143例の検討	日本消化器外科学会雑誌	51(11)	671-679	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
池内 浩基, 内野 基	【潰瘍性大腸炎の手術手技】開腹大腸全摘・回腸囊肛門(管)吻合術	臨床外科	73(12)	1344-1348	2018
池田 正孝, 木村 慶, 片岡 幸三, 別府直仁, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	【直腸癌手術治療の現状】直腸癌に対する拡大手術の適応と治療成績	日本医事新報	4928	34-41	2018
皆川 知洋, 池内 浩基, 桑原 隆一, 堀尾 勇規, 佐々木 寛文, 蝶野 晃弘, 坂東 俊宏, 木原 多佳子, 井出 良浩, 廣田 誠一, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対し大腸全摘・J型回腸囊肛門吻合術後にileal castを生じた1例	日本消化器外科学会雑誌	51(10)	649-655	2018
内野 基, 岡山 カナ子, 池内 浩基	【特別寄稿】災害時におけるIBD患者への対応: ストーマ患者への対応を中心に	臨牀消化器内科	33(10)	1204-1205	2018
池内 浩基, 内野 基	【あの疾患の外科治療 - 炎症性腸疾患における手術治療の役割】手術の適切なタイミング - 相対的手術適応を中心に -	日本医事新報	4911	28-34	2018
堀尾 勇規, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 桑原 隆一, 皆川 知洋, 内野 基	クローン病に対して行った狭窄形成術の長期経過と開存率の検討	日本消化器外科学会雑誌	51(5)	327-334	2018
内野 基, 池内 浩基	【クローン病合併癌の診断と治療】小腸癌	大腸がん perspective	4(1)	33-38	2018
内野 基, 池内 浩基	【炎症性腸疾患の外科的治療】炎症性腸疾患術後の長期予後	日本臨牀	76(増刊号3)	475-480	2018
蝶野 晃弘, 内野 基, 池内 浩基	【炎症性腸疾患の外科的治療】炎症性腸疾患の手術適応と問題点 クローン病の手術適応と問題点	日本臨牀	76(増刊号3)	441-446	2018
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏	【炎症性腸疾患の外科的治療】炎症性腸疾患の手術適応と問題点 潰瘍性大腸炎の手術適応と問題点	日本臨牀	76(増刊号3)	436-440	2018
塚本 潔, 池田 正孝, 野田 雅史, 山野 智基, 小林 政義, 濱中 美千子, 馬場 谷 彰仁, 木村 慶, 宋 智亨, 今田 絢子, 内野 基, 池内 浩基, 富田 尚裕	【機能温存と機能再建をめざした消化器外科手術-術後QOL向上のために】家族性大腸癌事務局大腸腺腫症に対する大腸全摘術後のパウチ再建	臨床外科	73(4)	450-456	2018
池田 正孝, 植村 守, 三宅 正和, 塚本 潔, 山野 智基, 内野 基, 野田 雅史, 池内 浩基, 富田 尚裕, 関本 貢嗣	局所進行・再発直腸癌に対する腹腔鏡下骨盤内臓全摘・骨性骨盤合併切除術の検討	兵庫医科大学医学会雑誌	42(2)	17-20	2018
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 竹末 芳生, 富田 尚裕	【急性腹症の外科手術2018】炎症性腸疾患による急性腹症に対する手術	手術	73(3)	285-291	2018
Toiyama Yuji, Okugawa Yoshinaga, Tanaka Koji, Araki Toshimitsu, Uchida Keiichi, Hishida Asahi, Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Hirota Seiichi, Kusunoki Masato, C.Richard Boland, Ajay Goel	A panel of methylated microRNA biomarkers of identifying high-risk patients with ulcerative colitis -Associated colorectal cancer.	Gastroenterology	153(6)	1634-1646	2017
Matsuno Hiroshi, Kayama Hisako, Nishimura Junichi, Sekido Yuki, Osawa Hideki, Barman Soumik, Ogino Takayuki, Takahashi Hidekazu, Haraguchi Naotsugu, Hata Taishi, Matsuda Chu, Yamamoto Hirofumi, Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Doki Yuichiro, Mori Masaki, Takeda Kiyoshi, Mizushima Tsunekazu	CD103 ⁺ dendritic cell function is altered in the colons of patients with ulcerative colitis.	Inflammatory Bowel Diseases	2(9)	1524-1534	2017
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Bando Toshihiro, Chohno Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Horio Yuki	Is an ostomy rod useful for bridging the retraction during the creation of a loop ileostomy? A randomized control trial.	World Journal of Surgery	41(8)	2128-2135	2017
Sato Toshiyuki, Takagawa Tetsuya, Kakuta Yoichi, Nishio Akihiro, Kawai Mikio, Kamikozuru Koji, Yokoyama Yoko, Kita Yuko, Miyazaki Takako, Iimuro Masaki, Hida Nobuyuki, Horii Kazutoshi, Ikeuchi Hiroki, Nakamura Shiro	<i>NUDT15</i> , <i>FTO</i> , and <i>RUNX1</i> genetic variants and thiopurine intolerance among Japanese patients with inflammatory bowel diseases.	Intestinal Research	15(3)	328-337	2017
Horio Yuki, Uchino Motoi, Bando Toshihiro, Chono Teruhiro, Sasaki Hirofumi, Hirata Akihiro, Takesue Yoshio, Ikeuchi Hiroki	Rectal-sparing type of ulcerative colitis predicts lack of response to pharmacotherapies.	BMC Surgery	17(1)	59	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
内野 基, 池内 浩基	【講座 IBD治療のピットフォール】潰瘍性大腸炎の手術時にJ型回腸嚢が肛門まで届かないときにはどうするのか?	IBD Research	11(4)	247-251	2017
堀尾 勇規, 池内 浩基, 南部 尚子, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 廣田 誠一, 内野 基	メックル憩室による内ヘルニアが原因で腸閉塞をきたした1例	日本外科系連合学会誌	42(6)	1052-1056	2017
堀尾 勇規, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 平田 晃弘, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 後藤 佳子, 井出 良浩, 廣田 誠一, 内野 基	予防的直腸切断術後に会陰部創より発癌を認めたクローン病の1例	日本消化器外科学会雑誌	50(11)	921-927	2017
池内 浩基, 内野 基	【直腸癌に対する経肛門アプローチのすべて】潰瘍性大腸炎合併癌に対する粘膜切除術	手術	71(12)	1639-1643	2017
蝶野 晃弘, 池内 浩基, 堀尾 勇規, 後藤 佳子, 佐々木 寛文, 平田 晃弘, 坂東 俊宏, 辻村 亨, 宋 美紗, 内野 基	潰瘍性大腸炎に併発した神経内分泌細胞癌の2例	日本消化器外科学会雑誌	50(10)	838-848	2017
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 桑原 隆一, 皆川 知洋	【炎症性腸疾患診療の最前線】潰瘍性大腸炎に対する内科・外科の連携と外科的治療の最前線	日本大腸肛門病学会雑誌	70(10)	593-600	2017
池内 浩基, 内野 基	特集:潰瘍性大腸炎の治療選択 潰瘍性大腸炎の外科治療の適応	消化器の臨床	20(4)	288-293	2017
蝶野 晃弘, 池内 浩基, 内野 基	【激変する炎症性腸疾患に対する治療ストラテジー】術後の治療を見据えたクローン病に対する外科治療	Mebio	34(7)	59-64	2017
中嶋 一彦, 竹末 芳生, 一木 薫, 植田 貴史, 石川 かおり, 和田 恭直, 土田 敏恵, 小谷 穰治, 富田 尚裕, 池内 浩基, 内野 基	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌によるアウトブレイク - 下部消化器外科病棟と急性期医療センターにおける発生例と対策	日本外科感染症学会雑誌	14(3)	179-187	2017
池内 浩基, 内野 基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規	【潰瘍性大腸炎・クローン病手術のすべて】潰瘍性大腸炎 - 潰瘍性大腸炎に対する手術の歴史	手術	71(7)	947-952	2017
平田 晃弘, 池内 浩基, 坂東 俊宏, 蝶野 晃弘, 佐々木 寛文, 堀尾 勇規, 廣田 誠一, 井出 良浩, 内野 基	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・J型回腸嚢肛門吻合術後に発生した残存肛門管癌の1例	日本消化器外科学会雑誌	50(6)	499-505	2017
岡崎和一, 小林三四郎, 浦上富生, 伊藤 崇志	【IBDの腸管外合併症を機序から紐解く!】IBDに合併する原発性硬化性胆管炎・膵炎	IBD Research	13(3)	145-150	2019
岡崎和一, 松井芙美, 宮本早知	【炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】炎症性腸疾患と鑑別すべき主な疾患とその鑑別診断 抗生物質起因性腸炎	日本臨床	76 巻増刊3	621-624	2018
Matsui F, Inaba M, Uchida K, Nishio A, Fukui T, Yoshimura H, Satake A, Yoshioka K, Nomura S, Okazaki K.	Induction of PIR-A/B(+) DCs in the in vitro inflammatory condition and their immunoregulatory function.	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY	53(10)	1131-1141	2018
Fukui T, Takahashi M, Okazaki T, Tomiyama T, Fukata N, Ando Y, Okazaki K.	Multifocal Colonic Wall Abscesses during Anti-Tumor Necrosis Factor (TNF)-Therapy for a Patient with Ulcerative Colitis: A Very Rare Manifestation of Infectious Complications.	Internal medicine	56(10)	1157-1161	2017
Hosoe N, Hayashi Y, Ogata H	Colon Capsule Endoscopy for Inflammatory Bowel Disease.	Clin Endosc.		Epub ahead of print	2020
Watanabe K, Motoya S, Ogata H, Kanai T, Matsui T, Suzuki Y, Shikamura M, Sugiura K, Oda K, Hori T, Araki T, Watanabe M, Hibi	Effects of vedolizumab in Japanese patients with Crohn's disease: a prospective, multicenter, randomized, placebo-controlled Phase 3 trial with exploratory analyses.	J Gastroenterol.		Epub ahead of print	2020
Matsuoka K, Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, Ogata H, Hisamatsu T, Nagauma M, Kanai T, Mochizuki M, Hashiguchi M	Factors contributing to the systemic clearance of infliximab with long-term administration in Japanese patients with Crohn's disease: Analysis using population pharmacokinetics.	Int J Clin Pharmacol Ther.		Epub ahead of print	2020
Yoshimatsu Y, Naganuma M, Sugimoto S, Tanemoto S, Umeda S, Fukuda T, Nomura E, Yoshida K, Ono K, Mutaguchi M, Nanki K, Mizuno S, Mikami Y, Fukuhara K, Sujino T, Takabayashi K, Ogata H, Iwao Y, Kanai T	Development of an Indigo Naturalis Suppository for Topical Induction Therapy in Patients with Ulcerative Colitis.	Digestion.		Epub ahead of print	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Sugimoto S, Shimoda M, Iwao Y, Mutaguchi M, Nanki K, Mizuno S, Kameyama K, <u>Ogata H</u> , Naganuma M, Kanai T	Intramucosal poorly differentiated and signet-ring cell components in patients with ulcerative colitis-associated high-grade dysplasia.	Dig Endosc.	31(6)	706-711	2019
Mutaguchi M, Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, Nanki K, Mizuno S, Hosoe N, Shimoda M, <u>Ogata H</u> , Iwao Y, Kanai T	Difference in the clinical characteristic and prognosis of colitis-associated cancer and sporadic neoplasia in ulcerative colitis patients.	Dig Liver Dis.	51(9)	1257-1264	2019
Akiyama S, Matsuoka K, Fukuda K, Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, <u>Ogata H</u> , Hisamatsu T, Naganuma M, Motobayashi M, Suzuki K, Takenaka K, Fujii T, Saito E, Nagahori M, Ohtsuka K, Mochizuki M, Watanabe M, Hashiguchi M, Kanai T.	Long-term effect of NUDT15 R139C on hematologic indices in inflammatory bowel disease patients treated with thiopurine.	J Gastroenterol Hepatol.	34(10)	1751-1757	2019
Matsuno Y, Umeno J, Esaki M, Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Hirano A, Yasukawa S, Hirai F, Matsui T, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, <u>Ogata H</u> , Hisamatsu T, Yanai S, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Torisu T, Kitazono T, Matsumoto T.	Measurement of prostaglandin metabolites is useful in diagnosis of small bowel ulcerations.	World J Gastroenterol.	25(14)	1753-1763	2019
Fukuda T, Naganuma M, Sugimoto S, Ono K, Nanki K, Mizuno S, Kimura K, Mutaguchi M, Nakazato Y, Takabayashi K, Inoue N, <u>Ogata H</u> , Iwao Y, Kanai T	Efficacy of Therapeutic Intervention for Patients With an Ulcerative Colitis Mayo Endoscopic Score of 1.	Inflamm Bowel Dis.	25(4)	782-788	2019
福原佳代子、緒方晴彦	炎症性腸疾患診断におけるAI導入の可能性	臨床消化器内科	34(7)	949-951	2019
細江直樹、神谷研次、林由紀恵、宮永亮一、水野慎大、福原佳代子、高林馨、長沼誠、緒方晴彦、金井隆典	IBDにおけるカプセル内視鏡による炎症の評価	IBD Research	13(1)	16-19	2019
Miyoshi J, Matsuoka K, Yoshida A, Naganuma M, Hisamatsu T, Yajima T, Inoue N, Okamoto S, Iwao Y, <u>Ogata H</u> , Ueno F, Hibi T, Kanai T	5-Aminosalicylic acid aggravates colitis mimicking exacerbation of ulcerative colitis.	Intest Res.	16(4)	635-640	2018
Hosoe N, Nakano M, Takeuchi K, Endo Y, Matsuoka K, Abe T, Omori T, Hayashida M, Kobayashi T, Yoshida A, Mizuno S, Yoshihiro N, Naganuma M, Kanai T, Watanabe M, Ueno F, Suzuki Y, Hibi T, <u>Ogata H</u>	Establishment of a Novel Scoring System for Colon Capsule Endoscopy to Assess the Severity of Ulcerative Colitis-Capsule Scoring of Ulcerative Colitis.	Inflamm Bowel Dis.	24(12)	2641-2647	2018
<u>Ogata H</u> , Yokoyama T, Mizushima S, Hagino A, Hibi T	Comparison of efficacy of once daily multimatrix mesalazine 2.4 g/day and 4.8 g/day with other 5-aminosalicylic acid preparation in active ulcerative colitis: a randomized, double-blind study.	Intest Res.	16(2)	255-266	2018
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, <u>Ogata H</u> , Andoh A, Araki T, Hokari R, Iijima H, Ikeuchi H, Ishiguro Y, Kato S, Kunisaki R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, Nakase H, Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T	Predicting outcomes to optimize disease management in inflammatory bowel disease in Japan: their differences and similarities to Western countries.	Intest Res.	16(2)	168-177	2018
細江直樹、緒方晴彦、金井隆典	炎症性腸疾患の検査・診断 炎症性腸疾患の画像診断 大腸カプセル内視鏡	日本臨床	76(増刊号3)	204-208	2018
高林馨、細江直樹、長沼誠、金井隆典、緒方晴彦	炎症性腸疾患の検査・診断 炎症性腸疾患の画像診断 炎症性腸疾患における画像診断の進歩	日本臨床	76(増刊号3)	183-188	2018
中里圭宏、別所理恵子、細江直樹、長沼誠、緒方晴彦	潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度評価 超拡大内視鏡所見からみた重症度	胃と腸	53(2)	183-192	2018
木村佳代子、緒方晴彦	潰瘍性大腸炎に対するタクロリムスの適応	消化器・肝臓内科	3(1)	22-27	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ogata H, Aoyama N, Mizushima S, Hagino A, Hibi T	Comparison of efficacy of multimatrix mesalazine 4.8 g/day once-daily with other high-dose mesalazine in active ulcerative colitis: a randomized, double-blind study.	Intest Res.	15(3)	368-379	2017
Ogata H, Ohori A, Nishino H, Mizushima S, Hagino A, Hibi T	Comparison of efficacies of once-daily dose multimatrix mesalazine and multiple-dose mesalazine for the maintenance of remission in ulcerative colitis: a randomized, double-blind study.	Intest Res.	15(3)	358-367	2017
Hosoe N, Ohmiya N, Hirai F, Umeno J, Esaki M, Yamagami H, Onodera K, Bamba S, Imaeda H, Yanai S, Hisamatsu T, Ogata H, Matsumoto T	CEAS atlas group: Chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS) - Characterization of an enteric disorder to be considered in the differential diagnosis of Crohn's disease.	J Crohns Colitis.	11(10)	1277-1281	2017
Nakazato Y, Naganuma M, Sugimoto S, Bessho R, Arai M, Kiyohara H, Ono K, Nanki K, Mutaguchi M, Mizuno S, Kobayashi T, Hosoe N, Shimoda M, Abe T, Inoue N, Ogata H, Iwao Y, Kanai T	Endocytoscopy can be used to assess histological healing in ulcerative colitis.	Endoscopy.	49(6)	560-563	2017
Naganuma M, Yahagi N, Bessho R, Ohno K, Arai M, Mutaguchi M, Mizuno S, Fujimoto A, Uraoka T, Shimoda M, Hosoe N, Ogata H, Kanai T	Evaluation of the severity of ulcerative colitis using endoscopic dual red imaging targeting deep vessels.	Endosc Int Open.	5(1)	E76-E82	2017
Sugimoto S, Naganuma M, Iwao Y, Matsuo K, Shimoda M, Mikami S, Mizuno S, Nakazato Y, Nanki K, Inoue N, Ogata H, Kanai T	Endoscopic morphological features of ulcerative colitis-associated dysplasia classified according to the SCENIC consensus statement.	Gastrointest Endosc.	85(3)	639-646	2017
Naganuma M, Okuda S, Hisamatsu T, Matsuo K, Mori K, Hosoe N, Nakazato Y, Ogata H, Kanai T	Findings of ulceration and severe stricture on MRE can predict prognosis of Crohn's disease in patients treated with anti-TNF treatment.	Abdom Radiol (N Y).	42(1)	141-151	2017
長沼誠、岩男泰、緒方晴彦、金井隆典	【腸炎まるわかり】炎症性腸疾患(IBD) 潰瘍性大腸炎	消化器内視鏡	29(1)	31-35	2017
Yoshimatsu Y, Naganuma M, Sugimoto S, Tanemoto S, Umeda S, Fukuda T, Nomura E, Yoshida K, Ono K, Mutaguchi M, Nanki K, Mizuno S, Mikami Y, Fukuhara K, Sujino T, Takabayashi K, Ogata H, Iwao Y, Kanai T	Development of an Indigo Naturalis Suppository for Topical Induction Therapy in Patients with Ulcerative Colitis.	Digestion		1-7	2019
Sugimoto S, Shimoda M, Iwao Y, Mutaguchi M, Nanki K, Mizuno S, Kameyama K, Ogata H, Naganuma M, Kanai T	Intramucosal poorly differentiated and signet-ring cell components in patients with ulcerative colitis-associated high-grade dysplasia	Dig Endosc	31	706-711	2019
Fukuda T, Naganuma M, Kanai T	Current new challenges in the management of ulcerative colitis	Intest Res	17	36-44	2019
Naganuma M, Sugimoto S, Suzuki H, Matsuno Y, Araki T, Shimizu H, Hayashi R, Fukuda T, Nakamoto N, Iijima H, Nakamura S, Kataoka M, Tamura Y, Tatsumi K, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T	Adverse events in patients with ulcerative colitis treated with indigo naturalis: a Japanese nationwide survey	J Gastroenterol	54	891-896	2018
Nanki K, Toshimitsu K, Takano A, Fujii M, Shimokawa M, Ohta Y, Matano M, Seino T, Nishikori S, Ishikawa K, Kawasaki K, Togasaki K, Takahashi S, Sukawa Y, Ishida H, Sugimoto S, Kawakubo H, Kim J, Kitagawa Y, Sekine S, Koo BK, Kanai T, Sato T	Divergent Routes toward Wnt and R-spondin Niche Independence during Human Gastric Carcinogenesis	Cell	174	856-869.e17	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Naganuma M, Sugimoto S, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Suda W, Hattori M, Fukuda S, Hirayama A, Abe T, Watanabe M, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T	Efficacy of Indigo Naturalis in a Multicenter Randomized Controlled Trial of Patients With Ulcerative Colitis	Gastroenterology	154	935-947	2018
Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Abe T, Suzuki Y, Kanai T	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study	J Gastroenterol			2017
Saruta M, Park DI, Kim YH, Yang SK, Jang BI, Cheon JH, Im JP, Kanai T, Katsuno T, Ishiguro Y, Nagaoka M, Isogawa N, Li Y, Banerjee A, Ahmad A, Hassan-Zahraee M, Clare R, Gorelick KJ, Cataldi F, Watanabe M, Hibi T.	Anti-MAdCAM-1 antibody (PF-00547659) for active refractory Crohn's disease in Japanese and Korean patients: the OPERA study.	Intest Res.	18(1)	45-55	2020
Higashiyama M, Sugita A, Koganei K, Wanatabe K, Yokoyama Y, Uchino M, Nagahori M, Naganuma M, Bamba S, Kato S, Takeuchi K, Omori T, Takagi T, Matsumoto S, Nagasaka M, Sagami S, Kitamura K, Katsurada T, Sugimoto K, Takatsu N, Saruta M, Sakurai T, Watanabe K, Nakamura S, Suzuki Y, Hokari R.	Correction to: Management of elderly ulcerative colitis in Japan.	J Gastroenterol.	54(10)	936-937	2019
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata N, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T; DIAMOND2 Study Group.	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2).	J Gastroenterol.	54(10)	860-870	2019
Hisamatsu T, Matsumoto T, Watanabe K, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Concerns and Side Effects of Azathioprine During Adalimumab Induction and Maintenance Therapy for Japanese Patients With Crohn's Disease: A Subanalysis of a Prospective Randomised Clinical Trial [DIAMOND Study].	J Crohns Colitis.	13(9)	1097-1104	2019
Higashiyama M, Sugita A, Koganei K, Wanatabe K, Yokoyama Y, Uchino M, Nagahori M, Naganuma M, Bamba S, Kato S, Takeuchi K, Omori T, Takagi T, Matsumoto S, Nagasaka M, Sagami S, Kitamura K, Katsurada T, Sugimoto K, Takatsu N, Saruta M, Sakurai T, Watanabe K, Nakamura S, Suzuki Y, Hokari R.	Management of elderly ulcerative colitis in Japan.	J Gastroenterol.	54(7)	571-586	2019
Arihiro S, Nakashima A, Matsuoka M, Suto S, Uchiyama K, Kato T, Mitobe J, Komoike N, Itagaki M, Miyakawa Y, Kodo S, Hokari A, Saruta M, Tajiri H, Matsuura T, Urashima M.	Randomized Trial of Vitamin D Supplementation to Prevent Seasonal Inflammatory Bowel Disease.	Inflamm Bowel Dis.	25(6)	1088-1095	2019
猿田雅之.	薬の知識 ベドリズムブ(エンタイプオ)	臨床消化器内科	34(12)	1524-1528	2019
猿田雅之.	【IBDの腸管外合併症を機序から紐解く!】IBDに合併する関節炎.	IBD Research	13(3)	129-130	2019
丸山友希, 猿田雅之	【実地内科医のための潰瘍性大腸炎診療ABC】治療 腸管外合併症とその対処.	診断と治療	107(7)	819-824	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
宮下春菜, 猿田雅之	【医薬品副作用学(第3版)上-薬剤の安全使用アップデート-】薬効群別副作用 腸疾患治療薬(消化管運動改善薬、腸機能改善薬、炎症性腸疾患治療薬、過敏性腸症候群治療薬など)。	日本臨床	77(3)	281-287	2019
櫻井俊之, 猿田雅之	【炎症性腸疾患診療の update-診断・治療の最新知見】炎症性腸疾患の内科治療 5-ASA(5-アミノサリチル酸)製剤。	消化器内視鏡	34(7)	807-8011	2019
Watanabe K, Matsumoto T, Hisamatsu T, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Clinical and Pharmacokinetic Factors Associated With Adalimumab-Induced Mucosal Healing in Patients With Crohn's Disease.	Clin Gastroenterol Hepatol.	16(4)	542-549	2018
Ito Z, Uchiyama K, Odahara S, Takami S, Saito K, Kobayashi H, Koido S, Kubota T, Ohkusa T, Saruta M.	Fatty Acids as Useful Serological Markers for Crohn's Disease.	Dig Dis.	36(3)	209-217	2018
Shirakabe K, Higashiyama M, Furuhashi H, Takajo T, Maruta K, Okada Y, Kurihara C, Watanabe C, Komoto S, Tomita K, Nagao S, Miura S, Saruta M, Hokari R.	Amelioration of colitis through blocking lymphocytes entry to Peyer's patches by sphingosine-1-phosphate lyase inhibitor.	J Gastroenterol Hepatol.	Jan 15		2018
猿田雅之.	【血流障害と消化管疾患】 その他 IBDと血流障害	臨床消化器内科	34(1)	95-100	2018
丸山友希, 猿田雅之	【もっともっとフィジカル!-黒帯級の技とパール】消化器系の症候 炎症性腸疾患を疑うとき。	Medicina	55(9)	1378-1382	2018
櫻井俊之, 猿田雅之	【上部消化管疾患の現況と今後の展望-病態・診断から治療を探る】クローン病(上部消化管病変)。	カレントセラピー	36(7)	679-686	2018
白壁和彦, 東山正明, 猿田雅之, 穂苅量太	カラメル色素に含まれるTHIによる炎症性腸疾患モデルの治療効果とその作用機序の動態的検討	消化と吸収	40(2)	91-95	2018
秋田義博, 猿田雅之	【病態から考え出されたIBD治療の進歩】各種 JAK阻害薬。	Intestine	22(3)	255-259	2018
宮下春菜, 猿田雅之	アレルギー消化器疾患】食物アレルギー性消化管疾患の診断と治療。	消化器・内視鏡	3(5)	475-482	2018
宮崎亮佑, 猿田雅之	炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】炎症性腸疾患の内科的治療 炎症性腸疾患の内科的治療戦略 潰瘍性大腸炎の内科治療戦略。	日本臨床	76(増3)	279-285	2018
丸山友希, 猿田雅之	【炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】炎症性腸疾患の内科的治療 炎症性腸疾患の新規治療薬の開発状況。	日本臨床	76(増3)	386-391	2018
Nakase H, Motoya S, Matsumoto T, Watanabe K, Hisamatsu T, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Significance of measurement of serum trough level and anti-drug antibody of adalimumab as personalised pharmacokinetics in patients with Crohn's disease: a subanalysis of the DIAMOND trial.	Aliment Pharmacol Ther.	46(9)	873-882	2017
Hosoe N, Ohmiya N, Hirai F, Umeno J, Esaki M, Yamagami H, Onodera K, Bamba S, Imaeda H, Yanai S, Hisamatsu T, Ogata H, Matsumoto T; CEAS Atlas Group.	Chronic Enteropathy Associated With SLC02A1 Gene [CEAS]-Characterisation of an Enteric Disorder to be Considered in the Differential Diagnosis of Crohn's Disease.	J Crohns Colitis.	11(10)	1277-1281	2017
櫻井俊之, 猿田雅之	【IBD治療薬のポジショニングを考える~現在と将来展望~】新たなラインナップを加えた5-ASA製剤をどう使いこなすか?	IBD Research	11(4)	202-206	2017
白壁和彦, 東山正明, 猿田雅之, 穂苅量太	2-acetyl-4-tetrahydroxybutyl imidazoleによるSphingosine-1-phosphate lyase抑制がDSS腸炎に及ぼす影響の検討。	リンパ学	40(2)	82-85	2017
宮崎亮佑, 猿田雅之	注目の新薬 リアルダ(メサラジン)。	診断と治療	105(12)	1599-1602	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
宮下春菜, 猿田雅之	【炎症性腸疾患の新しい治療戦略】 タイト・モニタリングにおける treat-to-target を目指した治療戦略.	Medical Science Digest	43(14)	718-721	2017
秋田義博, 猿田雅之	クローン病の内科的治療.	消化器の臨床	20(4)	244-249	2017
筒井佳苗, 猿田雅之	【プライマリ・ケア医のための消化器症候学】 便通異常 慢性下痢 「このところずっと、下痢が続いています」.	Medicina	54(6)	902-905	2017
Takeuchi I, Kaburaki Y, Arai K, Shimizu H, Hirano Y, Nagata S, Shimizu T.	Infliximab for Very Early-Onset Inflammatory Bowel Disease: A Tertiary Center Experience in Japan.	J Gastroenterol Hepatol	In press		2019
Kumagai H, Kudo T, Uchida K, Kunisaki R, Sugita A, Ohtsuka Y, Arai K, Kubota M, Tajiri H, Suzuki Y, Shimizu T.	Adult gastroenterologists' views on transitional care: Results from a survey.	Pediatr Int	61	817-822	2019
Yanagi T, Ushijima K, Koga H, Tomomasa T, Tajiri H, Kunisaki R, Ishige T, Yamada H, Arai K, Yoden A, Aomatsu T, Nagata S, Uchida K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Tacrolimus for ulcerative colitis in children: a multicenter survey in Japan.	Intest Res	17	476-485	2019
Hagiwara SI, Kudo T, Kakuta F, Inoue M, Yokoyama K, Umetsu S, Iwama I, Yodoshi T, Tatsuki M, Shimizu T, Nakayama Y.	Clinical Safety and Utility of Pediatric Balloon Assisted Enteroscopy; A Multicenter Prospective Study in Japan.	J Pediatr Gastroenterol Nutr	68	306-310	2019
日本小児栄養消化器肝臓学会・日本IBD研究会 小児IBD治療指針2019改訂ワーキンググループ 新井勝大, 工藤孝広, 熊谷秀規, 齋藤武, 清水泰岳, 高橋美智子, 立花奈緒, 南部隆亮, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛崇, 福岡智哉, 虻川大樹, 清水俊明, 田尻仁.	小児クローン病治療指針(2019年).	日本小児栄養消化器肝臓学会誌	33	90-109	2019
日本小児栄養消化器肝臓学会・日本IBD研究会 小児IBD治療指針2020改訂ワーキンググループ 虻川大樹, 青松友槻, 井上幹大, 岩間達, 熊谷秀規, 清水泰岳, 神保圭佑, 南部隆亮, 水落建輝, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛崇, 福岡智哉, 新井勝大, 清水俊明, 田尻仁.	小児潰瘍性大腸炎治療指針(2019年).	日本小児栄養消化器肝臓学会誌	33	110-127.	2019
Sakaguchi K, Koyanagi A, Kamachi F, Harauma A, Chiba A, Hisata K, Moriguchi T, Shimizu T, Miyake S.	Breastfeeding regulates development of immune system through TGF- in mice pups.	Pediatr Int	60	224-231	2018
清水俊明.	【疫学的検討からみるIBD診療の現状と未来への展望】 小児期発症IBDの特徴.	IBD Research	12	226-230	2018
清水俊明.	【炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】 小児・高齢炎症性腸疾患の特徴と対応および炎症性腸疾患患者の妊娠への指導 小児炎症性腸疾患の疫学と現状および課題.	日本臨床	76(増)	483-489	2018
清水俊明, 大塚宜一.	移行期医療 成人に達する/達した患者への医療 (Vol.11) 小児消化器疾患.	医学のあゆみ	266	805-810	2018
Hosoi K, Arai K, Matsuoka K, Shimizu H, Kamei K, Nakazawa A, Shimizu T, Tang J, Ito S.	Prolonged Tacrolimus Use for Pediatric Gastrointestinal Disorder - A Double-edged Sword?	Pediatr Int	59	588-582	2017
Hosoi K, Ohtsuka Y, Fujii T, Kudo T, Matsunaga N, Tomomasa T, Tajiri H, Kunisaki R, Ishige T, Yamada H, Arai K, Yoden A, Ushijima K, Aomatsu T, Nagata S, Uchida K, Takeuchi K, Shimizu T.	Treatment with infliximab for pediatric Crohn's disease: Nationwide survey of Japan.	J Gastroenterol Hepatol	32	114-119	2017
Sato M, Shoda T, Shimizu H, Orihara K, Futamura K, Matsuda A, Yamada Y, Irie R, Yoshioka T, Shimizu T, Ohya Y, Nomura I, Matsumoto K, Arai K.	Gene Expression Patterns in Distinct Endoscopic Findings for Eosinophilic Gastritis in Children.	J Allergy Clin Immunol Pract	5	1639-1642	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchida K, Ohtsuka Y, Yoden A, Tajiri H, Kimura H, Isihige T, Yamada H, Arai K, Tomomasa T, Ushijima K, Aomatsu T, Nagata S, Otake K, Matsushita K, Inoue M, Kudo T, Hosoi K, Takeuchi K, Shimizu T.	Immunosuppressive medication is not associated with surgical site infection after surgery for intractable ulcerative colitis in children.	Intractable Rare Dis Res	6	106-113	2017
清水俊明.	【小児・妊婦・高齢者に対するIBD診療】小児の炎症性腸疾患の特徴.	INTESTINE	21	107-112	2017
新井喜康, 工藤孝広, 藤井徹, 遠藤周, 安部信平, 春名英典, 青柳陽, 鈴木光幸, 大塚宜一, 清水俊明.	メサラジン製剤に対するアレルギー反応を認めた Crohn 病の幼児例.	小児科臨床	70	492-497	2017
杉田昭, 小金井一隆, 辰巳健志	潰瘍性大腸炎における大腸全摘、J型回腸囊肛門管吻合術(器械吻合)	臨床外科	75(2)	2-5	2020
林宏行, 小野響子, 杉田昭, 小金井一隆	潰瘍性大腸炎における異形成/癌の診断基準と問題点	胃と腸	54(11)	1502-1508	2019
小金井一隆, 辰巳健志, 杉田昭	外科治療	診断と治療	107(7)	825-829	2019
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 中尾詠一, 杉田昭	クローン病の肛門病変	臨床外科	74(6)	724-730	2019
福島恒男, 中島光一, 野沢博, 西野晴夫, 杉田昭, 小金井一隆, 二木了, 山口滋紀, 浅野史織, 松島誠	Ustekinumab 投与中にギランバレー症候群を合併したクローン病の1例	日本消化器病学会雑誌	116(4)	324-329	2019
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 杉田昭	クローン病の手術適応	臨床外科	73	1372-1376	2018
渡辺和宏, 倉地清隆, 水島恒和, 亀山仁史, 佐々木巖, 杉田昭, 根津理一郎, 舟山裕土, 福島浩平, 内藤剛, 海野倫明, 二見喜太郎	クローン病における直腸肛門癌の癌スクリーニングの現状と問題点: 国内専門施設へのアンケート調査	日本大腸肛門病学会雑誌	7	283-290	2018
小金井一隆, 杉田昭	潰瘍性大腸炎に対する開腹手術の適応と実際	日本医事新報	4911	35-41	2018
杉田昭, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 山田恭子, 荒井勝彦, 福島恒男	クローン病合併癌の診断, 治療の現況と課題	大腸がん perspective	14	28-32	2018
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 杉田昭	クローン病人工肛門造設例の経過と合併症	日本臨床増刊号 炎症性腸疾患(第2版)	76	458-463	2018
杉田昭, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介	炎症性腸疾患に対する外科治療の動向と位置付け	日本臨床増刊号 炎症性腸疾患(第2版)	76	427-435	2018
黒木博介, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 山田恭子, 荒井勝彦, 小原尚, 木村英明, 杉田昭, 福島恒男	直腸会陰尿道瘻を合併したクローン病6例の診断, 治療(直腸切断術, 直腸空置術)についての検討	日消誌	115	108-116	2018
杉田昭, 小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 小原尚	潰瘍性大腸炎の手術適応	手術	71	953-958	2017
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 木村英明, 杉田昭	開腹大腸全摘・回腸囊肛門管吻合術	手術	71	127-132	2017
小金井一隆, 辰巳健志, 二木了, 黒木博介, 杉田昭	クローン病	日本臨床	75	426-432	2017
Kakiuchi N, Yoshida K, Uchino M, Kihara T, Akaki K, Inoue Y, Kawada K, Nagayama S, Yokoyama A, Yamamoto S, Matsuura M, Horimatsu T, Hirano T, Goto N, Takeuchi Y, Ochi Y, Shinozawa Y, Kogure Y, Watatani Y, Fujii Y, Kim SK, Kon A, Kataoka K, Yoshizato T, Nakagawa MM, Yoda A, Nanya Y, Makishima H, Shiraiishi Y, Chiba K, Tanaka H, Sanada M, Sugihara E, Sato TA, Maruyama T, Miyoshi H, Taketo MM, Oishi J, Inagaki R, Ueda Y, Okamoto S, Okajima H, Sakai Y, Sakurai T, Haga H, Hirota S, Ikeuchi H, Nakase H, Marusawa H, Chiba T, Takeuchi O, Miyano S, Seno H, Ogawa S.	Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis.	Nature	577	260-265	2020

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Honzawa Y, Matsuura M, Higuchi H, Sakurai T, Seno H, <u>Nakase H.</u>	A novel endoscopic imaging system for quantitative evaluation of colonic mucosal inflammation patients with quiescent ulcerative colitis.	Endosc Int Open	8	E41-E49	2020
Kakuta Y, Izumiyama Y, Okamoto D, Nakano T, Ichikawa R, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Kudo H, Minegishi N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kinouchi Y, Suzuki Y, Masamune A, for the MENDEL study.	High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the <i>NUDT15</i> diplotype.	J Gastroenterol	55	67-77	2020
<u>Nakase H.</u>	Optimizing the use of current treatments and emerging therapeutic approaches to achieve therapeutic success in patients with inflammatory bowel disease.	Gut Liver	14	7-19	2020
Bossuyt P, <u>Nakase H.</u> , Vermeire S, de Hertogh G, Eelbode T, Ferrante M, Hasegawa T, Willekens H, Ikemoto Y, Makino T, Bisschops R.	Automatic computer-aided determination of endoscopic and histological inflammation in patients with mild to moderate ulcerative colitis based on red density.	Gut	doi:10.1136/gutjnl-2019-320056		2020
Zhu Y, Cui G, Miyauchi E, Nakanishi Y, Mukohira H, Shimba A, Abe S, Tani-Ichi S, Hara T, <u>Nakase H.</u> , Chiba T, Sehara-Fujisawa A, Seno H, Ohno H, Ikuta K.	Intestinal epithelial cell-derived IL-15 determines local maintenance and maturation of intraepithelial lymphocytes in the intestine.	Int Immunol	doi:10.1093/intimm/dxz082.		2019
<u>Nakase H.</u>	Opening the epithelial barrier: osteopontin preserves gut barrier function during intestinal inflammation.	Dis Sci	64	294-296	2019
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata N, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, <u>Nakase H.</u> , Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T, DIAMOND2 Study Group.	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2).	J Gastroenterol	54	860-870	2019
<u>Iida T.</u> , Nojima M, <u>Nakase H.</u>	Therapeutic efficacy and adverse events of tacrolimus in patients with Crohn's disease: systematic review and meta-analysis.	Dig Dis Sci	64	2945-2954	2019
Wagatsuma K, Yamada S, Ao M, Matsuura M, Tsuji H, <u>Iida T.</u> , Miyamoto K, Oka K, Takahashi M, Tanaka K, <u>Nakase H.</u>	Diversity of gut microbiota affecting serum level of undercarboxylated osteocalcin in patients with Crohn's Disease.	Nutrients	11	E1541	2019
Hisamatsu T, Matsumoto T, Watanabe K, <u>Nakase H.</u> , Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T, DIAMOND study group.	Concerns and side effects of azathioprine during adalimumab induction and maintenance therapy for Japanese patients with Crohn's disease: a subanalysis of a prospective randomised clinical trial (DIAMOND Study).	J Crohns Colitis	13	1097-1104	2019
Saito D, Hibi N, Ozaki R, Kikuchi O, Sato T, Tokunaga S, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hayashida M, Miyoshi J, Matsuura M, <u>Nakase H.</u> , Hisamatsu T.	MEFV gene-related enterocolitis account for some cases diagnosed as inflammatory bowel disease unclassified.	Digestion	6	1-9	2019
<u>Iida T.</u> , Hirayama D, Minami N, Matsuura M, Wagatsuma K, Kawakami K, Nagaishi K, Nojima M, Ikeuchi H, Hirota S, Shirakawa R, Horiuchi H, <u>Nakase H.</u>	Down-regulation of RalGTPase-activating protein promotes colitis-associated cancer via NLRP3 inflammasome activation.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol	9	277-293	2019
<u>Iida T.</u> , Wagatsuma K, Hirayama D, Yokoyama Y, <u>Nakase H.</u>	The etiology of pancreatic manifestations in patients with inflammatory bowel disease.	J Clin Med	8	E916	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamamoto Y, Masuda S, Nakase H, Matsuura M, Maruyama S, Hisamatsu T, Suzuki Y, Matsubara K.	Influence of pharmaceutical formulation on the mucosal concentration of 5-aminosalicylic acid and <i>N</i> -acetylmethylsalicylic acid in Japanese patients with ulcerative colitis.	Biol Pharm Bull	42	81-86	2019
飯田智哉, 宮川麻希, 那須野正尚, 田中浩紀, 吉田雄一郎, 蔵原晃一, 朝倉謙輔, 梁井俊一, 松本主之, 仲瀬裕志	小腸の非腫瘍性疾患	胃と腸	54	526-531	2019
仲瀬裕志	炎症性腸疾患治療の現状と将来	日本消化器病学会雑誌	116	185-192	2019
仲瀬裕志	薬剤編：ネオプリン製剤	IBD クリニカルカンファレンス	1	62-65	2019
永石歆和, 仲瀬裕志	自己骨髄間葉系幹細胞を用いた再生医療	消化器病学サイエンス	3	23-26	2019
仲瀬裕志	免疫調節薬のメリット、使い方、モニタリングの実際	診断と治療	107	805-809	2019
仲瀬裕志	家族性地中海熱遺伝子関連腸炎	医学のあゆみ	270	354-356	2019
仲瀬裕志	IBD に合併する肺病変	IBD Research	13	151-155	2019
仲瀬裕志	炎症性腸疾患の概説	消化器外科	42	1635-1644	2019
仲瀬裕志	腸管ペーチェット病の鑑別疾患 家族性地中海熱関連腸炎	INTESTINE	23	513-518	2019
仲瀬裕志, 平山大輔, 我妻康平, 風間友江, 横山佳浩	MEFV 遺伝子異常に関連する消化管病変	胃と腸	54	1715-1722	2019
仲瀬裕志	家族性地中海熱遺伝子関連の消化管病変	Gastroenterol Endosc	61	2455-2465	2019
Kakuta Y, Kawai Y, Okamoto D, Takagawa T, Ikeya K, Sakuraba H, Nishiba A, Nakagawa S, Miura M, Toyonaga T, Onodera K, Shinozaki M, Ishiguro Y, Mizuno S, Takahara M, Yanai S, Hokari R, Nakagawa T, Araki H, Motoya S, Naito T, Moroi R, Shiga H, Endo K, Kobayashi T, Naganuma M, Hiraoka S, Matsumoto T, Nakamura S, Nakase H, Hisamatsu T, Sasaki M, Nanai H, Andoh A, Nagasaki M, Kinouchi Y, Shimosegawa T, Masamune A, Suzuki Y, for the MENDEL study.	NUDT15 codon 139 is the best pharmacogenetic marker for predicting thiopurine-induced severe adverse events in Japanese patients with inflammatory bowel disease: a multicenter study.	J Gastroenterol	53	1065-1078	2018
Ando K, Fujiya M, Nomura Y, Inaba Y, Sugiyama Y, Kobayashi Y, Iwama T, Ijiri M, Takahashi K, Ueno N, Kashima S, Moriichi K, Tanabe H, Mizukami Y, Akasaka K, Fujii S, Yamada S, Nakase H, Okumura T.	The Incidence and risk factors of venous thromboembolism in patients with inflammatory bowel disease : a prospective multicenter cohort study.	Digestion	14	1-9	2018
Naganuma M, Sugimoto S, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Suda W, Hattori M, Fukuda S, Hirayama A, Abe T, Watanabe M, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T, for the INDIGO Study Group. Nakase H.	Efficacy of indigo naturalis in a multicenter randomized controlled trial of patients with ulcerative colitis.	Gastroenterology	154	935-947	2018
Nakamura S, Imaeda H, Nishikawa H, Iimuro M, Matsuura M, Oka H, Oku J, Miyazaki T, Honda H, Watanabe K, Nakase H, Andoh A.	Usefulness of fecal calprotectin by monoclonal antibody testing in adult Japanese with inflammatory bowel diseases: a prospective multicenter study.	Intest Res	16	554-562	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hisamatsu T, Kunisaki R, Nakamura S, Tsujikawa T, Hirai F, <u>Nakase H</u> , Watanabe K, Yokoyama K, Nagahori M, Kanai T, Naganuma M, Michimae H, Andoh A, Yamada A, Yokoyama T, Kamata N, Tanaka S, Suzuki Y, Hibi T, Watanabe M.	Effect of elemental diet combined with infliximab dose escalation in patients with Crohn's disease with loss of response to infliximab: CERISIER trial.	Intest Res	16	494-498	2018
Nakajima A, Vogelzang A, Maruya M, Miyajima M, Murata M, Son A, Kuwahara T, Tsuruyama T, Yamada S, Matsuura M, <u>Nakase H</u> , Peterson DA, Fagarasan S, Suzuki K.	IgA regulates the composition and metabolic function of gut microbiota by promoting symbiosis between bacteria.	J Exp Med	215	2019-2032	2018
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, Ogata H, Andoh A, Araki T, Hokari R, Iijima H, Ikeuchi H, Ishiguro Y, Kato S, Kunisai R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, <u>Nakase H</u> , Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T.	Predicting outcomes to optimize disease management in inflammatory bowel disease in Japan: their differences and similarities to Western countries.	Intest Res	16	168-177	2018
Watanabe K, Matsumoto T, Hisamatsu T, <u>Nakase H</u> , Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T, for the DIAMOND study group.	Clinical and pharmacokinetic factors associated with adalimumab-induced mucosal healing in patients with Crohn's disease.	Clinical Gastroenterology and Hepatology	16	542-549	2018
Matsuoka K, Kobayashi T, Ueno F, Matsui T, Hirai F, Inoue N, Kato J, Kobayashi K, Kobayashi K, Koganei K, Kunisaki R, Motoya S, Nagahori M, <u>Nakase H</u> , Omata F, Saruta M, Watanabe T, Tanaka T, Kanai T, Noguchi Y, Takahashi K, Watanabe K, Hibi T, Suzuki Y, Watanabe M, Sugano K, Shimosegawa T.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol	53	305-353	2018
Hirai F, Andoh A, Ueno F, Watanabe K, Ohmiya N, <u>Nakase H</u> , et al.	Efficacy of endoscopic balloon dilation for small bowel strictures in patients with Crohn's disease: A nationwide, multi-center, open-label, prospective cohort study.	J Crohns Colitis	12	394-401	2018
Kawakami K, Minami N, Matsuura M, <u>Iida T</u> , Toyonaga T, Nagaishi K, Arimura Y, Fujimiya M, Uede T, <u>Nakase H</u> .	Osteopontin attenuates acute gastrointestinal graft-versus-host disease by preventing apoptosis of intestinal epithelial cells.	Biochem Biophys Res Commun	485	468-485	2017
<u>Iida T</u> , Onodera K, <u>Nakase H</u> .	Role of autophagy in the pathogenesis of inflammatory bowel disease.	World J Gastroenterol	23	1944-1953	2017
<u>Nakase H</u> , Sakuma S, Fukuchi T, et al	Evaluation of a novel fluorescent nanobeacon for targeted imaging of Thomsen-Friedenreich associated colorectal cancer.	Int J Nanomedicine	12	1747-1755	2017
<u>Iida T</u> , Yamashita K, <u>Nakase H</u> .	A Unique Cause of Persistent Diarrhea.	Gastroenterology	38	1291-1292	2017
Ao M, Tsuji H, Shide K, Kosaka Y, Noda A, Inagaki N, <u>Nakase H</u> , Tanaka K.	High prevalence of vitamin B-12 insufficiency in patients with Crohn's disease.	Asia Pac J Clin Nutr	26	1076-1081	2017
<u>Nakase H</u> , Motoya S, Matsumoto T.	Significance of measurement of serum trough level and anti-drug antibody of adalimumab as personalised pharmacokinetics in patients with Crohn's disease: a subanalysis of the DIAMOND trial.	Aliment Pharmacol Ther	46	873-882	2017
<u>Nakase H</u> .	Editorial: therapeutic drug monitoring for anti-TNF agents-has it all been said? Author's reply.	Aliment Pharmacol Ther	46	1114-1115	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hiejima E, Yasumi T, <u>Nakase H</u> , et al	Tricho-hepato-enteric syndrome with novel SKIV2L gene mutations: A case report.	Medicine (Baltimore)	96	e8601	2017
<u>Iida T</u> , Wagatsuma K, Hirayama D, <u>Nakase H</u> .	Is Osteopontin a Friend or Foe of Cell Apoptosis in Inflammatory Gastrointestinal and Liver Diseases?	Int J Mol Sci	19	E7	2017
Hirayama D, <u>Iida T</u> , <u>Nakase H</u> .	The Phagocytic Function of Macrophage-Enforcing Innate Immunity and Tissue Homeostasis.	Int J Mol Sci	19	E92	2017
Okabayashi S, Kobayashi T, Saito E, Toyonaga T, Ozaki R, Sagami S, <u>Nakano M</u> , Tanaka J, Yagisawa K, Kuronuma S, Takeuchi O, Hibi T.	Individualized treatment based on CYP3A5 single-nucleotide polymorphisms with tacrolimus in ulcerative colitis.	Intest Res.	17(2)	218-226	2019
Sagami S, Kobayashi T, Kikkawa N, Umeda S, <u>Nakano M</u> , Toyonaga T, Okabayashi S, Ozaki R, Hibi T	Combination of colonoscopy and magnetic resonance enterography is more useful for clinical decision making than colonoscopy alone in patients with complicated Crohn's disease.	PLoS One.	14(2)	e0212404	2019
Yagisawa K, Kobayashi T, Ozaki R, Okabayashi S, Toyonaga T, Miura M, Hayashida M, Saito E, <u>Nakano M</u> , Matsubara H, Hisamatsu T, Hibi T	Randomized, crossover questionnaire survey of acceptabilities of controlled-release mesalazine tablets and granules in ulcerative colitis patients.	Intest Res.	17(1)	87-93	2019
Ozaki R, Kobayashi T, Okabayashi S, <u>Nakano M</u> , Morinaga S, Hara A, Ohbu M, Matsuoka K, Toyonaga T, Saito E, Hisamatsu T, Hibi T	Histological Risk Factors to Predict Clinical Relapse in Ulcerative Colitis with Endoscopically Normal Mucosa.	J Crohns Colitis	12(11)	1288-1294	2018
Hosoe N, <u>Nakano M</u> , Takeuchi K, Endo Y, Matsuoka K, Abe T, Omori T, Hayashida M, Kobayashi T, Yoshida A, Mizuno S, Yoshihiro N, Naganuma M, Kanai T, Watanabe M, Ueno F, Suzuki Y, Hibi T, Ogata H	Establishment of a Novel Scoring System for Colon Capsule Endoscopy to Assess the Severity of Ulcerative Colitis-Capsule Scoring of Ulcerative Colitis.	Inflamm Bowel Dis	24(12)	2641-2647	2018
Okabayashi S, Kobayashi T, <u>Nakano M</u> , Toyonaga T, Ozaki R, Carla Tablante M, Kuronuma S, Takeuchi O, Hibi T	A Simple 1-Day Colon Capsule Endoscopy Procedure Demonstrated to be a Highly Acceptable Monitoring Tool for Ulcerative Colitis.	Inflamm Bowel Dis	24(11)	2404-2412	2018
Umeda S, Serizawa H, Kobayashi T, Toyonaga T, Saito E, <u>Nakano M</u> , Higuchi H, Tsunematsu S, Watanabe N, Hibi T, and Morinaga S	Clinical significance of human intestinal spirochetosis: a retrospective study.	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi	114(2)	230-237	2017
Toyonaga T, Kobayashi T, <u>Nakano M</u> , Saito E, Umeda S, Okabayashi S, Ozaki R, Hibi T	Usefulness of fecal calprotectin for the early prediction of short-term outcomes of remission-induction treatments in ulcerative colitis in comparison with two-item patient-reported outcome.	PLoS One	21;12	9	2017
Okabayashi S, Kobayashi T [corresponding author], Sujino T, Ozaki R, Umeda S, Toyonaga T, Saito E, <u>Nakano M</u> , Tablante MC, Morinaga S, Hibi T.	Steroid-refractory extensive enteritis complicated with ulcerative colitis successfully treated with adalimumab.	Intest Res	15(4)	535-539	2017
Okabayashi S, Kobayashi T [corresponding author], <u>Nakano M</u> , Toyonaga T, Ozaki R, Tablante MC, Kuronuma S, Takeuchi O, Hibi T	A simple 1-day colon capsule endoscopy procedure demonstrated to be a highly acceptable monitoring tool for ulcerative colitis.	Inflamm Bowel Dis	in press		2017
Miyazaki T, Watanabe K, Kojima K, Koshihara R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Hida N, <u>Nakamura S</u> .	Efficacies and Related Issues of Ustekinumab in Japanese Patients with Crohn's Disease: A Preliminary Study.	Digestion	101	53-9	2020
Higashiyama M, Sugita A, Koganei K, Watanabe K, Yokoyama Y, Uchino M, Nagahori M, Naganuma M, Bamba S, Kato S, Takeuchi K, Omori T, Takagi T, Matsumoto S, Nagasaka M, Sagami S, Kitamura K, Katsurada T, Sugimoto K, Takatsu N, Saruta M, Sakurai T, Watanabe K, <u>Nakamura S</u> , Suzuki Y, Hokari R.	Management of elderly ulcerative colitis in Japan.	Journal of Gastroenterology	54 (7)	571-86	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
中村 志郎, 小島 健太郎, 藤本 晃士, 小柴 良司, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 横山 陽子, 上小鶴 孝二, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治.	消化器内科-炎症性腸疾患におけるステロイド療法-	臨床と研究.	96(4)	417-23	2019
渡辺 憲治, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎.	CT・MRI.	臨床消化器内科	34(7)	751-5	2019
渡辺 憲治, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎 病態分類(拡がりによる病型分類, 病期分類, 重症度分類など)	胃と腸	54(5)	698-9	2019
中村 志郎, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 宮崎 孝子, 横山 陽子, 上小鶴 孝二.	炎症性腸疾患治療指針・ガイドライン	臨床消化器内科	34(7)	104-10	2019
渡辺 憲治, 樋田 信幸, 中村 志郎.	ワクチン接種.	診断と治療	107(7)	855-8	2019
中村 志郎, 小島 健太郎, 藤本 晃士, 小柴 良司, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 横山 陽子, 上小鶴 孝二, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治.	潰瘍性大腸炎 新規局所製剤 プデソニド注腸フォーム剤の特徴と仕様の実際	新薬と臨床	68(9)	1165-71	2019
高川 哲也, 中村 志郎.	IBD治療とゲノム情報.	IBD Research	13(2)	77-81	2019
Nakamura S, Watanabe T, Shimada S, Nadatani Y, Otani K, Tanigawa T, Miyazaki T, Iimuro M, Fujiwara Y.	Does discontinuation of antithrombotics affect the diagnostic yield of small bowel capsule endoscopy in patients demonstrating obscure gastrointestinal bleeding?	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	63(2):	149-53	2018
Nakamura S, Imaeda H, Nishikawa H, Iimuro M, Matsuura M, Oka H, Oku J, Miyazaki T, Honda H, Watanabe K, Nakase H, Andoh A..	Usefulness of fecal calprotectin by monoclonal antibody testing in adult Japanese with inflammatory bowel diseases: a prospective multicenter study.	INTESTINAL RESEARCH	16(4)	554-62	2018
Morita K, Shibano T, Maekawa K, Hattori M, Hida N, Nakamura S, Takeshima Y.	Crohn's disease following rituximab treatment in a patient with refractory nephrotic syndrome.	Gen Case Reports	7		2018
Takagawa T, Kitani A, Fuss I, Levine B, Brant SR, Peter I, Tajima M, Nakamura S, Strober W.	An increase in LRRK2 suppresses autophagy and enhances Dectin-1-induced immunity in a mouse model of colitis.	Science Translational Medicine	10(444)		2018
Nakamura S, Watanabe T, Tanigawa T, Shimada S, Nadatani Y, Miyazaki T, Iimuro Mi, Fujiwara Y.	Isoliquiritigenin Ameliorates Indomethacin-Induced Small Intestinal Damage by Inhibiting NOD-Like Receptor Family, Pyrin Domain-Containing 3 Inflammasome Activation.	Pharmacology	101(5-6)	236-45	2018
西尾 昭宏, 中村 志郎.	炎症性腸疾患治療薬: 5-ASA製剤.	Medicina	55(4)	226-9	2018
河合 幹夫, 中村 志郎.	プデソニド経口剤.	INTESTINE	22(3)	277-81	2018
中村 志郎.	炎症性腸疾患の治療指針 平成28年度クローン病治療指針.	日本臨床	76(3)	303-8	2018
渡辺 憲治, 上小鶴 孝二, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎.	CT・MRI診断概論.	日本臨床	76(3)	220-5	2018
渡辺 憲治, 西下 正和, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎の dysplasia.	臨床消化器内科	33(8)	1045-50	2018
渡辺 憲治, 樋田 信幸, 宮崎 孝子, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 中村 志郎.	色素拡大内視鏡・NBI.	INTESTINE	22(4)	324-9	2018
中村 志郎, 河合 幹夫, 佐藤 寿行, 藤本 晃士, 小柴 良司, 小島 健太郎, 上小鶴 孝二, 横山 陽子, 高川 哲也, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 渡辺 憲治.	プデソニド経口製剤.	IBD Research	12(3)	151-6	2018
中村 志郎, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 宮崎 孝子, 高川 哲也, 横山 陽子, 上小鶴 孝二, 河合 幹夫, 佐藤 寿行, 藤本 晃士, 小柴 良司, 小島 健太郎.	最新のクローン病に対する内科治療.	臨床外科	73(12)	1327-33	2018
渡辺 憲治, 小島 健太郎, 藤本 晃士, 小柴 良司, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎.	IBD患者の感染合併症.	IBD Resarch	12(4)	231-6	2018
渡辺 憲治, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎, 味岡 洋一.	UCにおける IEE を用いたサーベイランスと colitis associated cancer/dysplasia の IEE 診断.	消化器内視鏡	30(12)	1712-4	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
佐藤 寿行, 内野 基, 横山 陽子, 應田 義雄, 樋田 信幸, 渡辺 憲治, 堀 和敏, 三輪 洋人, 池内 浩基, 中村 志郎.	当院における免疫抑制治療中の潰瘍性大腸炎に合併したニューモシスチス肺炎に関する臨床的検討: case-control study.	日本外科感染症学会雑誌	15(6)	639-44	2018
樋田 信幸, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎関連大腸腫瘍の治療方針と経過観察.	INTESTINE	22(1)	59-64	2018
渡辺 憲治, 樋田 信幸, 宮寄 孝子, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する至適サーベイランス法の検討 インジゴカルミン色素散布法 vsNBI法.	INTESTINE	22(1)	53-8	2018
渡辺 憲治, 藤森 絢子, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 木田 裕子, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮寄 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎.	今後本邦で承認が見込まれるクローン病治療薬の特徴.	消化器の臨床	21(1)	48-52	2018
渡辺 憲治, 樋田 信幸, 宮寄 孝子, 藤森 絢子, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 木田 裕子, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度評価-NBI拡大内視鏡所見からみた重症度.	胃と腸	53(2)	177-81	2018
宮寄 孝子, 渡辺 憲治., 樋田 信幸, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎に対する生物学的製剤の適応	消化器・肝臓内科	3(1)	28-33	2018
中村 志郎, 樋田 信幸, 渡辺 憲治.	炎症性腸疾患治療の最前線-治療指針・ガイドラインを踏まえて.	日本消化器病学会雑誌	115(3)	233-43	2018
Yokoyama Y, Kamikozuru K, Watanabe K, Nakamura S.	Inflammatory bowel disease patients experiencing a loss of response to infliximab regain long-term response after undergoing granulocyte/monocyte apheresis: A case series.	Cytokine	103	25-8	2017
中村 志郎.	潰瘍性大腸炎-内科治療最新の動向	SRL宝函	38(1)	27-37	2017
西尾 昭宏, 中村 志郎.	潰瘍性大腸炎に対する5-ASA製剤をどのように使いこなすか	Mebio	34(7)	18-26	2017
中村 志郎.	炎症性腸疾患内科.	臨床免疫・アレルギー科	68(3)	284-93	2017
中村 志郎, 河合 幹夫, 西尾 昭宏.	5ASA製剤とステロイドの最適化のための進歩.	Medical Science Digest	43(14)	16-9	2017
西尾 昭宏, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 木田 裕子, 横山 陽子, 宮寄 孝子, 樋田 信幸, 堀 和敏, 中村 志郎.	Crohn病.	消化器内視鏡	29(1)	36-45	2017
横山 陽子, 上小鶴 孝二, 中村 志郎.	血球成分除去療法.	日本臨牀	75(3)	419-25	2017
中村 志郎, 樋田 信幸.	潰瘍性大腸炎:診断基準・治療指針.	診断と治療	105	79-89	2017
Akiyama S, Matsuoka K, Fukuda K, Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, Ogata H, Hisamatsu T, Naganuma M, Motobayashi M, Suzuki K, Takenaka K, Fujii T, Saito E, Nagahori M, Ohtsuka K, Mochizuki M, Watanabe M, Hashiguchi M, Kanai T	Long-term effect of NUDT15 R139C on hematologic indices in inflammatory bowel disease patients treated with thiopurine.	J Gastroenterol Hepatol	(Epub ahead of print)		2019
Takenaka K, Fujii T, Suzuki K, Shimizu H, Motobayashi M, Hibiya S, Saito E, Nagahori M, Watanabe M, Ohtsuka K	Small Bowel Healing Detected by Endoscopy in Patients With Crohn's Disease After Treatment With Antibodies Against Tumor Necrosis Factor.	Clin Gastroenterol Hepatol	(Epub ahead of print)		2019
Motobayashi M, Matsuoka K, Takenaka K, Fujii T, Nagahori M, Ohtsuka K, Iwamoto F, Tsuchiya K, Negi M, Eishi Y, Watanabe M	Predictors of mucosal healing during induction therapy in patients with acute moderate-to-severe ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol	34(6)	1004-1010	2019
Hisamatsu T, Matsumoto T, Watanabe K, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T	Concerns and side effects of azathioprine during adalimumab induction and maintenance therapy for Japanese patients with Crohn's disease: a sub-analysis of a prospective randomized clinical trial (DIAMOND study).	J Crohns Colitis	13(9)	1097-1104	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata N, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T; DIAMOND2 Study Group	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2).	J Gastroenterol	54(10)	860-870	2019
Tsuda S, Sameshima A, Sekine M, Kawaguchi H, Fujita D, Makino S, Morinobu A, Murakawa Y, Matsui K, Sugiyama T, Watanabe M, Suzuki Y, Nagahori M, Murashima A, Atsumi T, Oku K, Mitsuda N, Takei S, Miyamae T, Takahashi N, Nakajima K, Saito S	Ministry of Health Labour and Welfare Working Group for "Guideline for The Treatment of Rheumatoid Arthritis or Inflammatory Bowel Disease Bearing Women in Child-bearing Age". Pre-conception status, obstetric outcome and use of medications during pregnancy of systemic lupus erythematosus (SLE), rheumatoid arthritis (RA) and inflammatory bowel disease (IBD) in Japan: Multi-center retrospective descriptive study.	Mod Rheumatol		1-10	2019
鈴木康平、長堀正和、渡辺 守	炎症性腸疾患の内科治療 免疫調節薬	臨床消化器内科	34(70)	817-821	2019
大塚和朗、竹中健人、鈴木康平、長堀正和、渡辺 守	炎症性腸疾患の検査法 小腸バルーン内視鏡検査	臨床消化器内科	34(7)	746-750	2019
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, Matsuoka K, Nagahori M, Fujii T, Saito E, Kimura M, Fujioka T, Watanabe M	Utility of magnetic resonance enterography for small bowel endoscopic healing in patients with Crohn's disease.	Am J Gastroenterol	113(2)	283-294	2018
Hisamatsu T, Kunisaki R, Nakamura S, Tsujikawa T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Yokoyama K, Nagahori M, Kanai T, Naganuma M, Michimae H, Andoh A, Yamada A, Yokoyama T, Kamata N, Tanaka S, Suzuki Y, Hibi T, Watanabe M; CERISIER Trial group	Effect of elemental diet combined with infliximab dose escalation in patients with Crohn's disease with loss of response to infliximab: CERISIER trial.	Intest Res	16(3)	494-498	2018
Iwamoto F, Matsuoka K, Motobayashi M, Takenaka K, Kuno T, Tanaka K, Tsukui Y, Kobayashi S, Yoshida T, Fujii T, Saito E, Yamaguchi T, Nagahori M, Sato T, Ohtsuka K, Enomoto N, Watanabe M	Prediction of disease activity of Crohn's disease through fecal calprotectin evaluated by balloon-assisted endoscopy.	J Gastroenterol Hepatol	33(12)	1984-1989	2018
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, Ogata H, Andoh A, Araki T, Hokari R, Iijima H, Ikeuchi H, Ishiguro Y, Kato S, Kunisaki R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, Nakase H, Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T	their differences and similarities to Western countries.	Intest Res	16(2)	168-177	2018
Watanabe K, Matsumoto T, Hisamatsu T, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group	Clinical and Pharmacokinetic Factors Associated With Adalimumab-Induced Mucosal Healing in Patients With Crohn's Disease.	Gastroenterol Hepatol	16(4)	542-549	2018
竹中健人、大塚和朗、鈴木康平、勝倉暢洋、福田将義、藤井俊光、齊藤詠子、本林麻衣子、松岡克善、長堀正和、北詰良雄、藤岡友之、渡辺 守	【IBDの内視鏡的粘膜治癒-評価法と臨床的意義】 Crohn病の内視鏡的重症度評価 小腸病変の評価法 内視鏡とほかのモダリティの比較	胃と腸	53(2)	203-210	2018
竹中健人、大塚和朗、長堀正和、藤井俊光、渡辺 守	クローン病における小腸内視鏡的治癒に対するMRI検査の有用性	INTESRINE	22(5)	201-505	2018
大塚和朗、竹中健人、藤井俊光、松岡克善、長堀正和、齊藤詠子、鈴木康平、北詰良雄、渡辺 守	【小腸出血性疾患の診断と治療-最近の進歩】 出血を主徴とする小腸非腫瘍性病変の診断と治療 出血を主な臨床像とするCrohn病	胃と腸	53(6)	823-828	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
大塚和朗、福田将義、竹中健人、鈴木康平、齋藤詠子、松岡克善、藤井俊光、長堀正和、岡田英里子、渡辺 守	【大腸内視鏡挿入法を極める-機器の進化と手技の進歩】 偶発症の予防と対策	消化器内視鏡	30(3)	396-402	2018
大塚和朗、福田将義、和田祥城、松岡克善、長堀正和、藤井俊光、竹中健人、齋藤詠子、本林麻衣子、渡辺 守	手技の解説 潰瘍性大腸炎関連腫瘍の拾い上げ	Gastroenterologic Endoscopy	60(1)	57-63	2018
大塚和朗、福田将義、竹中健人、鈴木康平、長堀正和、藤井俊光、齋藤詠子、小林正典、渡辺 守	【大腸内視鏡の話題-機器と挿入法】 挿入補助具 バルーン内視鏡 a.シングルバルーン	Intestine	22(6)	567-569	2018
Nakase H, Motoya S, Matsumoto T, Watanabe K, Hisamatsu T, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group	Significance of measurement of serum trough level and anti-drug antibody of adalimumab as personalised pharmacokinetics in patients with Crohn's disease: a subanalysis of the DIAMOND trial.	Aliment Pharmacol Ther			2017
Akiyama S, Fujii T, Matsuoka K, Ebana Y, Negi M, Takenaka K, Nagahori M, Ohtsuka K, Isobe M, Watanabe M	Endoscopic features and genetic background of inflammatory bowel disease complicated with Takayasu arteritis.	J Gastroenterol Hepatol	32(5)	1011-1017	2017
Nagahori M, Kochi S, Hanai H, Yamamoto T, Nakamura S, Omuro S, Watanabe M, Hibi T; OPTIMUM Study Group	Real life results in using 5-ASA for maintaining mild to moderate UC patients in Japan, a multi-center study, OPTIMUM Study	BMC Gastroenterol	17(1)	47	2017
Tsuchiya K, Hayashi R, Fukushima K, Hibiya S, Horita N, Negi M, Itoh E, Akashi T, Eishi Y, Motoya S, Takeuchi Y, Kunisaki R, Fukunaga K, Nakamura S, Yoshimura N, Takazoe M, Iizuka B, Suzuki Y, Nagahori M, Watanabe M	Caudal type homeobox 2 expression induced by leukocytapheresis might be associated with mucosal healing in ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol	32(5)	1032-1039	2017
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, Matsuoka K, Fujii T, Nagahori M, Kimura M, Fujioka T, Araki A, Watanabe M	Magnetic resonance evaluation for small bowel strictures in Crohn's disease: comparison with balloon enteroscopy.	J Gastroenterol	52(8)	879-888	2017
Kuwahara E, Murakami Y, Nakamura T, Inoue N, Nagahori M, Matsui T, Watanabe M, Suzuki Y, Nishiwaki Y	Factors associated with exacerbation of newly diagnosed mild ulcerative colitis based on a nationwide registry in Japan.	J Gastroenterol	52(2)	185-193	2017
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, Matsuoka K, Nagahori M, Fujii T, Saito E, Kimura M, Fujioka T, Watanabe M	Utility of magnetic resonance enterography for small bowel endoscopic healing in patients with Crohn's disease.	Am J Gastroenterol	(in press)	(in press)	2017
竹中健人、大塚和朗、鈴木康平、勝倉暢洋、福田将義、藤井俊光、齋藤詠子、本林麻衣子、松岡克善、長堀正和、北詰良雄、藤岡友之、渡辺 守	小腸病変の評価法：内視鏡とほかのモダリティーの比較	胃と腸	53(2)		2017
長堀正和	X. 高齢者に対する炎症性腸疾患治療における注意点	INTESTINE	21(2)	167-171	2017
長堀正和	特集 IBD の診療ガイドラインを臨床にいかにか活かすか？ ガイドラインを活かした潰瘍性大腸炎の診断と治療	IBD Resarch	11(2)	81-85	2017
長堀正和	炎症性腸疾患（IBD）診療ガイドライン2016 - 改訂のポイント	臨床栄養	131(1)	13-16	2017
長堀正和	特集：炎症性腸疾患 .炎症性腸疾患の検査・診断 問診・血液・生化学・細菌検査	日本臨床	75(3)	376-379	2017
Mari S OBA, Yoshitaka Murakami, Yuji Nishiwaki, Keiko Asakura, Satoko Ohfuji, Wakaba Fukushima, Yoshikazu Nakamura, Yasuo Suzuki	Estimated prevalence of Cronkhite-Canada Syndrome, Chronic Enteropathy Associated with SLC02A1 Gene, and Intestinal Behçet's Disease in Japan in 2017: A Nationwide Survey	J Epidemiol	In press		2020
Kobayashi Y, Ohfuji S, Kondo K, Fukushima W, Sasaki S, Kamata N, Yamagami H, Fujiwara Y, Suzuki Y, Hirota Y; Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis	Association between dietary iron and zinc intake and development of ulcerative colitis: A case-control study in Japan.	J Gastroenterol Hepatol.	34	1703-1710	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kondo K, Ohfuji S, Watanabe K, Yamagami H, Fukushima W, Ito K, Suzuki Y, Hirota Y; Japanese Case-Control Study Group for Crohn's disease.	Kondo K, Ohfuji S, Watanabe K, Yamagami H, Fukushima W, Ito K, Suzuki Y, Hirota Y; Japanese Case-Control Study Group for Crohn's disease.	PLoS One	14	e0216429	2019
Murakami Y, Nishiwaki Y, Oba MS, Asakura K, Ohfuji S, Fukushima W, Suzuki Y, Nakamura Y.	Estimated prevalence of ulcerative colitis and Crohn's disease in Japan in 2014: an analysis of a nationwide survey.	J Gastroenterol.	54	1070-1077	2019
西脇 祐司, 村上 義孝.	【炎症性腸疾患診療の update-診断・治療の最新知見】炎症性腸疾患の疫学 本邦における IBD の患者動向.	臨床消化器内科	34	710-713	2019
西脇 祐司, 村上 義孝	炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】炎症性腸疾患の疫学 わが国炎症性腸疾患の疫学 .	日本臨床 .	76 巻増刊 3	35-39	2018
Hata K, Anzai H, Ikeuchi H, Futami K, Fukushima K, Sugita A, Uchino M, Higashi D, Itabashi M, Watanabe K, Koganei K, Araki T, Kimura H, Mizushima T, Ueda T, Ishihara S, Suzuki Y	Surveillance colonoscopy for ulcerative colitis-associated colorectal cancer offers better overall survival in real-world surgically resected cases	Am J Gastroenterol	114(3)	483-489	2019
Shinagawa T, Hata K, Morikawa T, Takiyama H, Emoto S, Muroto K, Kaneko M, Sasaki K, Nishikawa T, Tanaka T, Kawai K, Fukayama M, Nozawa H	Pine-cone and villi patterns are endoscopic signs suggestive of ulcerative colitis-associated colorectal cancer and dysplasia.	Gastrointestinal Endoscopy	89(3)	565-575	2019
Shinagawa T, Hata K, Morikawa T, Matsunaga K, Emoto S, Muroto K, Kaneko M, Sasaki K, Nishikawa T, Tanaka T, Kawai K, Nozawa H, Fukayama M, Ishihara S.	Loss of RUNX3 Immunoreactivity in Non-Neoplastic Rectal Mucosa May Predict the Occurrence of Ulcerative Colitis-Associated Colorectal Cancer.	Digestion	In press		2019
Hata K, Okada S, Shinagawa T, Tanaka T, Kawai K, Nozawa H	Meta analysis of the association of extraintestinal manifestations with the development of pouchitis in patients with ulcerative colitis	BJS open	3(4)	436-444	2019
Shinagawa T, Hata K, Ikeuchi H, Fukushima K, Futami K, Sugita A, Uchino M, Watanabe K, Higashi D, Kimura H, Araki T, Mizushima T, Itabashi M, Ueda T, Koganei K, Oba K, Ishihara S, Suzuki Y.	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease.	Clin Gastroenterol Hepatol	In press		2019
Hata K, Shinagawa T, Watanabe T.	Efficacy of a Surveillance Endoscopy After an Ileorectal Anastomosis in Patients With Ulcerative Colitis.	Clin Gastroenterol Hepatol	16(1)	150-151	2018
Okada S, Hata K, Yokoyama T, Sasaki K, Kawai K, Tanaka T, Nishikawa T, Otani K, Kaneko M, Muroto K, Emoto S, Nozawa H.	Postoperative bleeding after subtotal colectomy in two patients with severe ulcerative colitis.	Journal of digestive diseases	19(10)	641-645	2018
Okada S, Hata K, Emoto S, Muroto K, Kaneko M, Sasaki K, Otani K, Nishikawa T, Tanaka T, Kawai K, Nozawa H.	Elevated risk of stoma outlet obstruction following colorectal surgery in patients undergoing ileal pouch-anal anastomosis: a retrospective cohort study.	Surgery Today	48(12)	1060-1067	2018
Ikeuchi H, Uchino M, Sugita A, Futami K, Fukushima K, Hata K, Koganei K, Kusunoki M, Uchida K, Nezu R, Kimura H, Takahashi K, Itabashi M, Kameyama H, Higashi D, Koyama F, Ueda T, Mizushima T, Suzuki Y.	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch-anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients: Multicenter national study in Japan.	Ann Gastroenterol Surg	2(6)	428-433	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino M, Ikeuchi H, Sugita A, Futami K, Watanabe T, Fukushima K, Tatsumi K, Koganei K, Kimura H, Hata K, Takahashi K, Watanabe K, Mizushima T, Funayama Y, Higashi D, Araki T, Kusunoki M, Ueda T, Koyama F, Itabashi M, Nezu R, Suzuki Y; a research grant on intractable disease affiliated with the Japan Ministry of Health Labor Welfare.	Pouch functional outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study.	J Gastroenterol	53(5)	642-651	2018
Hata K, Ishii H, Anzai H, Ishihara S, Nozawa H, Kawai K, Kiyomatsu T, Watanabe T.	Preoperative Extraintestinal Manifestations Associated with Chronic Pouchitis in Japanese Patients with Ulcerative Colitis After Ileal Pouch-anal Anastomosis: A Retrospective Study.	Inflamm Bowel Dis	23(6)	1019-1024	2017
Hata K, Ishihara S, Nozawa H, Kawai K, Kiyomatsu T, Tanaka T, Kishikawa J, Anzai H, Watanabe T.	Pouchitis after ileal pouch-anal anastomosis in ulcerative colitis: Diagnosis, management, risk factors, and incidence.	Dig Endosc	29(1)	26-34	2017
渡邊聡明, 味岡洋一, 光山慶一, 渡辺憲治, 花井洋行, 仲瀬裕志, 国崎玲子, 松田圭二, 岩切 龍, 樋田信幸, 田中信二, 竹内義明, 大塚和朗, 村上 和, 小林清典, 岩男泰, 長堀正和, 飯塚文瑛, 畑啓介, 五十嵐正, 平田一郎, 工藤進英, 松本主之, 上野文昭, 渡辺玄, 池上雅博, 伊東陽子, 大庭幸治, 井上永介, 友次直輝, 武林亨, 杉原健一, 鈴木康夫, 渡辺 守, 日比紀文	潰瘍性大腸炎合併大腸癌に対するサーベイランスにおける狙撃生検とランダム生検の多施設ランダム化比較試験	Intestine	21(2)	179-181	2017
Hayashida M, Miyoshi J, Mitsui T, Miura M, Saito D, Sakuraba A, Kawashima S, Ikegaya N, Fukuoka K, Karube M, Komagata Y, Kaname S, Okada AA, Fujimori S, Matsuura M, Hisamatsu T.	Elevated fecal calprotectin and lactoferrin are associated with small intestinal lesions in patients with Behçet disease.	J Gastroenterol Hepatol.	Jan 30.	[Epub ahead of print]	2020
Matsuoka K, Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, Ogata H, Hisamatsu T, Nagauma M, Kanai T, Mochizuki M, Hashiguchi M.	Factors contributing to the systemic clearance of infliximab with long-term administration in Japanese patients with Crohn's disease: Analysis using population pharmacokinetics .	Int J Clin Pharmacol Ther.	Feb;58(2):	89-102.	2020
Kakuta Y, Izumiyama Y, Okamoto D, Nakano T, Ichikawa R, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Kudo H, Minegishi N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kinouchi Y, Suzuki Y, Masasmune A; MENDEL study group(Hisamatsu T.).	High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the NUDT15 diplotype.	J Gastroenterol.	Jan;55(1):	67-77.	2020
Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Abe T, Suzuki Y, Kanai T; INDIGO Study Group.	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study.	J Gastroenterol.	Feb;55(2):	169-180.	2020
Kobayashi T, Udagawa E, Uda A, Hibi T, Hisamatsu T.	Impact of immunomodulator use on treatment persistence in patients with ulcerative colitis: a claims database analysis.	J Gastroenterol Hepatol.	Feb;35(2):	225-232.	2020
Adedokun OJ, Xu Z, Marano C, O'Brien C, Szapary P, Zhang H, Johans J, Leong RW, Hisamatsu T, van Assche G, Danese S, Abreu MT, Sands BE, Sandborn WJ.	Ustekinumab Pharmacokinetics and Exposure Response in a Phase 3 Randomized Trial of Patients With Ulcerative Colitis: Ustekinumab PK and exposure-response in UC.	Clin Gastroenterol Hepatol.	Dec 6.	[Epub ahead of print]	2019
Suzuki Y, Watanabe M, Matsui T, Motoya S, Hisamatsu T, Yuasa H, Tabira J, Isogawa N, Tsuchiwata S, Arai S, Hibi T.	Tofacitinib as Induction and Maintenance Therapy in Japanese Patients with Active Ulcerative Colitis.	Inflamm Intest Dis.	Oct;4(4):	131-143.	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Schreiner P, Neurath MF, Ng SC, El-Omar EM, Sharara AI, Kobayashi T, Hisamatsu T, Hibi T, Rogler G.	Mechanism-Based Treatment Strategies for IBD: Cytokines, Cell Adhesion Molecules, JAK Inhibitors, Gut Flora, and More.	Inflamm Intest Dis.	Aug;4(3):	79-96	2019
Sands BE, Sandborn WJ, Panaccione R, O'Brien CD, Zhang H, Johanss J, Adedokun OJ, Li K, Peyrin-Biroulet L, Van Assche G, Danese S, Targan S, Abreu MT, Hisamatsu T, Szapary P, Marano C; UNIFI Study Group.	Ustekinumab as Induction and Maintenance Therapy for Ulcerative Colitis.	N Engl J Med.	Sep 26;381(13):	1201-1214.	2019
Yamazaki H, Matsuoka K, Fernandez J, Hibi T, Watanabe M, Hisamatsu T, Fukuhara S.	Ulcerative colitis outcomes research in Japan: protocol for an observational prospective cohort study of YOURS (YOU and Ulcerative colitis: Registry and Social network).	BMJ Open	Sep 8;9(9):	e030134.	2019
Saito D, Hibi N, Ozaki R, Kikuchi O, Sato T, Tokunaga S, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hayashida M, Miyoshi J, Matsuura M, Nakase H, Hisamatsu T.	MEFV Gene-Related Enterocolitis Account for Some Cases Diagnosed as Inflammatory Bowel Disease Unclassified.	Digestion.	Sep 6:	1-9.	2019
Ooi CJ, Hilmi I, Banerjee R, Chuah SW, Ng SC, Wei SC, Makharia GK, Pisesongsap P, Chen MH, Ran ZH, Ye BD, Park DI, Ling KL, Ong D, Ahuja V, Goh KL, Sollano J, Lim WC, Leung WK, Ali RAR, Wu DC, Ong E, Mustaffa N, Limsrivilai J, Hisamatsu T, Yang SK, Ouyang Q, Geary R, De Silva JH, Rerknimitr R, Simadibrata M, Abdullah M, Leong RW; Asia Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) Working Group on Inflammatory Bowel Disease and Asian Organization for Crohn's and Colitis.	Best practices on immunomodulators and biologic agents for ulcerative colitis and Crohn's disease in Asia.	Intest Res.	Jul;17(3):	285-310.	2019
Akiyama S, Matsuoka K, Fukuda K, Hamada S, Shimizu M, Naniki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, Ogata H, Hisamatsu T, Naganuma M, Motobayashi M, Suzuki K, Takenaka K, Fujii T, Saito E, Nagahori M, Ohtsuka K, Mochizuki M, Watanabe M, Hashiguchi M, Kanai T.	Long-term effect of NUDT15 R139C on hematologic indices in inflammatory bowel disease patients treated with thiopurine.	J Gastroenterol Hepatol.	Oct;34(10):	1751-1757.	2019
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata N, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T; DIAMOND2 Study Group.	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2).	J Gastroenterol.	Oct;54(10):	860-870.	2019
Matsuno Y, Umeno J, Esaki M, Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Hirano A, Yasukawa S, Hirai F, Matsui T, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Yanai S, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Torisu T, Kitazono T, Matsumoto T.	Measurement of prostaglandin metabolites is useful in diagnosis of small bowel ulcerations.	World J Gastroenterol.	Apr 14;25(14):	1753-1763.	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ooi CJ, Hilmi I, Banerjee R, Chuah SW, Ng SC, Wei SC, Makharia GK, Pisesongsa P, Chen MH, Ran ZH, Ye BD, Park DI, Ling KL, Ong D, Ahuja V, Goh KL, Sollano J, Lim WC, Leung WK, Raja Ali RA, Wu DC, Ong E, Mustafa N, Limsrivilai J, Hisamatsu T, Yang SK, Ouyang Q, Geary R, De Silva JH, Rerknimitr R, Simadibrata M, Abdullah M, Leong RWL; Asia Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) Working Group on Inflammatory Bowel Disease and Asian Organization for Crohn's and Colitis.	Best practices on immunomodulators and biological agents for Ulcerative colitis and Crohn's disease in Asia.	J Gastroenterol Hepatol.	Aug;34(8):	1296-1315.	2019
Hisamatsu T, Matsumoto T, Watanabe K, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Concerns and side effects of azathioprine during adalimumab induction and maintenance therapy for Japanese patients with Crohn's disease: a sub-analysis of a prospective randomized clinical trial (DIAMOND study).	J Crohns Colitis.	Sep 19;13(9):	1097-1104.	2019
久松理一, 尾崎 良, 斎藤大祐	IBD治療における本邦からのエビデンス -クローン病に対するアダリムマブ, monotherapy か combination therapy か? DIAMOND 試験を中心に	日本消化器病学会雑誌	116(3):	193-199.	2019
久松理一	テーマ: 「炎症性腸疾患 - 診断と治療の最前線 - 」	日本消化器内視鏡学会雑誌	Vol.61 (8).	p1523-1537	2019
Hisamatsu T, Matsumoto T, Watanabe K, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T	DIAMOND study group. Concerns and side effects of azathioprine during adalimumab induction and maintenance therapy for Japanese patients with Crohn's disease: a sub-analysis of a prospective randomized clinical trial (DIAMOND study).	J Crohns Colitis.	Feb 8.	doi: 10.1093/ecco-jcc/jjz030. [Epub ahead of print]	2019
Yagisawa K, Kobayashi T, Ozaki R, Okabayashi S, Toyonaga T, Miura M, Hayashida M, Saito E, Nakano M, Matsubara H, Hisamatsu T, Hibi T.	Randomized, crossover questionnaire survey of acceptabilities of controlled-release mesalazine tablets and granules in ulcerative colitis patients.	Intest Res.	Jan;17(1):	87-93.	2019
Yamamoto Y, Masuda S, Nakase H, Matsumura M, Maruyama S, Hisamatsu T, Suzuki Y, Matsubara K.	Influence of Pharmaceutical Formulation on the Mucosal Concentration of 5-Aminosalicylic Acid and N-Acetylmethylamine in Japanese Patients with Ulcerative Colitis.	Biol Pharm Bull.	Jan 1;42(1):	81-86.	2019
Kiyohara H, Sujino T, Teratani T, Miyamoto K, Arai MM, Nomura E, Harada Y, Aoki R, Koda Y, Mikami Y, Mizuno S, Naganuma M, Hisamatsu T, Kanai T.	Toll-Like Receptor 7 Agonist-Induced Dermatitis Causes Severe Dextran Sulfate Sodium Colitis by Altering the Gut Microbiome and Immune Cells.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol.	Sep 25;7(1):	135-156.	2018
Miyoshi J, Matsuoka K, Yoshida A, Naganuma M, Hisamatsu T, Yajima T, Inoue N, Okamoto S, Iwao Y, Ogata H, Ueno F, Hibi T, Kanai T.	5-Aminosalicylic acid aggravates colitis mimicking exacerbation of ulcerative colitis.	Intest Res.	Oct;16(4):	635-640.	2018
Matsuoka K, Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, Ogata H, Hisamatsu T, Naganuma M, Kanai T, Mochizuki M, Hashiguchi M.	Factors predicting the therapeutic response to infliximab during maintenance therapy in Japanese patients with Crohn's disease.	PLoS One.	Oct 4;13(10):	e0204632.	2018
Hisamatsu T, Kunisaki R, Nakamura S, Tsujikawa T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Yokoyama K, Nagahori M, Kanai T, Naganuma M, Michimae H, Andoh A, Yamada A, Yokoyama T, Kamata N, Tanaka S, Suzuki Y, Hibi T, Watanabe M; CERISIER Trial group.	Effect of elemental diet combined with infliximab dose escalation in patients with Crohn's disease with loss of response to infliximab: CERISIER trial.	Intest Res.	Jul;16(3):	494-498.	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Mori K, Naganuma M, Mizuno S, Suzuki H, Kitazume MT, Shimamura K, Chiba S, Sugita A, Matsuoka K, Hisamatsu T, Kanai T.	b-(1,3)-Glucan derived from <i>Candida albicans</i> induces inflammatory cytokines from macrophages and lamina propria mononuclear cells derived from patients with Crohn's disease.	Intest Res.	Jul;16(3):	384-392.	2018
Ozaki R, Kobayashi T, Okabayashi S, Nakano M, Morinaga S, Hara A, Ohbuchi M, Matsuoka K, Toyonaga T, Saito E, Hisamatsu T, Hibi T.	Histological Risk Factors to Predict Clinical Relapse in Ulcerative Colitis with Endoscopically Normal Mucosa.	J Crohns Colitis.	Nov 15;12(11):	1288-1294.	2018
Kakuta Y, Kawai Y, Okamoto D, Takagawa T, Ikeya K, Sakuraba H, Nishida A, Nakagawa S, Miura M, Toyonaga T, Onodera K, Shinozaki M, Ishiguro Y, Mizuno S, Takahara M, Yanai S, Hokari R, Nakagawa T, Araki H, Motoya S, Naito T, Moroi R, Shiga H, Endo K, Kobayashi T, Naganuma M, Hirao S, Matsumoto T, Nakamura S, Nakase H, Hisamatsu T, Sasaki M, Hanai H, Andoh A, Nagasaki M, Kinouchi Y, Shimosegawa T, Masamune A, Suzuki Y; MENDEL study group.	NUDT15 codon 139 is the best pharmacogenetic marker for predicting thiopurine-induced severe adverse events in Japanese patients with inflammatory bowel disease: a multicenter study.	J Gastroenterol.	Sep;53(9):	1065-1078.	2018
Saito D, Hayashida M, Sato T, Minowa S, Ikezaki O, Mitsui T, Miura M, Sakuraba A, Hisamatsu T.	Evaluation of the drug-induced lymphocyte stimulation test for diagnosing mesalazine allergy.	Intest Res.	Apr;16(2):	273-281.	2018
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, Ogata H, Andoh A, Araki T, Hokari R, Iijima H, Ikeuchi H, Ishiguro Y, Kato S, Kunisaki R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, Nakase H, Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T.	Predicting outcomes to optimize disease management in inflammatory bowel disease in Japan: their differences and similarities to Western countries.	Intest Res.	Apr;16(2):	168-177.	2018
Park DI, Hisamatsu T, Chen M, Ng SC, Ooi CJ, Wei SC, Banerjee R, Hilmli IN, Jeon YT, Han DS, Kim HJ, Ran Z, Wu K, Qian J, Hu PJ, Matsuoka K, Andoh A, Suzuki Y, Sugano K, Watanabe M, Hibi T, Puri AS, Yang SK.	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology consensus on tuberculosis infection in patients with inflammatory bowel disease receiving anti-tumor necrosis factor treatment. Part 2: management.	Intest Res.	Jan;16(1):	17-25.	2018
Park DI, Hisamatsu T, Chen M, Ng SC, Ooi CJ, Wei SC, Banerjee R, Hilmli IN, Jeon YT, Han DS, Kim HJ, Ran Z, Wu K, Qian J, Hu PJ, Matsuoka K, Andoh A, Suzuki Y, Sugano K, Watanabe M, Hibi T, Puri AS, Yang SK.	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology consensus on tuberculosis infection in patients with inflammatory bowel disease receiving anti-tumor necrosis factor treatment. Part 1: risk assessment.	Intest Res.	Jan;16(1):	4-16.	2018
Umeno J, Esaki M, Hirano A, Fuyuno Y, Ohmiya N, Yasukawa S, Hirai F, Kochi S, Kurahara K, Yanai S, Uchida K, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Nagayama M, Yamamoto H, Abukawa D, Kakuta F, Onodera K, Matsui T, Hibi T, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T; CEAS study group.	Clinical features of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene: a new entity clinically distinct from Crohn's disease.	J Gastroenterol.	Aug;53(8):	907-915.	2018
久松理一, 斎藤大祐, 林田真理	小腸疾患 (non-CD) を見直す - 腫瘍・血管性病変・炎症・希少疾患まで -	日本消化器病学会雑誌	115(7):	575-586.	2018
Park DI, Hisamatsu T, Chen M, Ng SC, Ooi CJ, Wei SC, Banerjee R, Hilmli IN, Jeon YT, Han DS, Kim HJ, Ran Z, Wu K, Qian J, Hu PJ, Matsuoka K, Andoh A, Suzuki Y, Sugano K, Watanabe M, Hibi T, Puri AS, Yang SK.	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology consensus on tuberculosis infection in patients with inflammatory bowel disease receiving anti-tumor necrosis factor treatment. Part 2: management.	J Gastroenterol Hepatol.	Jan;33(1)	30-36	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Park DI, Hisamatsu T, Chen M, Ng S C, Ooi CJ, Wei SC, Banerjee R, Hilm i IN, Jeon YT, Han DS, Kim HJ, Ran Z, Wu K, Qian J, Hu PJ, Matsuoka K, Andoh A, Suzuki Y, Sugano K, Watanabe M, Hibi T, Puri AS, Yang SK.	Asian Organization for Crohn's and Colitis and Asia Pacific Association of Gastroenterology consensus on tuberculosis infection in patients with inflammatory bowel disease receiving anti-tumor necrosis factor treatment. Park 1: risk assessment.	J Gastroenterol Hepatol.	Jan;33(1)	20-29	2018
Hisamatsu T, Ohno A, Chiba T.	Linked Color Imaging identified UC Associated Colorectal Cancer. A case report.	Dig Endosc.	Mar;30(2):	267.	2018
Naganuma M, Sugimoto S, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Suda W, Hattori M, Fukuda S, Hirayama A, Abe T, Watanabe M, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T; INDIGO Study Group.	Efficacy of Indigo naturalis in a Multicenter Randomized Controlled Trial of Patients with Ulcerative Colitis.	Gastroenterology.	Mar;154(4):	935-947.	2018
Watanabe K, Matsumoto T, Hisamatsu T, Nakase H, Motoya S, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Clinical and pharmacokinetic factors associated with adalimumab-induced mucosal healing in patients with Crohn's disease.	Clin Gastroenterol Hepatol.	Apr;16(4):	542-549.	2018
Nakase H, Motoya S, Matsumoto T, Watanabe K, Hisamatsu T, Yoshimura N, Ishida T, Kato S, Nakagawa T, Esaki M, Nagahori M, Matsui T, Naito Y, Kanai T, Suzuki Y, Nojima M, Watanabe M, Hibi T; DIAMOND study group.	Significance of measurement of serum trough level and anti-drug antibody of adalimumab as personalised pharmacokinetics in patients with Crohn's disease: a subanalysis of the DIAMOND trial.	Aliment Pharmacol Ther.	Nov;46(9):	873-882	2017
Hosoe N, Ohmiya N, Hirai F, Umeno J, Esaki M, Yamagami H, Onodera K, Bamba S, Imaeda H, Yanai S, Hisamatsu T, Ogata H, Matsumoto T; CEAS at Ias group.	Chronic enteropathy associated with SLC22A1 gene (CEAS) - Characterization of an enteric disorder to be considered in the differential diagnosis of Crohn's disease.	J Crohns Colitis.	Oct 1;11(10):	1277-1281	2017
Hisamatsu T, Hayashida M.	Treatment and outcomes: Medical and surgical treatment for intestinal Behçet's disease, Review.	Intest Res	15(3)	318-327	2017
久松理一	主題 炎症性腸疾患の最前線 3. Crohn病内科的治療の最前線	日本大腸肛門病会誌	70巻10号	p601-610.	2017
Hirai F, Takeda T, Takada Y, Kishi M, Beppu T, Takatsu N, Miyaoka M, Hisabe T, Yao K, Ueki T.	Efficacy of enteral nutrition in patients with Crohn's disease on maintenance anti-TNF-alpha antibody therapy: a meta-analysis.	J Gastroenterol	55(2)	133-141	2020
Matsuno Y, Umeno J, Esaki M, Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Hirano A, Yasukawa S, Hirai F, Matsui T, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Yanai S, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Torisu T, Kitazono T, Matsumoto T.	Measurement of prostaglandin metabolites is useful in diagnosis of small bowel ulcerations.	World J Gastroenterol	25(14)	1753-1763	2019
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, Matsuura M, Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata N, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T, DIAMOND2 Study Group	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2)	J Gastroenterol	54(10)	860-870	2019
Yoshimura N, Yokoyama Y, Sako M, Aoyama N, Hirai F, Sawada K, Kashiwagi N, Suzuki Y.	Development of a C1q-immobilized(Cim) assay to measure total antibodies to infliximab and its clinical relevance in patients with inflammatory bowel disease.	Cytokine	120	54-61	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hirai F, Ishida T, Takeshima F, Yamamoto S, Yoshikawa I, Ashizuka S, Inatsu H, Mitsuyama K, Sou S, Iwakiri R, Nozaki R, Ohi H, Esaki M, Iida M, Matsui T; Additional Power of Elemental Diet on Maintenance Biologics Therapy in Crohn's Disease (ADORE) Study Group.	Effect of a concomitant elemental diet with maintenance anti-tumor necrosis factor- antibody therapy in patients with Crohn's disease: A multicenter, prospective cohort study.	J Gastroenterol Hepatol	34 (1)	132-139	2019
Esaki M, Matsumoto T, Ohmiya N, Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Abe H, Yamamoto S, Kinjo T, Togashi K, Watanabe K, Hirai F, Nakamura M, Nouda S, Ashizuka S, Omori T, Kochi S, Yanai S, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Kitazono T, Kinjo F, Watanabe M, Matsui T, Suzuki Y.	Capsule endoscopy findings for the diagnosis of Crohn's disease: a nationwide case-control study	J Gastroenterol	54 (3)	249-260	2019
平井郁仁	潰瘍性大腸炎の診断基準 Japanese Diagnostic Criteria of Ulcerative Colitis	臨床消化器内科	34(7)	774-778	2019
平井郁仁	下痢をきたす疾患の診療 炎症性腸疾患	臨床と研究	96(11)	6-13	2019
平井郁仁	炎症性腸疾患の内科治療	消化器外科	42(12)	1645-1652	2019
Hisamatsu T, Kunisaki R, Nakamura S, Tsujikawa T, Hirai F, Nakase H, Watanabe K, Yokoyama K, Nagahori M, Kanai T, Naganuma M, Michimae H, Andoh A, Yamada A, Yokoyama T, Kamata N, Tanaka S, Suzuki Y, Hibi T, Watanabe M; CERISIER Trial group.	Effect of elemental diet combined with infliximab dose escalation in patients with Crohn's disease with loss of response to infliximab: CERISIER trial.	Intest Res	16 (3)	494-498	2018
Yasukawa S, Matsui T, Yano Y, Sato Y, Takada Y, Kishi M, Ono Y, Takatsu N, Nagahama T, Hisabe T, Hirai F, Yao K, Ueki T, Higashi D, Futami K, Sou S, Sakurai T, Yao T, Tanabe H, Iwashita A, Washio M.	Crohn's disease-specific mortality: a 30-year cohort study at a tertiary referral center in Japan.	J Gastroenterol	54 (1)	42-52	2018
Koga A, Matsui T, Takatsu N, Takada Y, Kishi M, Yano Y, Beppu T, Ono Y, Ninomiya K, Hirai F, Nagahama T, Hisabe T, Takaki Y, Yao K, Imaeda H, Andoh A.	Trough level of infliximab is useful for assessing mucosal healing in Crohn's disease: a prospective cohort study.	Intest Res	16 (2)	223-232	2018
Ninomiya K, Hisabe T, Okado Y, Takada Y, Yamaoka R, Sato Y, Kishi M, Takatsu N, Matsui T, Ueki T, Yao K, Hirai F.	Comparison of Small Bowel Lesions Using Capsule Endoscopy in Ulcerative Colitis and Crohn's Disease: A Single-Center Retrospective Analysis.	Digestion	98 (2)	119-126	2018
Matsuoka K, Kobayashi T, Ueno F, Matsui T, Hirai F, Inoue N, Kato J, Kobayashi K, Kobayashi K, Koganei K, Kunisaki R, Motoya S, Nagahori M, Nakase H, Omata F, Saruta M, Watanabe T, Tanaka T, Kanai T, Noguchi Y, Takahashi KI, Watanabe K, Hibi T, Suzuki Y, Watanabe M, Sugano K, Shimosegawa T.	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol	53 (3)	305-353	2018
Umeno J, Esaki M, Hirano A, Fuyuno Y, Ohmiya N, Yasukawa S, Hirai F, Kochi S, Kurahara K, Yanai S, Uchida K, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Nagayama M, Yamamoto H, Abukawa D, Kakuta F, Onodera K, Matsui T, Hibi T, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T; CEAS study group.	Clinical features of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene: a new entity clinically distinct from Crohn's disease.	J Gastroenterol	53 (8)	907-915	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hirai F, Andoh A, Ueno F, Watanabe K, Ohmiya N, Nakase H, Kato S, Esaki M, Endo Y, Yamamoto H, Matsui T, Iida M, Hibi T, Watanabe M, Suzuki Y, Matsumoto T.	Efficacy of Endoscopic Balloon Dilation for Small Bowel Strictures in Patients With Crohn's Disease: A Nationwide, Multi-centre, Open-label, Prospective Cohort Study.	J Crohns Colitis	12 (4)	394-401	2018
Naganuma M, Aoyama N, Tada T, Kobayashi K, Hirai F, Watanabe K, Watanabe M, Hibi T.	Correction to: Complete mucosal healing of distal lesions induced by twice-daily budesonide 2-mg foam promoted clinical remission of mild-to-moderate ulcerative colitis with distal active inflammation: double-blind, randomized study.	J Gastroenterol	53 (4)	579-581	2018
Naganuma M, Aoyama N, Tada T, Kobayashi K, Hirai F, Watanabe K, Watanabe M, Hibi T.	Complete mucosal healing of distal lesions induced by twice-daily budesonide 2-mg foam promoted clinical remission of mild-to-moderate ulcerative colitis with distal active inflammation: double-blind, randomized study.	J Gastroenterol	53 (4)	494-506	2018
Inoue N, Kobayashi K, Naganuma M, Hirai F, Ozawa M, Arikian D, Huang B, Robinson AM, Thakkar RB, Hibi T.	Long-term safety and efficacy of adalimumab for intestinal Behçet's disease in the open label study following a phase 3 clinical trial.	Intest Res	15 (3)	395-401	2018
Hirai F	Current status of endoscopic balloon dilation for Crohn's disease	Intest Res	15 (2)	166-173	2018
平井郁仁	炎症性腸疾患における内視鏡治療の Up to date	Ulcer Research	44	19-24	2017
岸 昌廣、佐藤祐邦、高橋晴彦、武田輝之、高田康道、矢野 豊、平井郁仁	粘膜治療の定義の実際と問題点	IBD Research	11 (3)	143-153	2017
安川重義、平井郁仁、高田康道、金城健、岸 昌廣、別府剛志、二宮夫夫、矢野 豊、久部高司、八尾建史、植木敏晴、松井敏幸、田邊 寛、岩下明德	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASにおける十二指腸病変	胃と腸	52 (11)	1478-1483	2017
Hitoshi Hirashima, Yuna Komori, Yosuke Kohinata, Michio Komai, Kouhei Fukushima	In vitro investigation of antibacterial activity against fecal bacteria infecting wounds	Wound Medicine	26		2019
畑啓介、安西紘幸、池内浩基、二見喜太郎、福島浩平、杉田昭、内野基、東大二郎、板橋道郎、渡辺和宏、小金井一隆、荒木俊光、木村英明、水島恒和、植田剛、石原総一郎、鈴木康夫	潰瘍性大腸炎合併大腸癌に対するサーベイランス大腸内視鏡により全生率が改善する～外科切除症例のリアルワールドデータ	消化器病学サイエンス	Vol.3	483-489	2019
Motoi Uchino, Hiroki Ikeuchi, Akira Sugita, Kitaro Futami, Toshiaki Watanabe, Kouhei Fukushima, Kenji Tatsumi, Kazutaka Koganei, Hideaki Kimura, Keisuke Hata, Kenichi Takahashi, Kazuhiro watanabe, Tsunekazu Mizushima, Yuji Funayama, Daijiro Higashi, Toshimitsu Araki, Masato Kusunoki, Takeshi Ueda, Fumikazu Koyama, Michio Itabashi, Riichiro Nezu, Yasuo Suzuki	Pouch functional Outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study	J Gastroenterol	53	642-651	2018
Hiroki Ikeuchi, Motoi Uchino, Akira Sugita, Kitaro Futami, Kouhei Fukushima, Keisuke Hata, Kazutaka Koganei, Masato Kusunoki, Keiichi Uchida, Riichiro Nezu, Hideaki Kimura, Kenichi Takahashi, Michio Itabashi, Hitoshi Kameyama, Daijiro Higashi, Fumikazu Koyama, Takeshi Ueda, Tsunekazu Mizushima, Yasuo Suzuki	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch-anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients: Multicenter national study in Japan	AGSurg	2018;2	428-433	2018
渡辺和宏、倉知清隆、水島恒和、亀山仁史、佐々木巖、杉田昭、根津理一郎、舟山裕士、福島浩平、内藤剛、海野倫明、二見喜太郎	クローン病における直腸肛門管癌の癌スクリーニングの現状と問題点：国内専門施設へのアンケート調査	日本大腸肛門病学会	第71巻7号	別冊	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kouhei Fukushima, Sugita Akira, Kitaro Futami, Kenchi Takahashi, Satoshi Motoya, Hideaki Kimura, Shusaku Yoshikawa, Yoshitaka Kinouchi, Hideki Iiji, a, Katsuya Endo, Toshihumi Hibi, Mamoru Watanabe, Iwao Sasaki, Yasuo Suzuki	Postoperative Therapy with Infliximab for Crohn's disease: A2-year Prospective Randomized Multicenter Study in Japan	surg Today	48 (6)	584-590	2018
Katsuyoshi Kudou, Chikashi Shibata, Yuzi Funayama, Kouhei Fukushima, Kenichi Takahashi, Munenori Nagano, Sho Haneda, Kazuhiro Watanabe, Takeshi Naitoh and Michiaki Unno	Oral rehydration solution normalizes plasma renin and aldosterone levels in patients with ulcerative colitis After proctocolectomy	J Anus Rectum Colon	3	78-83	2017
Motoi Uchino, Hiroki Ikeuchi, Akira Sugita, Kitaro Futami, Toshiaki Watanabe, Kouhei Fukushima, Kenji Tatsumi, Kazutaka Koganei, Hideaki Kimura, Keisuke Hata, Kenichi Takahashi, Kazuhiro Watanabe, Tsunekazu Mizushima, Yuji Funayama, Daijiro Higashi, Toshimitsu Araki, Masato Kusunoki, Takeshi Ueda, Fumikazu Koyama, Michio Itabashi, Riichiro Nezu Yasuo Suzuki	Pouch functional Outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study	J Gastroenterol	published online 07	7	2017
Tsunekazu Mizushima, Hitoshi Kameyama, Kazuhiro Watanabe, Kiyotaka Kurachi, Kouhei Fukushima Riichiro Nezu, Motoi, Uchino Akira, Sugita Kitaro, Futami	Risk factors of small bowel obstruction following total proctocolectomy and ileal pouch anal anastomosis with diverting loop-ileostomy for ulcerative colitis	Gastroenterol Surg	1	122-128	2017
Shinagawa T, Hata K, Ikeuchi H, Fukushima K, Futami K, Sugita A, Uchino M, Watanabe K, Higashi D, Kimura H, Araki T, Mizushima T, Itabashi M, Ueda T, Koganei K, Oba K, Ishihara S, Suzuki Y.	Rate of Reoperation Decreased Significantly After Year 2002 in Patients With Crohn's Disease.	Clin Gastroenterol Hepatol		Online ahead of print	2019
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Okada S, Ishihara S, Morimoto K, Sahara R, Watanabe K, Fukushima K, Takahashi K, Kimura H, Hirata K, Mizushima T, Araki T, Kusunoki M, Nezu R, Nakao S, Itabashi M, Hirata A, Ozawa H, Ishida T, Okabayashi K, Yamamoto T, Noake T, Arakaki J, Watadani Y, Ohge H, Futatsuki R, Koganei K, Sugita A, Higashi D, Futami K.	Changes in the Rate of and Trends in Colectomy for Ulcerative Colitis During the Era of Biologics and Calcineurin Inhibitors Based on a Japanese Nationwide Cohort Study.	Surg Today	49(12)	1066-1073	2019
Yasukawa S, Matsui T, Yano Y, Sato Y, Takada Y, Kishi M, Ono Y, Takatsu N, Nagahama T, Hisabe T, Hirai F, Yao K, Ueki T, Higashi D, Futami K, Sou S, Sakurai T, Yao T, Tanabe H, Iwashita A, Washio M	Crohn's disease-specific mortality: a 30-year cohort study at a tertiary referral center in Japan.	J Gastroenterol	54(1)	45-52	2019
二見喜太郎, 東大二郎	【新 手術記録の書き方】 . 結腸・直腸・肛門の手術 Crohn病の手術	消化器外科	42(5)	671-677	2019
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 林貴臣, 増井友恵, 竹下一生.	【炎症性腸疾患診療の update-診断・治療の最新知見】 炎症性腸疾患の外科治療 クロウン病肛門病変の治療	臨床消化器内科	34(7)	904-909	2019
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 平野公一, 小島大望, 柴田亮輔, 宮坂義浩, 上床崇吾, 竹下一生, 甲斐田大貴, 棟近太郎, 渡部雅人.	【これ一冊でわかる 炎症性腸疾患診療のすべて】 クロウン病の肛門病変に対する治療	消化器外科	42(12)	1679-1689	2019
Hirano Y, Futami K, Higashi D, Mikami K and Maekawa T.	Anorectal cancer surveillance in Crohn's disease	J Anus Rectum Colon	2(4)	145-154	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino M, Ikeuchi H, Sugita A, Futami K, Watanabe T, Fukushima K, Tatsumi K, Koganei K, Kimura H, Hata K, Takahashi K, Watanabe K, Mizushima T, Funayama Y, Higashi D, Araki T, Kusunoki M, Ueda T, Koyama F, Itabashi M, Nezu R, Suzuki Y; a research grant on intractable disease affiliated with the Japan Ministry of Health Labor Welfare.	Pouch functional outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study.	J Gastroenterol	53(5)	642-651	2018
Fukushima K, Sugita A, Futami K, Takahashi KI, Motoya S, Kimura H, Yoshikawa S, Kinouchi Y, Iijima H, Endo K, Hibi T, Watanabe M, Sasaki I, Suzuki Y; Surgical Research Group, the Research Committee of Inflammatory Bowel Disease, the Ministry of Health, Welfare and Labor of Japan.	Postoperative therapy with infliximab for Crohn's disease: a 2-year prospective randomized multicenter study in Japan.	Surg Today	48(6)	584-590	2018
Ikeuchi H, Uchino M, Sugita A, Futami K, Fukushima K, Hata K, Koganei K, Kusunoki M, Uchida K, Nezu R, Kimura H, Takahashi K, Itabashi M, Kameyama H, Higashi D, Koyama F, Ueda T, Mizushima T, Suzuki Y.	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch-anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients: Multicenter national study in Japan.	Ann Gastroenterol Surg	2(6)	428-433	2018
渡辺和宏, 倉地清隆, 水島恒和, 亀山仁史, 佐々木巖, 杉田昭, 根津理一郎, 舟山裕士, 福島浩平, 内藤剛, 海野倫明, 二見喜太郎	クローン病における直腸肛門管癌の癌スクリーニングの現状と問題点 国内専門施設へのアンケート調査	日本大腸肛門病学会雑誌	71(7)	283-290	2018
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 林貴臣	【炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】 炎症性腸疾患の外科的治療 クローン病肛門病変の治療	日本臨床	76(3)	452-457	2018
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 林貴臣	【炎症性腸疾患(第2版)-病因解明と診断・治療の最新知見-】 炎症性腸疾患のがん化 炎症性腸疾患におけるがんサーベイランス クローン病における発がんとサーベイランス法	日本臨床	76(3)	531-536	2018
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 松井敏幸, 平井郁仁, 小野陽一郎	【State of the art クローン病合併癌の診断と治療】 肛門部癌	大腸がん perspective	4(1)	46-52	2018
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 上床崇吾, 林貴臣, 増井友恵	【これ一冊で迷わない! アップ、ヘモ治療のすべて】 Crohn病に伴う痔瘻の治療	消化器外科	41(8)	1189-1199	2018
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 上床崇吾, 林貴臣, 増井友恵	【炎症性腸疾患アップデート-いま外科医に求められる知識と技術】 クローン病の手術手技 腸管の瘻孔・膿瘍を伴うクローン病に対する手術	臨床外科	73(12)	1378-1383	2018
Mizushima T, Kameyama H, Watanabe K, Kurachi K, Fukushima K, Nezu R, Uchino M, Sugita A, Futami K.	Risk factors of small bowel obstruction following total proctocolectomy and ileal pouch anal anastomosis with diverting loop-ileostomy for ulcerative colitis.	Annals of Gastroenterological Surgery	1(2)	122-128	2017
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 三上公治, 愛洲尚哉, 前川隆文	特集 主題Ⅰ: 炎症性腸疾患診察の最前線 Crohn病における肛門病変に対する外科的治療の最前線	日本大腸肛門病学会雑誌	70(10)	623-632	2017
二見喜太郎, 東大二郎, 平野由紀子, 上床崇吾, 林貴臣, 増井友恵	【潰瘍性大腸炎・クローン病手術のすべて】 クローン病 クローン病に合併した癌に対する手術	手術	71(7)	1029-1038	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Higashiyama M, Sugita A, Koganei K, Wanatabe K, Yokoyama Y, Uchino M, Nagahori M, Naganuma M, Bamba S, Kato S, Takeuchi K, Omori T, Takagi T, Matsumoto S, Nagasaka M, Sagami S, Kitamura K, Katsurada T, Sugimoto K, Takatsu N, Saruta M, Sakurai T, Watanabe K, Nakamura S, Suzuki Y, <u>Hokari R.</u>	Management of elderly ulcerative colitis in Japan.	J Gastroenterol.	54(7):	571-586.	2019
Komoto S, Matsuoka K, Kobayashi T, Yokoyama Y, Suzuki Y, Hibi T, Miura S, <u>Hokari R.</u>	Safety and efficacy of leukocytapheresis in elderly patients with ulcerative colitis: The impact in steroid-free elderly patients	J Gastroenterol Hepatol	33(8)	33(8)	2018
Komoto S, Higashiyama M, Watanabe C, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Takebayashi T, Asakura K, Nishiwaki Y, Miura S, <u>Hokari R.</u>	Clinical differences between elderly-onset ulcerative colitis and non-elderly-onset ulcerative colitis: A nationwide survey data in Japan	J Gastroenterol Hepatol	33(11)	1839-43	2018
Shirakabe K, Higashiyama M, <u>Hokari R.</u>	Modification of lymphocyte migration to Peyer's patches by inhibition of sphingosine-1-phosphate lyase ameliorates murine colitis.	J Gastroenterol Hepatol	Epub ahead of print		2018
Mizoguchi A, Higashiyama M, Miura S, <u>Hokari R.</u>	Evaluation by MR Enterocolonography of Lansoprazole-induced Collagenous Colitis Accompanied with Protein-losing Enteropathy.	Intern Med.	57(1)	37-41.	2018
Nishii S, Higashiyama M., Miura S, <u>Hokari R.</u>	Human intestinal spirochetosis mimicking ulcerative colitis.	Clin J Gastroenterol.	11(2)	145-149.	2017
<u>Okada Y., Miura S, Hokari R.</u>	Novel probiotics isolated from a Japanese traditional fermented food, Funazushi, attenuates DSS-induced colitis by increasing the induction of high integrin α 8-expressing dendritic cells.	J Gastroenterol Hepatol	53(3)	:407-418	2017
Yasutake Y, Miura S, <u>Hokari R.</u>	Uric acid ameliorates indomethacin-induced enteropathy in mice through its antioxidant activity.	J Gastroenterol Hepatol	32(11)	1839-1845	2017
Akiyama S, <u>Matsuoka K</u> , Fukuda K, Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, Ogata H, <u>Hisamatsu T</u> , Naganuma M, Motobayashi M, Suzuki K, Takenaka K, Fujii T, Saito E, <u>Nagahori M</u> , Ohtsuka K, Mochizuki M, Watanabe M, Hashiguchi M, <u>Kanai T</u>	Long-term effect of NUDT15 R139C on hematologic indices in inflammatory bowel disease patients treated with thiopurine.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	34	1751-1757	2019
Motobayashi M, <u>Matsuoka K</u> , Takenaka K, Fujii T, Nagahori M, Ohtsuka K, Iwamoto F, Tsuchiya K, Negi M, Eishi Y, Watanabe M	Predictors of mucosal healing during induction therapy in patients with acute moderate-to-severe ulcerative colitis.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	34	1004-1010	2019
<u>Matsuoka K</u> , Hamada S, Shimizu M, Nanki K, Mizuno S, Kiyohara H, Arai M, Sugimoto S, Iwao Y, <u>Ogata H</u> , <u>Hisamatsu T</u> , Naganuma M, <u>Kanai T</u> , Mochizuki M, Hashiguchi M.	Factors predicting the therapeutic response to infliximab during maintenance therapy in Japanese patients with Crohn's disease.	PLoS One	13	E0204632	2018
Miyoshi J, <u>Matsuoka K</u> , Yoshida A, Naganuma M, <u>Hisamatsu T</u> , Yajima T, Inoue N, Okamoto S, Iwao Y, Ogata H, Ueno F, Hibi T, <u>Kanai T</u>	5-Aminosalicylic acid aggravates colitis mimicking exacerbation of ulcerative colitis.	Intestinal Research	16	635-640	2018
Iwamoto F, <u>Matsuoka K</u> , Motobayashi M, Takenaka K, Kuno T, Tanaka K, Tsukui Y, Kobayashi S, Yoshida T, Fujii T, Saito E, Yamaguchi T, Nagahori M, Sato T, Ohtsuka K, Enomoto N, Watanabe M	Prediction of disease activity of Crohn's disease through fecal calprotectin evaluated by balloon-assisted endoscopy.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	33	1984-1989	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Matsuoka K, Kobayashi T, Ueno F, Matsui T, Hirai F, Inoue N, Kato J, Kobayashi K, Kobayashi K, Koganei K, Kunisaki R, Motoya S, Nagahori M, Nakase H, Omata F, Saruta M, Watanabe T, Tanaka T, Kanai T, Noguchi Y, Takahashi KI, Watanabe K, Hibi T, Suzuki Y, Watanabe M, Sugano K, Shimosegawa T	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease.	Journal of Gastroenterology	53	305-353	2018
Akiyama S, Fujii T, Matsuoka K, Yusuke E, Negi M, Takenaka K, Nagahori M, Ohtsuka K, Isobe M, Watanabe M	Endoscopic features and genetic background of inflammatory bowel disease complicated with Takayasu arteritis.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	32	101101017	2017
Harada A, Kurahara K, Moriyama T, Tanaka T, Nagata Y, Kawasaki K, Yaita H, Maehata Y, Umeno J, Oshiro Y, Fuchigami T, Kitazono T, Esaki M, Matsumoto T.	Risk factors for reflux esophagitis after eradication of Helicobacter pylori.	Scand J Gastroenterol.	54(10)	1183-1188	2019
Matsuno Y, Umeno J, Esaki M, Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Hirano A, Yasukawa S, Hirai F, Matsui T, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Yanai S, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Torisu T, Kitazono T, Matsumoto T.	Measurement of prostaglandin metabolites is useful in diagnosis of small bowel ulcerations.	World J Gastroenterol.	25(14)	1753-1763	2019
Kakuta Y, Kawai Y, Naito T, Hirano A, Umeno J, Fuyuno Y, Liu Z, Li D, Nakano T, Izumiyama Y, Ichikawa R, Okamoto D, Nagai H, Matsumoto S, Yamamoto K, Yokoyama N, Chiba H, Shimoyama Y, Onodera M, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Endo K, Negoro K, Yasuda J, Esaki M, Tokunaga K, Nakamura M, Matsumoto T, McGovern DPB, Nagasaki M, Kinouchi Y, Shimosegawa T, Masamune A.	A Genome-wide Association Study Identifying RAP1A as a Novel Susceptibility Gene for Crohn's Disease in Japanese Individuals.	J Crohns Colitis.	13(5)	648-658	2019
Yanai S, Yamaguchi S, Nakamura S, Kawasaki K, Toya Y, Yamada N, Eizuka M, Uesugi N, Umeno J, Esaki M, Okimoto E, Ishihara S, Sugai T, Matsumoto T.	Distinction between Chronic Enteropathy Associated with the SLC22A1 Gene and Crohn's Disease.	Gut Liver.	13(1)	62-66	2019
Nagata Y, Esaki M, Moriyama T, Hirano A, Umeno J, Maehata Y, Torisu T, Matsumoto T, Kitazono T.	Anti-tumor necrosis factor therapy decreases the risk of initial intestinal surgery after diagnosis of Crohn's disease of inflammatory type.	J Gastroenterol.	54(4)	330-338	2019
Esaki M, Matsumoto T, Ohmiya N, Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Abe H, Yamamoto S, Kinjo T, Togashi K, Watanabe K, Hirai F, Nakamura M, Nouda S, Ashizuka S, Omori T, Kochi S, Yanai S, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Kitazono T, Kinjo F, Watanabe M, Matsui T, Suzuki Y.	Capsule endoscopy findings for the diagnosis of Crohn's disease: a nationwide case-control study.	J Gastroenterol.	54(3)	249-260	2019
貫陽一郎, 北崎真未, 平野敦士, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 川床慎一郎, 保利喜史, 藤原美奈子, 松本主之, 江崎幹宏	IgG4 関連疾患に伴った胃潰瘍の1例	胃と腸	54(13)	1739-1745	2019
蔵原晃一, 河内修司, 川崎啓祐, 吉田雄一朗, 長末智寛, 鷺尾恵万, 梅野淳嗣, 鳥巢剛弘, 江崎幹宏, 大城由美, 中村昌太郎, 八尾隆史, 小林広幸, 松本主之, 岩下明德, 瀨上忠彦	小腸X線造影	胃と腸	54(9)	1254-1269	2019
梁井俊一, 梅野淳嗣, 松本主之	指定難病最前線 非特異性多発性小腸潰瘍症	新薬と臨牀	68(2)	241-245	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamaguchi S, Yanai S, Nakamura S, Kawasaki K, Eizuka M, Uesugi N, Sugai T, Umeno J, Esaki M, Matsumoto T.	Immunohistochemical differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene and other inflammatory bowel diseases.	Intest Res.	16(3)	393-399	2018
Umeno J, Matsumoto T, Hirano A, Fuyuno Y, Esaki M.	Genetic analysis is helpful for the diagnosis of small bowel ulceration.	World J Gastroenterol.	24(28)	3198-3200	2018
Hirano A, Umeno J, Okamoto Y, Shibata H, Ogura Y, Moriyama T, Torisu T, Fujioka S, Fuyuno Y, Kawarabayasi Y, Matsumoto T, Kitazono T, Esaki M.	Comparison of the microbial community structure between inflamed and non-inflamed sites in patients with ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol.	[Epub ahead of print]		2018
Umeno J, Esaki M, Hirano A, Fuyuno Y, Ohmiya N, Yasukawa S, Hirai F, Kochi S, Kurahara K, Yanai S, Uchida K, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Nagayama M, Yamamoto H, Abukawa D, Kakuta F, Onodera K, Matsui T, Hibi T, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T; CEAS study group.	Clinical features of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene: a new entity clinically distinct from Crohn's disease.	J Gastroenterol.	53(8)	907-915	2018
梁井 俊一, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 松本 主之	非特異性多発性小腸潰瘍症(chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene:CEAS)	IBD Research	12(2)	93-97	2018
冬野 雄太, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 江崎 幹宏, 松本 主之	疾患感受性遺伝子とはなにか 疾患原因遺伝子との違い	消化器病学サイエンス	2(2)	60-63	2018
江崎 幹宏, 鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 岡本 康治, 冬野 雄太, 前畠 裕司, 河野 真一, 膳所 圭三, 原田 英, 保利 喜史, 藤原 美奈子, 松本 主之	出血を主徴とする小腸非腫瘍性病変の診断と治療 その他の非腫瘍性疾患	胃と腸	53(6)	838-846	2018
Hosoe N, Ohmiya N, Hirai F, Umeno J, Esaki M, Yamagami H, Onodera K, Bamba S, Imaeda H, Yanai S, Hisamatsu T, Ogata H, Matsumoto T; CEAS Atlas Group.	Chronic Enteropathy Associated With SLC02A1 Gene [CEAS]-Characterisation of an Enteric Disorder to be Considered in the Differential Diagnosis of Crohn's Disease.	J Crohns Colitis.	11(10)	1277-1281	2017
Nuki Y, Umeno J, Washio E, Maehata Y, Hirano A, Miyazaki M, Kobayashi H, Kitazono T, Matsumoto T, Esaki M.	The influence of CYP2C19 polymorphisms on exacerbating effect of rabeprazole in celecoxib-induced small bowel injury.	Aliment Pharmacol Ther.	46(3)	331-336	2017
Yanai S, Nakamura S, Yamaguchi S, Kawasaki K, Ishida K, Sugai T, Umeno J, Esaki M, Matsumoto T.	Gastrointestinal mantle cell lymphoma with isolated mass and multiple lymphomatous polyposis: report of two cases.	Clin J Gastroenterol.	10(4)	327-330	2017
Maehata Y, Nakamura S, Esaki M, Ikeda F, Moriyama T, Hida R, Washio E, Umeno J, Hirahashi M, Kitazono T, Matsumoto T.	Characteristics of Primary and Metachronous Gastric Cancers Discovered after Helicobacter pylori Eradication: A Multicenter Propensity Score-Matched Study.	Gut Liver.	11(5)	628-634	2017
Uchida K, Nakajima A, Ushijima K, Ida S, Seki Y, Kakuta F, Abukawa D, Tsukahara H, Maisawa SI, Inoue M, Araki T, Umeno J, Matsumoto T, Taguchi T.	Pediatric-onset Chronic Nonspecific Multiple Ulcers of Small Intestine: A Nationwide Survey and Genetic Study in Japan.	J Pediatr Gastroenterol Nutr.	64(4)	565-568	2017
梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 平野 敦士, 安川 重義, 平井 郁仁, 松井 敏幸, 八尾 恒良, 松本 主之	Chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene(CEAS、非特異性多発性小腸潰瘍症)の病態と特徴	Intestine	21(6)	518-525	2017
八尾 恒良, 頼岡 誠, 古賀 章浩, 金光 高雄, 森山 幹彦, 石川 智士, 平井 郁仁, 梅野 淳嗣, 松本 主之, 岩下 明徳	肥厚性皮膚骨膜炎を合併し長期にわたって診療中のCEASの1例	胃と腸	52(11)	1467-1476	2017
大宮 直木, 尾崎 隼人, 吉田 大, 前田 晃平, 大森 崇史, 城代 康貴, 小村 成臣, 鎌野 俊彰, 田原 智満, 長坂 光夫, 中川 義仁, 柴田 知行, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 松本 主之	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASの遺伝子異常	胃と腸	52(11)	1441-1444	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 平野 敦士, 冬野 雄太, 小林 広幸, 河内 修司, 蔵原 晃一, 渡邊 隆, 青柳 邦彦, 安川 重義, 平井 郁仁, 松井 敏幸, 八尾 恒良, 北園 孝成, 松本 主之	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASの臨床像と鑑別診断	胃と腸	52(11)	1411-1422	2017
松本 主之, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 久松 理一, 飯田 三雄, 八尾 恒良	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASとプロスタグランジン腸症	胃と腸	52(11)	1406-1410	2017
八尾 恒良, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 松本 主之, 青柳 邦彦, 飯田 三雄, 岡部 治弥, 洲上 忠彦	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASの過去, 現在, そして今後	胃と腸	52(11)	1398-1405	2017
虻川大樹, 青松友槻, 井上幹大, 岩間達, 熊谷秀規, 清水泰岳, 神保圭佑, 南部隆亮, 水落建輝, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛 崇, 福岡智哉, 新井勝大, 清水俊明, 田尻 仁	小児潰瘍性大腸炎治療指針(2019年)	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌	33(2)	110-127	2019
新井勝大, 工藤孝広, 熊谷秀規, 齋藤武, 清水泰岳, 高橋美智子, 立花奈緒, 南部隆亮, 水落建輝, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛 崇, 福岡智哉, 虻川大樹, 清水俊明, 田尻 仁	小児クローン病治療指針(2019年)	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌	33(2)	90-109	2019
熊谷秀規, 秋山卓士, 虻川大樹, 位田忍, 乾あやの, 工藤孝広, 窪田満	成人移行期小児炎症性腸疾患患者の自立支援のための手引き書: 成人診療科へのスムーズな移行のために	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌	32(1)	15-27	2018
虻川大樹	免疫不全関連腸炎の診断と治療	小児科診療 UP-to-DATE	33	44-49	2018
Suzuki T, Sasahara Y, Kikuchi A, Kakuta H, Kashiwabara T, Ishige T, Nakayama Y, Tanaka M, Hoshino A, Kanegane H, Abukawa D, Kure S.	Targeted Sequencing and Immunological Analysis Reveal the Involvement of Primary Immunodeficiency Genes in Pediatric IBD: a Japanese Multicenter Study.	J Clin Immunol	37(1)	67-79	2017
Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Obara H, Kakuma T, Kurei S, Yamashita Y, Mitsuyama K.	Antibodies to Crohn's disease peptide 353 as a diagnostic marker for pediatric Crohn's disease: a prospective multicenter study in Japan.	J Gastroenterol	Epub ahead of print		2020 Jan 24
Kakuta Y, Izumiya Y, Okamoto D, Nakano T, Ichikawa R, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Kudo H, Minegishi N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kinouchi Y, Suzuki Y, Masamune A; MENDEL study group.	Correction to: High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the NUDT15 diplotype.	J Gastroenterol	55(1)	132	2020
Kakuta Y, Izumiya Y, Okamoto D, Nakano T, Ichikawa R, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Kudo H, Minegishi N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kinouchi Y, Suzuki Y, Masamune A; MENDEL study group.	High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the NUDT15 diplotype.	J Gastroenterol	55(1)	67-77	2020
Tajiri H, Arai K, Kagimoto S, Kunisaki R, Hida N, Sato N, Yamada H, Nagano M, Susuta Y, Ozaki K, Kondo K, Hibi T.	Infliximab for pediatric patients with ulcerative colitis: a phase 3, open-label, uncontrolled, multicenter trial in Japan.	BMC Pediatr	13;19(1)	351	2019
Yanagi T, Ushijima K, Koga H, Tomomasa T, Tajiri H, Kunisaki R, Ishige T, Yamada H, Arai K, Yoden A, Aomatsu T, Nagata S, Uchida K, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Tacrolimus for ulcerative colitis in children: a multicenter survey in Japan.	Intest Res	17(4)	476-485	2019
Nambu R, Hagiwara SI, Kakuta F, Hara T, Shimizu H, Abukawa D, Iwama I, Kagimoto S, Arai K.	Current role of colonoscopy in infants and young children: a multicenter study.	BMC Gastroenterol	20;19(1)	149	2019
Takeuchi I, Kaburaki Y, Arai K, Shimizu H, Hirano Y, Nagata S, Shimizu T.	Infliximab for Very Early-Onset Inflammatory Bowel Disease: A Tertiary Center Experience in Japan.	J Gastroenterol Hepatol	Epub ahead of print		2019 Aug 19

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kumagai H, Kudo T, Uchida K, Kunisaki R, Sugita A, Ohtsuka Y, Arai K, Kubota M, Tajiri H, Suzuki Y, Shimizu T.	Adult Gastroenterologists' Views on Transitional Care: Results from a Survey.	Pediatr Int	61(8)	817-822	2019
Tsuchida N, Kirino Y, Soejima Y, Onodera M, Arai K, Tamura E, Ishikawa T, Kawai T, Uchiyama T, Nomura S, Kobayashi D, Taguri M, Mitsuhashi S, Mizuguchi T, Takata A, Miyake N, Nakajima H, Miyatake S, Matsumoto N.	Haploinsufficiency of A20 caused by a novel nonsense variant or entire deletion of TNFAIP3 is clinically distinct from Behçet's disease.	Arthritis Res Ther	4;21(1)	137	2019
Nakazawa Y, Kawai T, Arai K, Tamura E, Uchiyama T, Onodera M.	Fecal Calprotectin Rise in Chronic Granulomatous Disease-Associated Colitis.	J Clin Immunol	37(8)	741-743	2017
Uchida K, Ohtsuka Y, Yoden A, Tajiri H, Kimura H, Isihige T, Yamada H, Arai K, Tomomasa T, Ushijima K, Aomatsu T, Nagata S, Otake K, Matsushita K, Inoue M, Kudo T, Hosoi K, Takeuchi K, Shimizu T.	Immunosuppressive medication is not associated with surgical site infection after surgery for intractable ulcerative colitis in children.	Intractable Rare Dis Res	6(2)	106-113	2017
Shimizu H, Arai K, Tang J, Hosoi K, Funayama R.	5-Aminosalicylate intolerance causing exacerbation in pediatric ulcerative colitis.	Pediatr Int	59(5)	583-587	2017
Hosoi K, Arai K, Matsuoka K, Shimizu H, Kamei K, Nakazawa A, Shimizu T, Tang J, Ito S.	Prolonged Tacrolimus for Pediatric Gastrointestinal Disorder - Double-edged Sword?.	Pediatr Int	59(5)	588-592	2017
Hosoi K, Ohtsuka Y, Fujii T, Kudo T, Matsunaga N, Tomomasa T, Tajiri H, Kunisaki R, Ishige T, Yamada H, Arai K, Yoden A, Ushijima K, Aomatsu T, Nagata S, Uchida K, Takeuchi K, Shimizu T.	Treatment with infliximab for pediatric Crohn's disease: Nationwide survey of Japan.	J Gastroenterol Hepatol	32(1)	114-119	2017
平野友梨, 南部隆亮, 飯塚文瑛, 板橋道朗, 船山理恵, 新井勝大.	炎症性腸疾患児のためのサマーキャンプ参加体験による患児・親の心理的变化についての検討.	小児保健研究	76(1)	65-71	2017
Iijima H, Kobayashi, Nagasaka M, et al.	Management of primary non-responders and partial responders to tumor necrosis factor- inhibitor induction therapy among patients with Crohn's disease.	Inflammatory Intestinal Diseases	In press		2020
Hiyama S, Iijima H, Sakakibara Y, et al.	Endoscopic alterations in Peyer's patches in patients with ulcerative colitis: A prospective, multicenter study.	J Gastroenterol Hepatol.	In press		2020
Kawai S, Iijima H, Shinzaki S, et al.	Usefulness of intestinal real-time virtual sonography in patients with inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol Hepatol	34	1743-50	2019
飯島英樹, 新崎信一郎, 竹原徹郎	抗インテグリン製剤	日本消化器病学会誌	116	208-15	2019
飯島英樹	抗TNF 抗体の作用機序について総括する	IBD Research	13	6-11	2019
飯島英樹	炎症性腸疾患の免疫学的メカニズムと薬剤開発	実験医学	18	3081-5	2018
飯島英樹, 新崎信一郎, 井上隆弘, 他	SIP受容体アゴニスト	INTESTINE	22	267-72	2018
飯島英樹, 新崎信一郎, 竹原徹郎	炎症性腸疾患の病態研究の現状と今後の展望	日本消化器病学会誌	115	244-53	2018
Shinzaki S, Iijima H, Fujii H, et al.	A novel pathogenesis of inflammatory bowel disease from the perspective of glyco-immunology.	J Biochem	161	409-15	2017
Araki M, Shinzaki S, Yamada T, Arimitsu S, Komori M, Iijima H, et al.	Age at onset is associated with the seasonal pattern of onset and exacerbation in inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol	52	1149-57	2017
Kawai S, Iijima H, Shinzaki S, et al.	Indigo Naturalis ameliorates murine dextran sodium sulfate-induced colitis via aryl hydrocarbon receptor activation.	J Gastroenterol	52	904-19	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Shinzaki S, Matsuoka K, <u>Iijima H</u> , et al.	Leucine-rich Alpha-2 Glycoprotein is a Serum Biomarker of Mucosal Healing in Ulcerative Colitis.	J Crohns Colitis	11	84-91	2017
Yoshihara T, Shinzaki S, Kawai S, <u>Iijima H</u> , et al.	Tissue Drug Concentrations of Anti-tumor Necrosis Factor Agents Are Associated with the Long-term Outcome of Patients with Crohn's Disease.	Inflamm Bowel Dis	23	2172-9	2017
<u>飯島英樹</u>	抗TNF 抗体はなぜ効くのか 使用する際のポイント.	消化器病学サイエンス	1	26	2017
<u>Iizuka M</u> , Etou T, Kumagai M, Matsuoka A, Numata Y, Sagara S.	Long-interval cytapheresis as a novel therapeutic strategy leading to dosage reduction and discontinuation of steroids in steroid-dependent ulcerative colitis.	Intern Med	56	2705-2710	2017
Masayuki Saruta, Dong Il Park, Young-Ho Kim, Suk-Kyun Yang, Byung-Ik Jang, Jae Hee Cheon, Jong Pil Im, Takanori Kanai, Tatsuro Katsuno, <u>Yoh Ishiguro</u> , Makoto Nagaoka, Naoki Isogawa, Yinhua Li, Anindita Banerjee, Alaa Ahmad, Mina Hassan-Zahraee, Robert Clare, Kenneth J. Gorelick ¹⁷ , Fabio Cataldi, Mamoru Watanabe, Toshifumi Hibi	Anti-MAdCAM-1 antibody (PF-00547659) for active refractory Crohn's disease in Japanese and Korean patients: the OPERA study	Intestinal Research	18(1)	45-55	2020
Watanabe R, Sakuraba H, Hiraga H, Kishida D, Ota S, Hasui K, Kikuchi H, Akemoto Y, Tanaka N, Maeda T, Murai Y, Yoshida S, Tatsuta T, Sawaya M, Chinda D, Mikami T, <u>Ishiguro Y</u> , Fukuda S.	Diagnostic approach for patients with unidentified fever according to the classical criteria of fever of unknown origin in the field of autoimmune disorders.	Immunol Med	42(4)	176-184	2019
Akemoto Y, Sakuraba H, Tanaka M, Hiraga H, Kikuchi H, Morohashi S, Ota S, Hasui K, Satake M, Watanabe R, Tanaka N, Kawaguchi S, Tatsuta T, Sawaya M, Chinda D, Mikami T, <u>Ishiguro Y</u> , Kijima H, Fukuda S.	Gastric Focal Neutrophil Infiltration and Wide Duodenal Gastric Foveolar Metaplasia Are Histologic Discriminative Markers for Crohn's Disease and Behçet's Disease.	Digestion	12-Dec	1-10	2018
Kakuta Y, Kawai Y, Okamoto D, Takagawa T, Ikeya K, Sakuraba H, Nishida A, Nakagawa S, Miura M, Toyonaga T, Onodera K, Shinozaki M, <u>Ishiguro Y</u> , Mizuno S, Takahara M, Yanai S, Hokari R, Nakagawa T, Araki H, Motoya S, Naito T, Moroi R, Shiga H, Endo K, Kobayashi T, Naganuma M, Hiraoka S, Matsumoto T, Nakamura S, Nakase H, Hisamatsu T, Sasaki M, Hanai H, Andoh A, Nagasaki M, Kinouchi Y, Shimosegawa T, Masamune A, Suzuki Y	MENDEL study group. NUDT15 codon 139 is the best pharmacogenetic marker for predicting thiopurine-induced severe adverse events in Japanese patients with inflammatory bowel disease: a multicenter study.	J Gastroenterol	53(9)	1065-1078	218
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, Ogata H, Andoh A, Araki T, Hokari R, <u>Iijima H</u> , Ikeuchi H, <u>Ishiguro Y</u> , Kato S, Kunisaki R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, Nakase H, Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T	Predicting outcomes to optimize disease management in inflammatory bowel disease in Japan: their differences and similarities to Western countries.	Intest Res.	16(2)	168-177	2018
Kanmura S, Hamamoto H, Tanaka A, Arima S, Sasaki F, Tanoue S, Nasu Y, Hashimoto S, Higashi M, <u>Ido A</u> .	Diagnostic utility of linked color imaging in the evaluation of colonic mucosal inflammation in ulcerative colitis: a pilot study.	Endosc Int Open.	7(8)	E937-E943	2019
Komaki Y, Komaki F, Micic D, <u>Ido A</u> , Sakuraba A.	Risk of Fractures in Inflammatory Bowel Diseases: A Systematic Review and Meta-Analysis.	J Clin Gastroenterol.	53(6)	441-448	2019
Kanmura S, Tanaka A, Komaki Y, <u>Ido A</u> .	A case of screening colonoscopy using linked-color imaging to detect ulcerative colitis-associated colorectal cancer.	Dig Liver Dis.	51(7)	1061	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kawabata K, Kanmura S, Morinaga Y, Tanaka A, Makino T, Fujita T, Arima S, Sasaki F, Nasu Y, Tanoue S, Hashimoto S, <u>Ido A.</u>	A high-fructose diet induces epithelial barrier dysfunction and exacerbates the severity of dextran sulfate sodium-induced colitis.	Int J Mol Med	43(3)	1487-1496	2019
Komaki Y, Kanmura S, Sasaki F, Maeda H, Oda K, Arima S, Tanoue S, Nasu Y, Hashimoto S, Mawatari S, Tsubouchi H, <u>Ido A.</u>	Hepatocyte growth factor facilitates esophageal mucosal repair and inhibits the submucosal fibrosis in a rat model of esophageal ulcer.	Digestion	99(3)	227-238	2019
Tanaka A, Kanmura S, Morinaga Y, Kawabata K, Arima S, Sasaki F, Nasu Y, Tanoue S, Hashimoto S, Takeshita M, Takeda S, <u>Ido A.</u>	Oral administration of Lactobacillus plantarum 06CC2 prevents experimental colitis in mice via an anti-inflammatory response.	Molecular medicine reports	21(3)	1181-1191	2019
Komaki Y, Komaki F, Yamada A, Micic D, <u>Ido A.</u> , Sakuraba A.	Meta-analysis of the risk of immune-related adverse events with anti-cytotoxic T-lymphocyte-associated antigen 4 and anti-programmed death 1 therapies.	Clin Pharmacol Ther.	103(2)	318-331	2018
Komaki Y, Yamada A, Komaki F, Micic D, <u>Ido A.</u> , Sakuraba A.	Systematic review with meta-analysis: the efficacy and safety of CT-P13, a biosimilar of anti-tumour necrosis factor-agent (infliximab), in inflammatory bowel diseases.	Aliment Pharmacol Ther.	45(8)	1043-1057	2017
Sonoda A, Wada Y, Togo K, Mizukami K, Fuyuno Y, Umeno J, Fujioka S, Fukuda K, Okamoto K, Ogawa R, Okimoto T, Murakami K.	Characteristic Facial Appearance Was the Key to Diagnosing Chronic Enteropathy Associated with SLC02A1-Associated Primary Hypertrophic Osteoarthropathy: A Case Report.	Intern Med.	[Epub ahead of print]		2019
Harada A, Kurahara K, Moriyama T, Tanaka T, Nagata Y, Kawasaki K, Yaita H, Maehata Y, Umeno J, Oshiro Y, Fuchigami T, Kitazono T, <u>Esaki M.</u> , <u>Matsumoto T.</u>	Risk factors for reflux esophagitis after eradication of Helicobacter pylori.	Scand J Gastroenterol.	54(10)	1183-1188	2019
Ihara Y, <u>Umeno J.</u> , Hori Y.	Type IV Gastric Carcinoids in the Stomach Caused by ATP4A Gene Mutations.	Clin Gastroenterol Hepatol.	[Epub ahead of print]		2019
Matsuno Y, Hirano A, Torisu T, Okamoto Y, Fuyuno Y, Fujioka S, <u>Umeno J.</u> , Moriyama T, Nagai S, Hori Y, Fujiwara M, Kitazono T, <u>Esaki M.</u>	Short-term and long-term outcomes of indigo naturalis treatment for inflammatory bowel disease.	J Gastroenterol Hepatol.	[Epub ahead of print]		2019
Ihara Y, Torisu T, Moriyama T, <u>Umeno J.</u> , Hirano A, Okamoto Y, Hori Y, Yamamoto H, Kitazono T, <u>Esaki M.</u>	Endoscopic features of gastrointestinal stromal tumor in the small intestine.	Intest Res.	17(3)	398-403	2019
Matsuno Y, <u>Umeno J.</u> , <u>Esaki M.</u> , Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Hirano A, Yasukawa S, Hirai F, Matsui T, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Yanai S, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Torisu T, Kitazono T, <u>Matsumoto T.</u>	Measurement of prostaglandin metabolites is useful in diagnosis of small bowel ulcerations.	World J Gastroenterol.	25(14)	1753-1763	2019
Moriyama T, <u>Umeno J.</u> , Hori Y.	Is autofluorescence imaging useful for the diagnosis of dysplasia in ulcerative colitis?	Dig Endosc.	1	45-46	2019
Maehata Y, Nagata Y, Moriyama T, Matsuno Y, Hirano A, <u>Umeno J.</u> , Torisu T, Manabe T, Kitazono T, <u>Esaki M.</u>	Risk of surgery in patients with stricturing type of Crohn's disease at the initial diagnosis: a single center experience.	Intest Res.	17(3)	357-364	2019
Harada A, Torisu T, Okamoto Y, Hirano A, <u>Umeno J.</u> , Moriyama T, Washio E, Fuyuno Y, Fujioka S, Kitazono T, <u>Esaki M.</u>	Predictive Factors for Rebleeding after Negative Capsule Endoscopy among Patients with Overt Obscure Gastrointestinal Bleeding.	Digestion.	1	1-8	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kakuta Y, Kawai Y, Naito T, Hirano A, Umeno J, Fuyuno Y, Liu Z, Li D, Nakano T, Izumiyama Y, Ichikawa R, Okamoto D, Nagai H, Matsumoto S, Yamamoto K, Yokoyama N, Chiba H, Shimoyama Y, Onodera M, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Endo K, Negoro K, Yasuda J, Esaki M, Tokunaga K, Nakamura M, Matsumoto T, McGovern DPB, Nagasaki M, Kinouchi Y, Shimosegawa T, Masamune A.	A Genome-wide Association Study Identifying RAP1A as a Novel Susceptibility Gene for Crohn's Disease in Japanese Individuals.	J Crohns Colitis.	13(5)	648-658	2019
Yanai S, Yamaguchi S, Nakamura S, Kawasaki K, Toya Y, Yamada N, Eizuka M, Uesugi N, Umeno J, Esaki M, Okimoto E, Ishihara S, Sugai T, Matsumoto T.	Distinction between Chronic Enteropathy Associated with the SLC02A1 Gene and Crohn's Disease.	Gut Liver.	13(1)	62-66	2019
Nagata Y, Esaki M, Moriyama T, Hirano A, Umeno J, Maehata Y, Torisu T, Matsumoto T, Kitazono T.	Anti-tumor necrosis factor therapy decreases the risk of initial intestinal surgery after diagnosis of Crohn's disease of inflammatory type.	J Gastroenterol.	54(4)	330-338	2019
Esaki M, Matsumoto T, Ohmiya N, Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Abe H, Yamamoto S, Kinjo T, Togashi K, Watanabe K, Hirai F, Nakamura M, Nouda S, Ashizuka S, Omori T, Kochi S, Yanai S, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Kitazono T, Kinjo F, Watanabe M, Matsui T, Suzuki Y.	Capsule endoscopy findings for the diagnosis of Crohn's disease: a nationwide case-control study.	J Gastroenterol.	54(3)	249-260	2019
鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 北園 孝成	便秘症の治療 新規薬物治療	臨牀と研究	96(11)	1276-1279	2019
貫 陽一郎, 北崎 真未, 平野 敦士, 梅野 淳嗣, 鳥巢 剛弘, 川床 慎一郎, 保利 喜史, 藤原 美奈子, 松本 主之, 江崎 幹宏	IgG4 関連疾患に伴った胃潰瘍の1例	胃と腸	54(13)	1739-1745	2019
冬野 雄太, 鳥巢 剛弘, 平野 敦士, 梅野 淳嗣, 藤岡 審, 森山 智彦, 江崎 幹宏	難治性腸管 Behcet 病として加療中に trisomy 8 陽性の骨髓異形成症候群を合併した1例	胃と腸	54(13)	1733-1738	2019
岡本 康治, 鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 冬野 雄太, 森山 智彦, 江崎 幹宏	ループス腸炎	消化器・肝臓内科	6(2)	142-146	2019
蔵原 晃一, 河内 修司, 川崎 啓祐, 吉田 雄一郎, 長末 智寛, 鷲尾 恵万, 梅野 淳嗣, 鳥巢 剛弘, 江崎 幹宏, 大城 由美, 中村 昌太郎, 八尾 隆史, 小林 広幸, 松本 主之, 岩下 明德, 淵上 忠彦	小腸X線造影	胃と腸	54(9)	1254-1269	2019
梅野 淳嗣, 平野 敦士, 鳥巢 剛弘	IBDの診断におけるゲノム情報の利用	IBD Research	13(2)	71-76	2019
河野 真一, 鳥巢 剛弘, 小林 広幸, 永田 豊, 冬野 雄太, 岡本 康治, 藤岡 審, 平野 敦士, 梅野 淳嗣, 森山 智彦, 保利 喜史, 山元 英崇, 藤原 美奈子, 江崎 幹宏	Monomorphic epitheliotropic intestinal T-cell lymphoma の2例	胃と腸	54(4)	543-552	2019
冬野 雄太, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 保利 喜史, 藤原 美奈子, 前畠 裕司, 小林 広幸, 河内 修司, 蔵原 晃一, 安川 重義, 平井 郁仁, 鳥巢 剛弘, 江崎 幹宏	小腸の非腫瘍性疾患 非特異性多発性小腸潰瘍症/CEAS	胃と腸	54(4)	485-495	2019
梁井 俊一, 梅野 淳嗣, 松本 主之	指定難病最前線 非特異性多発性小腸潰瘍症	新薬と臨牀	68(2)	241-245	2019
Eda K, Mizuochi T, Takaki Y, Ushijima K, Umeno J, Yamashita Y.	Successful azathioprine treatment in an adolescent with chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene: A case report.	Medicine	97(41)	e12811	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamaguchi S, Yanai S, Nakamura S, Kawasaki K, Eizuka M, Uesugi N, Sugai T, Umeno J, Esaki M, Matsumoto T.	Immunohistochemical differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene and other inflammatory bowel diseases.	Intest Res.	16(3)	393-399	2018
Umeno J, Matsumoto T, Hirano A, Fuyuno Y, Esaki M.	Genetic analysis is helpful for the diagnosis of small bowel ulceration.	World J Gastroenterol.	24(28)	3198-3200	2018
Harada A, Umeno J, Esaki M.	Gastrointestinal: Multiple venous malformations and polyps of the small intestine in Cowden syndrome.	J Gastroenterol Hepatol.	33(11)	1819	2018
Hirano A, Umeno J, Okamoto Y, Shibata H, Ogura Y, Moriyama T, Torisu T, Fujioka S, Fuyuno Y, Kawarabayasi Y, Matsumoto T, Kitazono T, Esaki M.	Comparison of the microbial community structure between inflamed and non-inflamed sites in patients with ulcerative colitis.	J Gastroenterol Hepatol.	[Epub ahead of print]		2018
Umeno J, Esaki M, Hirano A, Fuyuno Y, Ohmiya N, Yasukawa S, Hirai F, Kochi S, Kurahara K, Yanai S, Uchida K, Hosomi S, Watanabe K, Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Nagayama M, Yamamoto H, Abukawa D, Kakuta F, Onodera K, Matsui T, Hibi T, Yao T, Kitazono T, Matsumoto T; CEAS study group.	Clinical features of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene: a new entity clinically distinct from Crohn's disease.	J Gastroenterol.	53(8)	907-915	2018
Tanaka H, Kamata N, Yamada A, Endo K, Fujii T, Yoshino T, Sugaya T, Yokoyama Y, Bamba S, Umeno J, Yanai Y, Ishii M, Kawaguchi T, Shinzaki S, Toya Y, Kobayashi T, Nojima M, Hibi T; ADJUST study group.	Long-term retention of adalimumab treatment and associated prognostic factors for 1189 patients with Crohn's disease.	J Gastroenterol Hepatol.	33(5)	1031-1038	2018
梅野 淳嗣, 平野 敦士, 鳥巢 剛弘, 江崎 幹宏	虚血性腸病変 虚血性小腸炎	臨床消化器内科	34(1)	27-34	2018
岡本 康治, 江崎 幹宏, 蔵原 晃一, 大城 由美, 川崎 啓祐, 前畠 裕司, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 冬野 雄太, 保利 喜史, 藤原 美奈子, 森山 智彦, 鳥巢 剛弘	十二指腸非乳頭部びまん性病変 血管炎・膠原病の十二指腸病変	胃と腸	53(12)	1626-1633	2018
鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 平野 敦士	インテグリン阻害薬、抗MAdCAM抗体製剤	IBD Research	12(3)	165-169	2018
梁井 俊一, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 松本 主之	非特異性多発性小腸潰瘍症(chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene:CEAS)	IBD Research	12(2)	93-97	2018
梅野 淳嗣, 平野 敦士, 冬野 雄太, 江崎 幹宏	炎症性腸疾患における疾患感受性遺伝子	消化器病学サイエンス	2(2)	75-82	2018
冬野 雄太, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 江崎 幹宏, 松本 主之	疾患感受性遺伝子とはなにか 疾患原因遺伝子との違い	消化器病学サイエンス	2(2)	60-63	2018
田中 貴英, 江崎 幹宏, 平野 敦士, 冬野 雄太, 藤岡 審, 岡本 康治, 梅野 淳嗣, 鳥巢 剛弘, 森山 智彦, 保利 喜史, 藤原 美奈子, 北園 孝成	小腸に主病変を呈した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例	胃と腸	53(6)	887-892	2018
江崎 幹宏, 鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 岡本 康治, 冬野 雄太, 前畠 裕司, 河野 真一, 膳所 圭三, 原田 英, 保利 喜史, 藤原 美奈子, 松本 主之	出血を主徴とする小腸非腫瘍性病変の診断と治療 その他の非腫瘍性疾患	胃と腸	53(6)	838-846	2018
平野 敦士, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏	症例から学ぶ IBD 鑑別診断のコツ(第 37 回) 非特異性多発性小腸潰瘍症(CEAS)	IBD Research	12(1)	59-63	2018
冬野 雄太, 永田 豊, 岡本 康治, 平野 敦士, 梅野 淳嗣, 鳥巢 剛弘, 森山 智彦, 江崎 幹宏	Crohn 病の内視鏡的重症度評価 大腸内視鏡下のスコアリングシステムとその問題点	胃と腸	53(2)	194-202	2018
Hosoe N, Ohmiya N, Hirai F, Umeno J, Esaki M, Yamagami H, Onodera K, Bamba S, Imaeda H, Yanai S, Hisamatsu T, Ogata H, Matsumoto T; CEAS Atlas Group.	Chronic Enteropathy Associated With SLC02A1 Gene [CEAS]-Characterisation of an Enteric Disorder to be Considered in the Differential Diagnosis of Crohn's Disease.	J Crohns Colitis.	11(10)	1277-1281	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Nuki Y, Umeno J, Washio E, Maehata Y, Hirano A, Miyazaki M, Kobayashi H, Kitazono T, Matsumoto T, Esaki M.	The influence of CYP2C19 polymorphisms on exacerbating effect of rabeprazole in celecoxib-induced small bowel injury.	Aliment Pharmacol Ther.	46(3)	331-336	2017
Yanai S, Nakamura S, Yamaguchi S, Kawasaki K, Ishida K, Sugai T, Umeno J, Esaki M, Matsumoto T.	Gastrointestinal mantle cell lymphoma with isolated mass and multiple lymphomatous polyposis: report of two cases.	Clin J Gastroenterol.	10(4)	327-330	2017
Maehata Y, Nakamura S, Esaki M, Ikeda F, Moriyama T, Hida R, Washio E, Umeno J, Hirahashi M, Kitazono T, Matsumoto T.	Characteristics of Primary and Metachronous Gastric Cancers Discovered after Helicobacter pylori Eradication: A Multicenter Propensity Score-Matched Study.	Gut Liver.	11(5)	628-634	2017
Uchida K, Nakajima A, Ushijima K, Ida S, Seki Y, Kakuta F, Abukawa D, Tsukahara H, Maisawa SI, Inoue M, Araki T, Umeno J, Matsumoto T, Taguchi T.	Pediatric-onset Chronic Nonspecific Multiple Ulcers of Small Intestine: A Nationwide Survey and Genetic Study in Japan.	J Pediatr Gastroenterol Nutr.	64(4)	565-568	2017
鳥巢 剛弘, 岡本 康治, 梅野 淳嗣, 永田 豊, 原田 英, 澤野 美由紀, 江崎 幹宏	ANCA関連血管炎の小腸病変	Intestine	21(6)	559-563	2017
梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 平野 敦士, 安川 重義, 平井 郁仁, 松井 敏幸, 八尾 恒良, 松本 主之	Chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS, 非特異性多発性小腸潰瘍症)の病態と特徴	Intestine	21(6)	518-525	2017
八尾 恒良, 頼岡 誠, 古賀 章浩, 金光 高雄, 森山 幹彦, 石川 智士, 平井 郁仁, 梅野 淳嗣, 松本 主之, 岩下 明德	肥厚性皮膚骨膜炎を合併し長期にわたって診療中のCEASの1例	胃と腸	52(11)	1467-1476	2017
大宮 直木, 尾崎 隼人, 吉田 大, 前田 晃平, 大森 崇史, 城代 康貴, 小村 成臣, 鎌野 俊彰, 田原 智満, 長坂 光夫, 中川 義仁, 柴田 知行, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 松本 主之	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASの遺伝子異常	胃と腸	52(11)	1441-1444	2017
梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 平野 敦士, 冬野 雄太, 小林 広幸, 河内 修司, 蔵原 晃一, 渡邊 隆, 青柳 邦彦, 安川 重義, 平井 郁仁, 松井 敏幸, 八尾 恒良, 北園 孝成, 松本 主之	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASの臨床像と鑑別診断	胃と腸	52(11)	1411-1422	2017
松本 主之, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 久松 理一, 飯田 三雄, 八尾 恒良	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASとプロスタグランジン腸症	胃と腸	52(11)	1406-1410	2017
八尾 恒良, 梅野 淳嗣, 江崎 幹宏, 松本 主之, 青柳 邦彦, 飯田 三雄, 岡部 治弥, 瀧上 忠彦	非特異性多発性小腸潰瘍症/CEASの過去, 現在, そして今後	胃と腸	52(11)	1398-1405	2017
鳥巢 剛弘, 岡本 康治, 梅野 淳嗣, 永田 豊, 河野 真一, 原田 英, 清森 亮祐, 澤野 美由紀, 江崎 幹宏	血管炎随伴小腸炎	消化器・肝臓内科	1(5)	485-492	2017
江崎 幹宏, 岡本 康治, 鳥巢 剛弘, 梅野 淳嗣, 平野 敦士, 前嶋 裕司, 森山 智彦, 保利 喜史, 藤原 美奈子	自己免疫疾患・膠原病・血管炎など IgA血管炎を疑う上部消化管病変	消化器内視鏡	29(4)	743-746	2017
梅野 淳嗣, 江崎 幹宏	非特異性多発性小腸潰瘍症(chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene)	胃と腸	52(5)	669	2017
江崎 幹宏, 岡本 康治, 川崎 啓祐, 梅野 淳嗣, 鳥巢 剛弘, 森山 智彦, 平橋 美奈子, 蔵原 晃一	全身疾患に合併 血管炎症候群	消化器内視鏡	29(1)	150-154	2017
Nagata Y, Esaki M, Moriyama T, Hirano A, Umeno J, Maehata Y, Torisu T, Matsumoto T, Kitazono T	Anti-tumor necrosis factor therapy decreases the risk of initial intestinal surgery after diagnosis of Crohn's disease of inflammatory type	J Gastroenterol	54(4)	330-8	2019
Yanai S, Yamaguchi S, Nakamura S, Kawasaki K, Toya Y, Yamada N, Eizuka M, Uesugi N, Umeno J, Esaki M, Okimoto E, Ishihara S, Sugai T, Matsumoto T.	Distinction between chronic enteropathy associated with the SLC02A1 gene and Crohn's disease	Gut Liver	13(1)	62-6	2019
Maehata Y, Nagata Y, Moriyama T, Matsuno Y, Hirano A, Umeno J, Torisu T, Manabe T, Kitazono T, Esaki M.	Risk of surgery in patients with stricturing type of Crohn's disease at the initial diagnosis: a single center experience.	Intest Res	17(3)	357-64	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Matsuno Y, Umeno J, <u>Esaki M</u> , Hirakawa Y, Fuyuno Y, Okamoto Y, Hirano A, Yasukawa S, <u>Hirai F</u> , Matsui T, Hosomi S, <u>Watanabe K</u> , Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Yanai S, Kochi S, Kurahara K, Yao T, Torisu T, Kitazono T, <u>Matsumoto T</u>	Measurement of prostaglandin metabolites is useful in diagnosis of small bowel ulcerations.	World J Gastroenterol	25(14)	1753-63	2019
<u>江崎幹宏</u> 、 <u>松本主之</u>	診断編：カプセル内視鏡	IBD クリニカルカンファレンス	1(1)	22-4	2019
<u>Esaki M</u> , <u>Matsumoto T</u> , Ohmiya N, Washio E, Morishita T, Sakamoto K, Abe H, Yamamoto S, Kinjo T, Togashi K, <u>Watanabe K</u> , <u>Hirai F</u> , Nakamura M, Nouda S, Ashizuka S, Omori T, Kochi S, Yanai S, Fuyuno Y, Hirano A, Umeno J, Kitazono T, Kinjo F, <u>Watanabe M</u> , Matsui T, Suzuki Y.	Capsule endoscopy findings for the diagnosis of Crohn's disease: a nationwide case-control study	J Gastroenterol	54(3)	249-60	2019
<u>Hirai F</u> , Ishida T, Takeshima F, <u>Yamamoto S</u> , Yoshikawa I, Ashizuka S, Inatsu H, <u>Mitsuyama K</u> , Sou S, Iwakiri R, Nozaki R, Ohi H, <u>Esaki M</u> , Iida M, Matsui T; Additional Power of Elemental Diet on Maintenance Biologics Therapy in Crohn's Disease (ADORE) Study Group.	Effect of concomitant elemental diet with maintenance anti-tumor necrosis factor-antibody therapy in patients with Crohn's disease: A multicenter, prospective cohort study	J Gastroenterol Hepatol	34(1)	132-9	2019
冬野雄太、永田豊、岡本康治、平野敦士、梅野淳嗣、鳥巢剛弘、森山智彦、 <u>江崎幹宏</u>	主題 Crohn 病の内視鏡的重症度評価-大腸内視鏡下のスコアリングシステムとその問題点	胃と腸	53(2)	194-202	2018
Umeno J, <u>Esaki M</u> , Hirano A, Fuyuno Y, Ohmiya N, Yasukawa S, <u>Hirai F</u> , Kochi S, Kurahara K, Yanai S, Uchida K, Hosomi S, <u>Watanabe K</u> , Hosoe N, Ogata H, Hisamatsu T, Nagayama M, Yamamoto H, Abukawa D, <u>Kakuta F</u> , Onodera K, Matsui T, Hibi T, Yao T, Kitazono T, <u>Matsumoto T</u> ; CEAS study group.	Clinical features of chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene: a new entity clinically distinct from Crohn's disease.	J Gastroenterol	53(8)	907-15	2018
Yamaguchi S, Yanai S, Nakamura S, Kawasaki K, Eizuka M, Uesugi N, Sugai T, Umeno J, <u>Esaki M</u> , <u>Matsumoto T</u> .	Immunohistochemical differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene and other inflammatory bowel diseases.	Intest Res	16(3)	393-9	2018
Ng SC, Kamm MA, Yeoh YK, Chan PKS, Zuo T, Tang W, Sood A, Andoh A, <u>Ohmiya N</u> , Zhou Y, Ooi CJ, Mahachai V, Wu CY, Zhang F, Sugano K, Chan FKL.	Scientific frontiers in fecal microbiota transplantation: joint document of Asia-Pacific Association of Gastroenterology (APAGE) and Asia-Pacific Society for Digestive Endoscopy (APSDE).	Gut.	69(1)	83-91.	2020
Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, <u>Ohmiya N</u> , Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, <u>Watanabe K</u> , Mizuno S, Abe T, Suzuki Y, Kanai T; INDIGO Study Group.	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study.	J Gastroenterol.	55(2)	169-180.	2020
<u>Hirai F</u> , Andoh A, Ueno F, <u>Watanabe K</u> , <u>Ohmiya N</u> , Nakase H, Kato S, <u>Esaki M</u> , Endo Y, Yamamoto H, Matsui T, Iida M, Hibi T, <u>Watanabe M</u> , Suzuki Y, <u>Matsumoto T</u> .	Efficacy of Endoscopic Balloon Dilation for Small Bowel Strictures in Patients With Crohn's Disease: A Nationwide, Multi-centre, Open-label, Prospective Cohort Study.	J Crohns Colitis.	12(4)	394-401.	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Naganuma M, Sugimoto S, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Suda W, Hattori M, Fukuda S, Hirayama A, Abe T, Watanabe M, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T; INDIGO Study Group.	Efficacy of Indigo Naturalis in a Multicenter Randomized Controlled Trial of Patients With Ulcerative Colitis.	Gastroenterology.	154(4)	935-947.	2018
長坂光夫、大宮直木	潰瘍性大腸炎サーベイランスにおける色素内視鏡と狭帯域光(NBI)観察の前向き無作為化比較試験	IBD Research	12(1)	64-65	2018
Tahara T, Hirata I, Nakano N, Tahara S, Horiguchi N, Kawamura T, Okubo M, Ishizuka T, Yamada H, Yoshida D, Ohmori T, Maeda K, Komura N, Ikuno H, Jodai Y, Kamano T, Nagasaka M, Nakagawa Y, Tuskamoto T, Urano M, Shibata T, Kuroda M, Ohmiya N.	Potential link between Fusobacterium enrichment and DNA methylation accumulation in the inflammatory colonic mucosa in ulcerative colitis.	Oncotarget.	8(37)	61917-61926.	2017
Ohmiya N, Horiguchi N, Tahara T, Nagasaka M, Nakagawa Y, Shibata T, Tsukamoto T, Kuroda M.	In vivo characterization of abnormalities in small-bowel diseases using probe-based confocal laser endomicroscopy.	Endosc Int Open.	5(7)	E547-E558.	2017
城代康貴、尾崎隼人、宮田雅弘、生野浩和、鎌野俊彰、前田晃平、小村成臣、吉田 大、大森崇史、田原智満、長坂光夫、中川義仁、柴田知行、大宮直木	いま知りたい!腸内フローラのABC 糞便移植療法	Medical Technology	45(10)	1066-1068	2017
城代康貴、尾崎隼人、宮田雅弘、生野浩和、鎌野俊彰、前田晃平、小村成臣、吉田 大、大森崇史、田原智満、長坂光夫、中川義仁、柴田知行、大宮直木	プロバイオティクス 小児領域を中心とした基礎と実践のポイント マイクロバイオーム治療・創薬の最前線! 糞便移植の有用性と課題	薬局	68(11)	3477 3480	2017
城代康貴、生野浩和、宮田雅弘、長坂光夫、大宮直木	特集 腸内細菌と消化器疾患の新たな展開 糞便移植療法の安全性、有効性 Safety and effectiveness for fecal microbiota transplantation	Medical Science Digest	43(4)	179-182	2017
Sho Anzai, Ami Kawamoto, Sayaka Nagata, Junichi Takahashi, Mao Kawai, Reiko Kuno, Sakurako Kobayashi, Satoshi Watanabe, Kohei Suzuki, Hiromichi Shimizu, Yui Hiraguri, Sayaka Takeoka, Hady Yuki Sugihara, Shiro Yui, Shigeru Oshima, Mamoru Watanabe, Ryuichi Okamoto	TGF- promotes fetal gene expression and cell migration velocity in a wound repair model of untransformed intestinal epithelial cells.	Biochem Biophys Res Commun	[Epub ahead of print]		2020
Kana Otsubo, Chiaki Maeyashiki, Yoichi Nibe, Akiko Tamura, Emi Aonuma, Hiroki Matsuda, Masanori Kobayashi, Michio Onizawa, Yasuhiro Nemoto, Takashi Nagaishi, Ryuichi Okamoto, Kiichiro Tsuchiya, Tetsuya Nakamura, Satoru Torii, Eisuke Itakura, Mamoru Watanabe	RIPK3 inhibits autophagic flux during necroptosis in intestinal epithelial cells.	FEBS Letters	[Epub ahead of print]		2020
Ryuichi Okamoto, Hiromichi Shimizu, Kohei Suzuki, Ami Kawamoto, Junichi Takahashi, Mao Kawai, Sayaka Nagata, Yui Hiraguri, Sayaka Takeoka, Hady Yuki Sugihara, Shiro Yui, Mamoru Watanabe	Organoid-based regenerative medicine for inflammatory bowel disease.	Regenerative Therapy	[Epub ahead of print]		2019
Yuria Takei, Yasuhiro Nemoto, Ryo Morikawa, Shohei Tanaka, Shigeru Oshima, Takashi Nagaishi, Ryuichi Okamoto, Kiichiro Tsuchiya, Tetsuya Nakamura, Mamoru Watanabe	T cells show amoeboid shape and frequent morphological change in vitro, and localize to small intestinal intraepithelial region in vivo.	Biochem Biophys Res Commun	[Epub ahead of print]		2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Shohei Tanaka, Yasuhiro Nemoto, Yuria Takei, Ryo Morikawa, Shigeru Oshima, Takashi Nagaishi, <u>Ryuichi Okamoto</u> , Kiichiro Tsuchiya, Tetsuya Nakamura, Susanne Stutte, <u>Mamoru Watanabe</u>	High-fat diet-derived free fatty acids impair the intestinal immune system and increase sensitivity to intestinal epithelial damage.	Biochem Biophys Res Commun	[Epub ahead of print]		2019
Hirofumi Shimizu, Kohei Suzuki, <u>Mamoru Watanabe</u> , <u>Ryuichi Okamoto</u>	Stem cell-based therapy for inflammatory bowel disease.	Intest Res	17	311-316	2019
鈴木康平, <u>渡辺 守</u> , <u>岡本隆一</u>	【腸と健康:腸オルガノイドが挑む次世代パイオモデル】腸上皮オルガノイドによる再生医療最前線	医学のあゆみ	31	252-254	2019
清水寛路, 鈴木康平, <u>岡本隆一</u> , <u>渡辺 守</u>	【炎症性腸疾患診療のupdate-診断・治療の最新知見】炎症性腸疾患の内科治療 粘膜再生治療法	臨床消化器内科	34	894-898	2019
<u>Kakuta Y</u> , Izumiyama Y, Okamoto D, Nakano T, Ichikawa R, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Kudo H, Minegishi N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, <u>Kinouchi Y</u> , <u>Suzuki Y</u> , Masamune A; MENDEL study group.	High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the NUDT15 diplotype.	J Gastroenterol	55(1)	67-77.	2020
<u>Kakuta Y</u> , Kawai Y, Naito T, Hirano A, Umeno J, Fuyuno Y, Liu Z, Li D, Nakano T, Izumiyama Y, Ichikawa R, Okamoto D, Nagai H, Matsumoto S, Yamamoto K, Yokoyama N, Chiba H, Shimoyama Y, Onodera M, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, <u>Endo K</u> , Negoro K, Yasuda J, <u>Esaki M</u> , Tokunaga K, Nakamura M, <u>Matsumoto T</u> , McGovern DPB, Nagasaki M, <u>Kinouchi Y</u> , Shimosegawa T, Masamune A.	A genome-wide association study identifying RAP1A as a novel susceptibility gene for Crohn's disease in Japanese individuals.	J Crohns Colitis	13(5)	648-658	2019
<u>Kakuta Y</u> , Kawai Y, Okamoto D, Takagawa T, <u>Ikeya K</u> , <u>Sakuraba H</u> , Nishida A, Nakagawa S, Miura M, Toyonaga T, Onodera K, <u>Shinozaki M</u> , <u>Ishiguro Y</u> , Mizuno S, Takahara M, Yanai S, <u>Hokari R</u> , Nakagawa T, Araki H, <u>Motoya S</u> , Naito T, Moroi R, Shiga H, <u>Endo K</u> , Kobayashi T, Naganuma M, <u>Hiraoka S</u> , Matsumoto T, Nakamura S, <u>Nakase H</u> , <u>Hisamatsu T</u> , Sasaki M, <u>Hanai H</u> , <u>Andoh A</u> , Nagasaki M, <u>Kinouchi Y</u> , Shimosegawa T, Masamune A, <u>Suzuki Y</u> ; MENDEL study group.	NUDT15 codon 139 is the best pharmacogenetic marker for predicting thiopurine-induced severe adverse events in Japanese patients with inflammatory bowel disease: a multicenter study.	J Gastroenterol.	53(9)	1065-1078	2018
<u>Kakuta Y</u> , <u>Kinouchi Y</u> , Shimosegawa T	Pharmacogenetics of thiopurines for inflammatory bowel disease in East Asia: prospects for clinical application of NUDT15 genotyping	J Gastroenterol	53(2)	172-180	2018
Kim HS, Cheon JH, Jung ES, Park J, Aum S, Park SJ, Eun S, Lee J, Ruther U, Yeo GSH, Ma M, Park KS, Naito T, <u>Kakuta Y</u> , Lee JH, Kim WH, Lee MG	A coding variant in FTO confers susceptibility to thiopurine-induced leukopenia in East Asian patients with inflammatory bowel disease	Gut	66(11)	1926-1935	2017
Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Okada S, Ishihara S, Morimoto K, Sahara R, Watanabe K, Fukushima K, Takahashi K, Kimura H, Hirata K, Mizushima T, Araki T, <u>Kusunoki M</u> , Nezu R, Nakao S, Itabashi M, Hirata A, Ozawa H, Ishida T, Okabayashi K, Yamamoto T, Noake T, Arakaki J, Watadani Y, Ohge H, Futatsuki R, Koganei K, Sugita A, Higashi D, Futami K.	Changes in the rate of and trends in colectomy for ulcerative colitis during the era of biologics and calcineurin inhibitors based on a Japanese nationwide cohort study.	Surg Today	49(12)	1066-1073	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Munakata K, Koi M, Kitajima T, Tseng-Rogenski S, Uemura M, Matsuno H, Kawai K, Sekido Y, Mizushima T, Toiyama Y, Yamada T, Mano M, Mita E, <u>Kusunoki M</u> , Mori M, Carethers JM	Inflammation-Associated Microsatellite Alterations Caused by MSH3 Dysfunction Are Prevalent in Ulcerative Colitis and Increase With Neoplastic Advancement	Clin Transl Gastroenterol	10(12)	e00105	2019
Okita Y, Araki T, Okugawa Y, Kondo S, Fujikawa H, Hiro J, Inoue M, Toiyama Y, Ohi M, Uchida K, <u>Kusunoki M</u>	The prognostic nutritional index for postoperative infectious complication in patients with ulcerative colitis undergoing proctectomy with ileal pouch-anal anastomosis following subtotal colectomy.	J Anus Rectum Colon	3(2)	91-97	2019
Koike Y, Uchida K, Inoue M, Matsushita K, Okita Y, Toiyama Y, Araki T, <u>Kusunoki M</u> .	Predictors for Pouchitis After Ileal Pouch-Anal Anastomosis for Pediatric-Onset Ulcerative Colitis	J Surg Res	238	72-78	2019
Koike Y, Uchida K, Inoue M, Nagano Y, Kondo S, Matsushita K, Okita Y, Toiyama Y, Araki T, <u>Kusunoki M</u>	Early first episode of pouchitis after ileal pouch-anal anastomosis for pediatric ulcerative colitis is a risk factor for development of chronic pouchitis.	J Pediatr Surg	54(9)	1788-1793	2019
Ikeuchi H, Uchino M, Sugita A, Futami K, Fukushima K, Hata K, Koganei K, <u>Kusunoki M</u> , Uchida K, Nezu R, Kimura H, Takahashi K, Kameyama H, Higashi D, Koyama F, Ueda T, Mizushima T, Suzuki Y.	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch - anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients: Multicenter national study in Japan.	Ann Gastroenterol Surg	2(6)	428-433	2018
Araki T, Hashimoto K, Okita Y, Fujikawa H, Kondo S, Kobayashi M, Ohi M, Toiyama Y, Inoue Y, Uchida K, Mohri Y, <u>Kusunoki M</u>	Colonic Histological Criteria Predict Development of Pouchitis after Ileal Pouch: Anal Anastomosis for Patients with Ulcerative Colitis	Dig Surg.	35(2)	138-143	2018
Uchino M, Ikeuchi H, Sugita A, Futami K, Watanabe T, Fukushima K, Tatsumi K, Koganei K, Kimura H, Hata K, Takahashi K, Watanabe K, Mizushima T, Funayama Y, Higashi D, Araki T, <u>Kusunoki M</u> , Ueda T, Koyama F, Itabashi M, Nezu R, Suzuki Y; a research grant on intractable disease affiliated with the Japan Ministry of Health Labor Welfare	Pouch functional outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study	J Gastroenterol	53(5)	642-651	2018
Toiyama Y, Okugawa Y, Kondo S, Okita Y, Araki T, <u>Kusunoki M</u> , Uchino M, Ikeuchi H, Hirota S, Mitsui A, Takehana K, Umezawa T, <u>Kusunoki M</u> .	Comprehensive analysis identifying aberrant DNA methylation in rectal mucosa from ulcerative colitis patients with neoplasia	Oncotarget	9(69)	33149-33159,	2018
Kondo S, Araki T, Toiyama Y, Tanaka K, Kawamura M, Okugawa Y, Okita Y, Saigusa S, Inoue Y, Uchida K, Mohri Y, <u>Kusunoki M</u> .	Downregulation of trefoil factor-3 expression in rectum is associated with the development of ulcerative colitis-associated cancer	Oncol Lett.	16(3)	3658-3664	2018
Kondo S, Araki T, Okita Y, Yamamoto A, Hamada Y, Katsurahara M, Horiki N, Nakamura M, Shimoyama T, Yamamoto T, Takei Y, <u>Kusunoki M</u>	Colitis with wall thickening and edematous changes during oral administration of the powdered form of Qing-dai in patients with ulcerative colitis: a report of two cases.	Clin J Gastroenterol.	11(4)	268-272	2018
大北喜基, 荒木俊光, 近藤哲, 奥川喜永, 藤川裕之, 廣純一郎, 問山裕二, 大井正貴, 内田恵一, 楠正人	炎症性腸疾患に対する術前ステロイド投与例における周術期の管理	日本外科感染症学会雑誌	15(6)	655-659	2018
Araki T, Okita Y, Kondo S, Hiro J, Toiyama Y, Inoue M, Ohi M, Inoue Y, Uchida K, Mohri Y, <u>Kusunoki M</u>	Risk factors for recurrence of Crohn's disease requiring surgery in patients receiving post-operative anti-tumor necrosis factor maintenance therapy	J Anus Rectum Colon	1(1)	15-21	2017
Toiyama Y, Okugawa Y, Tanaka K, Araki T, Uchida K, Hishida A, Uchino M, Ikeuchi H, Hirota S, <u>Kusunoki M</u> , Boland CR, Goel A	A Panel of Methylated MicroRNA Biomarkers for Identifying High-Risk Patients with Ulcerative Colitis-associated Colorectal Cancer	Gastroenterology	153(6)	1634-1646	2017
Okita Y, Araki T, Hiro J, Kondo S, Fujikawa H, Yoshiyama S, Inoue M, Toiyama Y, Kobayashi M, Ohi M, Inoue Y, Uchida K, Mohri Y, <u>Kusunoki M</u>	Laparoscopic ileopexy for afferent limb syndrome after ileal pouch-anal anastomosis	Asian J Endosc Surg.	10(4)	424-426	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Araki T, Okita Y, Kawamura M, Kondo S, Toiyama Y, Yoshiyama S, Hiro J, Ohi M, Uchida K, Kusunoki M	Modified Martius flap procedure for refractory ileal pouch-vestibular fistula: A report of three cases	Int J Colorectal Dis	32(5)	757-759	2017
Kumagai H, Kudo T, Uchida K, Kunisaki R, Sugita A, Ohtsuka Y, Arai K, Kubota M, Tajiri H, Suzuki Y, Shimizu T.	Adult Gastroenterologists' Views on Transitional Care: Results from a Survey.	Pediatr Int.	61	817-822.	2019
虻川大樹, 青松友樹, 井上幹大, 岩間達, 熊谷秀規, 清水泰岳, 神保圭祐, 南部隆亮, 水落建輝, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛 崇, 福岡智哉, 新井勝大, 清水俊明, 田尻 仁.	小児潰瘍性大腸炎治療指針 (2019年)	日小児栄消肝会誌	33	110-127	2019
新井勝大, 工藤孝広, 熊谷秀規, 齋藤武, 清水泰岳, 高橋美智子, 立花奈緒, 南部隆亮, 内田恵一, 国崎玲子, 石毛 崇, 福岡智哉, 虻川大樹, 清水俊明, 田尻 仁.	小児クローン病治療指針 (2019年)	日小児栄消肝会誌	33	90-109	2019
熊谷秀規	トランジション(移行期医療)について	IBD ニュース	64	1	2018
熊谷秀規	移行期医療(トランジション)に対する取り組み	小児科診療UP-to-DATE	29	22-25	2018
熊谷秀規, 秋山卓士, 虻川大樹, 位田忍, 乾あやの, 工藤孝広, 窪田 満	成人移行期小児炎症性疾患患者の自立支援のための手引書: 成人診療科へのスムーズな移行のために.	日小児栄消肝会誌	32	15-27	2018
Kobayashi T, Uda A, Udagawa E, Hibi T.	Lack of Increased Risk of Lymphoma by Thiopurines or Biologics in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease: A Large-Scale Administrative Database Analysis.	J Crohns Colitis.	in press		2019
Kakuta Y, Izumiyama Y, Okamoto D, Nakano T, Ichikawa R, Naito T, Moroi R, Kuroha M, Kanazawa Y, Kimura T, Shiga H, Kudo H, Minegishi N, Kawai Y, Tokunaga K, Nagasaki M, Kinouchi Y, Suzuki Y, Masasmune A; MENDEL study group (Kobayashi T).	High-resolution melt analysis enables simple genotyping of complicated polymorphisms of codon 18 rendering the NUDT15 diplotype.	J Gastroenterol.	55(1)		2019
Yamazaki H, So R, Matsuoka K, Kobayashi T, Shinzaki S, Matsuura M, Okabayashi S, Kataoka Y, Tsujimoto Y, Furukawa TA, Watanabe N.	Certolizumab pegol for induction of remission in Crohn's disease.	Cochrane Database Syst Rev.	29;8		2019
Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Abe T, Suzuki Y, Kanai T; INDIGO Study Group.	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study.	J Gastroenterol.	in press		2019
Naganuma M, Kobayashi T, Nasuno M, Motoya S, Kato S, Matsuoka K, Hokari R, Watanabe C, Sakamoto H, Yamamoto H, Sasaki M, Watanabe K, Iijima H, Endo Y, Ichikawa H, Ozeki K, Tanida S, Ueno N, Fujiya M, Sako M, Takeuchi K, Sugimoto S, Abe T, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T.	Significance of Conducting 2 Types of Fecal Tests in Patients with Ulcerative Colitis.	Clin Gastroenterol Hepatol.	in press		2019
Okabayashi S, Kobayashi T, Saito E, Toyonaga T, Ozaki R, Sagami S, Nakano M, Tanaka J, Yagisawa K, Kuronuma S, Takeuchi O, Hibi T.	Individualized treatment based on CYP3A5 single-nucleotide polymorphisms with tacrolimus in ulcerative colitis.	Intest Res.	17(2)	218-226	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Sagami S, Kobayashi T, Kikkawa N, Umeda S, Nakano M, Toyonaga T, Okabayashi S, Ozaki R, Hibi T	Combination of colonoscopy and magnetic resonance enterography is more useful for clinical decision making than colonoscopy alone in patients with complicated Crohn's disease.	PLoS One.	14(2)	e0212404	2019
Okabayashi S, Kobayashi T [corresponding author], Hibi T.	Drug lag for inflammatory bowel disease treatments in the East and West.	Inflamm Intest Dis	3(1)	25-31	
Ozaki R, Kobayashi T [corresponding author], Okabayashi S, Nakano M, Morinaga S, Hara A, Ohbu M, Matsuoka K, Toyonaga T, Saito E, Hisamatsu T, Hibi T.	Histological Risk Factors to Predict Clinical Relapse in Ulcerative Colitis with Endoscopically Normal Mucosa.	J Crohns Colitis.	12(11)	1288-1294	
Hosoe N, Nakano M, Takeuchi K, Endo Y, Matsuoka K, Abe T, Omori T, Hayashida M, Kobayashi T, Yoshida A, Mizuno S, Nakazato Y, Naganuma M, Kanai T, Watanabe M, Ueno F, Suzuki Y, Hibi T, Ogata H.	Establishment of a Novel Scoring System for Colon Capsule Endoscopy to Assess the Severity of Ulcerative Colitis-Capsule Scoring of Ulcerative Colitis.	Inflamm Bowel Dis.	24(12)	2641-2647	2018
Shinzaki S, Fujii T, Bamba S, Ogawa M, Kobayashi T, Oshita M, Tanaka H, Ozeki K, Takahashi S, Kitamoto H, Kani K, Nanjo S, Sugaya T, Sakakibara Y, Yoshino T, Matsui A, Nakamura M, Tomizawa T, Sakemi R, Kamata N, Hibi T.	Seven days triple therapy for eradication of Helicobacter pylori does not alter the disease activity of patients with inflammatory bowel disease.	Intest Res	16(4)	609-618	2018
Okabayashi S, Kobayashi T [corresponding author], Nakano M, Toyonaga T, Ozaki R, Tablante MC, Kuronuma S, Takeuchi O, Hibi T.	A simple 1-day colon capsule endoscopy procedure demonstrated to be a highly acceptable monitoring tool for ulcerative colitis.	Inflamm Bowel Dis	24(11)	2404-2412	2018
Komoto S, Matsuoka K, Kobayashi T, Yokoyama Y, Suzuki Y, Hibi T, Miura S, Hokari R	Safety and efficacy of leukocytapheresis in elderly patients with ulcerative colitis: the impact in steroid-free elderly patients.	J Gastroenterol Hepatol	33(8)	1485-91	2018
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, Ogata H, Andoh A, Araki T, Hokari R, Iijima H, Ikeuchi H, Ishiguro Y, Kato S, Kunisaki R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, Nakase H, Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T.	Predicting Outcomes to Optimize Disease Management in Inflammatory Bowel Disease in Japan: Their Differences and Similarities to Western Countries.	Intest Res	16(2)	168-177	2018
小林 拓	抗TNF 抗体の止め方	IBD News	vol.64	33-36	2018
小林 拓	潰瘍性大腸炎	消化器疾患最新の治療 2019-20	1巻1号	30-33	2018
小林 拓	V. 炎症性腸疾患の検査・診断 2 . 炎症性腸疾患の診断における血液検査及び細菌学的検査	日本臨牀	76(増刊号 3)	173-177	2018
小林 拓	VI. 炎症性腸疾患の内科的治療 3 . 炎症性腸疾患治療薬の使い方と特性 (8) 抗 IL-12 p40 抗体 : ウステキヌマブ	日本臨牀	76(増刊号 3)	345-349	2018
Yamazaki H, So R, Matsuoka K, Kobayashi T, Shinzaki S, Matsuura M, Okabayashi S, Kataoka Y, Tsujimoto Y, Furukawa TA, Watanabe N.	Certolizumab pegol for induction of remission in Crohn's disease.	Cochrane Database of Systematic Reviews 2017	Issue 12	Art. No.: CD012893	2017
Okabayashi S, Kobayashi T [corresponding author], Nakano M, Toyonaga T, Ozaki R, Tablante MC, Kuronuma S, Takeuchi O, Hibi T.	A simple 1-day colon capsule endoscopy procedure demonstrated to be a highly acceptable monitoring tool for ulcerative colitis.	Inflamm Bowel Dis	in press		2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Kobayashi T, Hisamatsu T, Suzuki Y, Ogata H, Andoh A, Araki T, Hokari R, Iijima H, Ikeuchi H, Ishiguro Y, Kato S, Kunisaki R, Matsumoto T, Motoya S, Nagahori M, Nakamura S, Nakase H, Tsujikawa T, Sasaki M, Yokoyama K, Yoshimura N, Watanabe K, Katafuchi M, Watanabe M, Hibi T.	Predicting Outcomes to Optimize Disease Management in Inflammatory Bowel Disease in Japan: Their Differences and Similarities to Western Countries.	Intest Res	Published online Dec 7	P.1-10	2017
Ueno A, Jeffery L, Kobayashi T, Hibi T, Ghosh S, Jijon H.	Th17 plasticity and its relevance to inflammatory bowel disease.	J Autoimmun	S0896-8411(17)	30781-3	2017
Naganuma M, Sugimoto S, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Suda W, Hattori M, Fukuda S, Hirayama A, Abe T, Watanabe M, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T; INDIGO Study Group.	Efficacy of Indigo naturalis in a Multicenter Randomized Controlled Trial of Patients with Ulcerative Colitis.	Gastroenterology	S0016-5085(17)	36382-5	2017
Okabayashi S, Kobayashi T, Sujino T, Ozaki R, Umeda S, Toyonaga T, Saito E, Nakano M, Tablante MC, Morinaga S, Hibi T.	Steroid-refractory extensive enteritis complicated by ulcerative colitis successfully treated with adalimumab.	Intest Res	15(4)	535-539	2017
Kobayashi T, Hishida A, Tanaka H, Nuki Y, Bamba S, Yamada A, Fujii T, Shinzaki S, Yokoyama Y, Yoshida A, Ozeki K, Ashizuka S, Kamata N, Nanjo S, Kakimoto K, Nakamura M, Matsui A, Yamauchi R, Takahashi S, Tomizawa T, Yoshino T, Hibi T.	Real-world Experience of Anti-tumor Necrosis Factor Therapy for Internal Fistulas in Crohn's Disease: A Retrospective Multicenter Cohort Study.	Inflamm Bowel Dis	23(12)	2245-2251	2017
Nakazato Y, Naganuma M, Sugimoto S, Bessho R, Arai M, Kiyohara H, Ono K, Nanki K, Mutaguchi M, Mizuno S, Kobayashi T, Hosoe N, Shimoda M, Abe T, Inoue N, Ogata H, Iwao Y, Kanai T.	Endocytoscopy can be used to assess histological healing in ulcerative colitis.	Endoscopy	49(6)	560-563	2017
Umeda S, Serizawa H, Kobayashi T, Toyonaga T, Saito E, Nakano M, Higuchi H, Tsunematsu S, Watanabe N, Hibi T, and Morinaga S	Clinical significance of human intestinal spirochetosis: a retrospective study.	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi	114(2)	230-237	2017
小林 拓	炎症性腸疾患と腸内細菌(3)食事の欧米化と腸内細菌の変化	INTESTINE	Vol.21 No.4	P.2-3	2017
小林 拓、八木澤啓司	患者さんからよく尋ねられる内科診療のFAQ 消化器5「食事はどのようなことに気を付ければ良いでしょうか。」	臨床雑誌 内科	120巻3号	429-430	2017
小林 拓	特集/IBD治療薬のポジショニングを考える～現在と将来展望～現在治験中の新薬とそのポジショニング	IBD Research	Vol.11 No.4	33-36	2017
Ueda T., Fujii H., Nakamoto T., Nishigori N., Kuge H., Sasaki Y., Fujii H., Koyama F.	Anorectal cancer in Crohn's disease has a poor prognosis due to its advanced stage and aggressive histological features: a systematic literature review of Japanese patients.	J. Gastrointest. Cancer	51(1)	1-9	2020
Ikwuchi H., Uchino M., Sugita A., Futami K., Fukushima K., Hata K., Koganei K., Kusunoki M., Uchida K., Nezu R., Kimura H., Takahashi K., Itabashi M., Kameyama H., Higashi D., Koyama F, Ueda T., Mizushima T., Suzuki Y.	Long-term outcomes following restorative proctocolectomy ileal pouch-anal anastomosis in pediatric ulcerative colitis patients Multicenter national study in Japan	Ann Gastroenterol Surg.	2(6)	428-433	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Uchino M, Ikeuchi H, Sugita A, Futami K., Watanabe T., Fukushima K., Tatsumi K., Koganei K., Kimura H., Hata K., Takahashi K., Watanabe K., Mizushima T., Funayama Y., Higashi D., Araki M., Kusunoki M., Ueda T., <u>Koyama F</u> , Itabashi M., Nezu R., Suzuki Y.	Pouch functional outcomes after restorative proctocolectomy with ileal-pouch reconstruction in patients with ulcerative colitis: Japanese multi-center nationwide cohort study.	J. Gastroenterol	53(5)	642-651	2018
稲次直樹、吉川周作、増田勉、内田秀樹、櫻塚久記、横谷倫世、山岡健太郎、稲垣水美、横尾貴史、榎本泰三、香山浩司、山口貴也、宮沢善夫、久下博之、 <u>小山文一</u> 、庄雅之	知っておきたい直腸肛門部の腫瘍性疾患	胃と腸	53(7)	937-952	2018
<u>小山文一</u> 、西林直子、崎山恵美、庄雅之	クローン病でストーマが必要となる病態	WOC Nursing	6(10)	34-39	2018
<u>小山文一</u> 、植田剛、井上隆、久下博之、藤井久男、中島祥介	潰瘍性大腸炎 回腸囊肛門吻合術 (IAA)	手術	71(7)	971-976	2017
Takabayashi K, Hosoe N, Kato M, Hayashi Y, Miyanaga R, Nanki K, Fukuhara K, Mikami Y, Mizuno S, Sujino T, Mutaguchi M, Naganuma M, Yahagi N, <u>Ogata H</u> , Kanai T.	Efficacy of novel ultra-thin single-balloon enteroscopy for Crohn's disease: A propensity score-matched study	Gut and Liver		Epub ahead of print	2020
Yoshimatsu Y, Naganuma M, Sugimoto S, Tanemoto S, Umeda S, Fukuda T, Nomura E, Yoshida K, Ono K, Mutaguchi M, Nanki K, Mizuno S, Mikami Y, Fukuhara K, Sujino T, <u>Takabayashi K</u> , <u>Ogata H</u> , Iwao Y, Kanai T.	Development of an indigo naturalis suppository for topical induction therapy in patients with ulcerative colitis	Digestion	25	1-7	2019
<u>Takabayashi K</u> , <u>Hosoe N</u> , <u>Miyanaga R</u> , <u>Fukuhara S</u> , <u>Kimura K</u> , <u>Mizuno S</u> , <u>Naganuma M</u> , <u>Yahagi N</u> , <u>Ogata H</u> , <u>Kanai T</u>	Clinical utility of novel ultra-thin single-balloon enteroscopy: a feasibility study	Endoscopy	33	1518-1522	2019
Fukuda T, Naganuma M, Sugimoto S, Ono K, Nanki K, Mizuno S, Kimura K, Mutaguchi M, Nakazato Y, <u>Takabayashi K</u> , <u>Inoue N</u> , <u>Ogata H</u> , <u>Iwao Y</u> , <u>Kanai T</u> .	Efficacy of Therapeutic Intervention for Patients With an Ulcerative Colitis Mayo Endoscopic Score of 1.	Inflammatory Bowel Disease	25	782-788	2019
Konishi H, <u>Fujiya M</u> , Kashima S, Sakatani A, Dokoshi T, Ando K, Ueno N, Iwama T, Moriichi K, Tanaka H, Okumura T.	A tumor-specific modulation of heterogeneous ribonucleoprotein A0 promotes excessive mitosis and growth in colorectal cancer cells.	Cell Death Disease	in press		2020
Naganuma M, Kobayashi T, Nasuno M, Motoya S, Kato S, Matsuoka K, Hokari R, Watanabe C, Sakamoto H, Yamamoto H, Sasaki M, Watanabe K, Iijima H, Endo Y, Ichikawa H, Ozeki K, Tanida S, Ueno N, <u>Fujiya M</u> , Sako M, Takeuchi K, Sugimoto S, Abe T, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T.	Significance of Conducting Two Types of Fecal Tests in Patients with Ulcerative Colitis	Clinical Gastroenterology and Hepatology	in press		2020
<u>Fujiya M</u> , Ueno N, Kashima S, Tanaka K, Sakatani A, Ando K, Moriichi K, Konishi H, Kamiyama N, Tasaki Y, Omura T, Matsubara K, Taruishi M, Okumura T.	Long-Chain Polyphosphate Is a Potential Agent for Inducing Mucosal Healing of the Colon in Ulcerative Colitis.	Clin Pharmacol Ther	107(2)	452-461	2020
Horioka k, Tanaka H, Isozaki S, Konishi H, <u>Fujiya M</u> , Okuda K, Asari M, Shiono H, Ogawa K, Shimizu K.	Acute Colchicine Poisoning Causes Endotoxemia via the Destruction of Intestinal Barrier Function: The Curative Effect of Endotoxin Prevention in a Murine Model	Digestive Diseases and Sciences	65(1)	132-140	2020
Kashima S, Tanabe H, Tanino M, Kobayashi Y, Murakami Y, Iwama T, Sasaki T, Kunogi T, Takahashi K, Ando K, Ueno N, Moriichi K, Fukudo M, Tasaki Y, Hosokawa M, Mizukami Y, <u>Fujiya M</u> , Okumura T.	Lymph node metastasis from gastroesophageal cancer successfully treated by nivolumab : A case report of a young patient.	Frontier in Oncology	16(9)	1375	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ando K, <u>Fujiya M</u> , Nomura Y, Inaba Y, Sugiyama Y, Kobayashi Y, Iwama T, Ijiri M, Takahashi K, Ueno N, Kashima S, Moriichi K, Tanabe H, Mizukami Y, Akasaka K, Fujii S, Yamada S, Nakase H, Okumura T.	The incidence and risk factors of venous thromboembolism in patients with inflammatory bowel disease: A prospective multicenter cohort study.	Digestion	100(4)	229-237	2019
Moriichi K, <u>Fujiya M</u> , Kobayashi Y, Murakami Y, Iwama T, Kunogi T, Sasaki T, Ijiri M, Takahashi K, Tanaka K, Sakatani A, Ando K, Nomura Y, Ueno N, Kashima S, Ikuta K, Tanabe H, Mizukami Y, Saitoh Y, Okumura T.	Autofluorescence Imaging Reflects the Nuclear Enlargement of Tumor Cells as well as the Cell Proliferation Ability and Aberrant Status of the p53, Ki-67, and p16 Genes in Colon Neoplasms.	Molecules	24(6)	pii: E1106	2019
Takahashi K, <u>Fujiya M</u> , Ueno N, Ando K, Kashima S, Moriichi K, Okumura T.	Endoscopic fine-needle aspiration is useful for the treatment of pneumatosis cystoides intestinalis with intussusception.	Am J Gastroenterol	114(1)	13	2019
Ando K, <u>Fujiya M</u> , Okumura T.	Minute duodenal metastasis in a patient with thoracic esophageal squamous cell carcinoma successfully treated with chemoradiotherapy.	Digestive Endoscopy	31(1)	102	2019
藤谷幹浩、上野伸展	潰瘍性大腸炎 Mats 分類 (内視鏡所見による分類)	胃と腸	54(5)	701	2019
Tanabe H, Ando K, Ohdaira H, Suzuki Y, Konuma I, Ueno N, <u>Fujiya M</u> , Okumura T.	Successful medical treatment for a Crohn's disease patient with a perforation by a second-generation patency capsule.	Endosc Int Open	6(12)	E1436-E1438	2018
Dokoshi T, Zhang L, Nakatsuji T, Adase CA, Sanford JA, Paladini RD, Tanaka H, <u>Fujiya M</u> , Gallo RL.	Hyaluronidase inhibits reactive adipogenesis and inflammation of colon and skin.	JCI insight	3(21)	e123072	2018
Ando K, <u>Fujiya M</u> , Nomura Y, Inaba Y, Sugiyama Y, Iwama T, Ijiri M, Takahashi K, Tanaka K, Sakatani A, Ueno N, Kashima S, Moriichi K, Mizukami Y, Okumura T.	The incidence and risk factors of venous thromboembolism in Japanese inpatients with inflammatory bowel disease: A retrospective cohort study.	Intest Res	16(3)	416-425	2018
<u>Fujiya M</u> , Kashima S, Sugiyama Y, Iwama T, Ijiri M, Tanaka K, Takahashi K, Ando K, Nomura Y, Ueno N, Goto T, Sasajima J, Moriichi K, Mizukami Y, Okumura T.	Takayasu's Arteritis Associated with Eosinophilic Gastroenteritis, Possibly via the Overactivation of Th17.	Gut Pathogens	10	22	2018
Moriichi K, <u>Fujiya M</u> , Goto T, Okumura T.	Echinococcosis infection diagnosed based on the histological findings of a lymph node involvement obtained by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	Endoscopic ultrasound	7(3)	210-211	2018
<u>Fujiya M</u>	Detection and characterization of colitis-associated cancer/dysplasia: Based on reports from the JDDW2017 and meta-analyses of prospective studies concerning endoscopic procedure.	Digestive Endoscopy	30(3)	332-337	2018
藤谷幹浩	炎症性腸疾患治療の最前線	日本病院薬剤師会雑誌	54(10)	1217-1222	2018
藤谷幹浩	文献紹介 IBD注目のKey論文 潰瘍性大腸炎患者における青黛の治療効果に関する多施設無作為化比較試験	IBD Research	12(3)	200	2018
藤谷幹浩	X 炎症性腸疾患の患者指導、QOL 病診連携の推進	日本臨床	76(増刊号3)	586-591	2018
井尻学見, 藤谷幹浩, 杉山雄哉, 岩間琢哉, 田中一之, 高橋慶太郎, 安藤勝祥, 野村好紀, 上野伸展, 嘉島伸, 盛一健太郎, 奥村利勝	3 .潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度評価 2) 画像強調内視鏡所見からみた重症度	胃と腸	53(2)	169-176	2018
Tanaka K, <u>Fujiya M</u> , Sakatani A, Fujibayashi S, Nomura Y, Ueno N, Kashima S, Goto T, Sasajima J, Moriichi K, Okumura T.	Second-line therapy for Helicobacter pylori eradication causing antibiotic-associated hemorrhagic colitis.	Ann Clin Microbiol Antimicrob	16(1)	54	2017

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Ijiri M, <u>Fujiya M</u> , Konishi H, Tanaka H, Ueno N, Kashima S, Moriichi K, Sasajima J, Ikuta K, Okumura T.	Ferrichrome identified from Lactobacillus casei ATCC334 induces apoptosis through its iron binding site in gastric cancer cells.	Tumor Biology	39(6)	1010428317711 311	2017
Takahashi K, Ito T, Sato T, Goto M, Kawamoto T, Fujinaga A, Yanagawa N, Saito Y, Sato K, <u>Fujiya M</u> .	Endoscopic submucosal dissection for depressed-type early adenocarcinoma of the terminal ileum.	Internal Medicine	56(10)	1153-1156	2017
<u>藤谷幹造</u>	腸内細菌を標的とした消化器疾患の治療法	INTESTINE	21(4)	341-350	2017
小西弘晃、 <u>藤谷幹造</u>	文献紹介IBD注目のKey論文 IL-23とIL-17の腸管免疫における役割の相違	IBD Research	11(2)	50	2017
Ryohei shinohara, Kenogo Sasaki, Jun Inoue, <u>Namiko Hoshi</u> , Itsuko Fukuda, Daisuke Sasaki, Akihiko Kondo, Ro Osawa	Butyryl-CoA: acetate-CoA-transferase Gene Associated With the Genus Roseburia Is Decreased in the Gut Microbiota of Japanese Patients with Ulcerative Colitis	Biosci Microbiota Food Health	38(4)	159-163	2019
Kenogo Sasaki, Jun Inoue, Daisuke Sasaki, <u>Namiko Hoshi</u> , Tomokazu Shirai, Itsuko Fukuda, Takeshi Azuma, Akihiko Kondo, Ro Osawa	Construction of a Model Culture System of Human Colonic Microbiota to Detect Decreased Lachnospiraceae Abundance and Butyrogenesis in the Feces of Ulcerative Colitis Patients	Biotechnol J	14(5)	E1800555	2019
Zi Wang, Soichiro Adachi, Lingling Kong, Daisuke Watanabe, Yusuke Nakanishi, Toshiaki Ohteki, <u>Namiko Hoshi</u> , Yuzo Kodama	Role of Eosinophils in a Murine Model of Inflammatory Bowel Disease	Biochem Biophys Res Commun	511(1)	99-104	2019
Takafumi Otsuka, Makoto Ooi, Kazutoshi Tobimatsu, Chika Wakahara, Daisuke Watanabe, Soichiro Adachi, Eiichiro Yasutomi, Haruka Yamairi, Yuna Ku, Masaru Yoshida, <u>Namiko Hoshi</u> , Yuzo Kodama	Short-Term and Long-Term Outcomes of Infliximab and Tacrolimus Treatment for Moderate to Severe Ulcerative Colitis: Retrospective Observational Study	Kobe J Med Sci	64(4)	E140-148	2018
Soichiro Adachi, <u>Namiko Hoshi</u> , Jun Inoue, Eiichiro Yasutomi, Takafumi Otsuka, Ramesh Dhakhwa, Zi Wang Yuna Koo, Toshihiro Takamatsu, Yuriko Matumura, Haruka Yamairi, Daisuke Watanabe, Makoto Ooi, Toshihito Tanahashi, Shin Nishiumi, Masaru Yoshida, Takeshi Azuma	Indigo Naturalis Ameliorates Oxazolone-Induced Dermatitis but Aggravates Colitis by Changing the Composition of Gut Microflora	Int Arch Allergy Immunol	173(1)	23-33	2017
Honzawa Y, <u>Matsuura M</u> , Higuchi H, Sakurai T, Seno H, Nakase H.	A novel endoscopic imaging system for quantitative evaluation of colonic mucosal inflammation in patients with quiescent ulcerative colitis.	Endosc Int Open.	8(1)	E41-E49	2020
Iida T, Hirayama D, Minami N, <u>Matsuura M</u> , Wagatsuma K, Kawakami K, Nagaishi K, Nojima M, Ikeuchi H, Hirota S, Shirakawa R, Horiuchi H, Nakase H.	Down-regulation of RalGTPase-Activating Protein Promotes Colitis-Associated Cancer via NLRP3 Inflammasome Activation.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol.	9(2)	277-293	2020
Iida T, Hida T, <u>Matsuura M</u> , Uhara H, Nakase H.	Current clinical issue of skin lesions in patients with inflammatory bowel disease.	Clin J Gastroenterol.	12(6)	501-510	2019
Yamazaki H, So R, Matsuoka K, Kobayashi T, Shinzaki S, <u>Matsuura M</u> , Okabayashi S, Kataoka Y, Tsujimoto Y, Furukawa TA, Watanabe N.	Certolizumab pegol for induction of remission in Crohn's disease.	Cochrane Database Syst Rev.	(8)	CD012893	2019
Wagatsuma K, Yamada S, Ao M, <u>Matsuura M</u> , Tsuji H, Iida T, Miyamoto K, Oka K, Takahashi M, Tanaka K, Nakase H.	Diversity of Gut Microbiota Affecting Serum Level of Undercarboxylated Osteocalcin in Patients with Crohn's Disease.	Nutrients.	11(7)	E1541	2019
Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, <u>Matsuura M</u> , Nagahori M, Motoya S, Esaki M, Fukata N, Inoue S, Sugaya T, Sakuraba H, Hirai F, Watanabe K, Kanai T, Naganuma M, Nakase H, Suzuki Y, Watanabe M, Hibi T, Nojima M, Matsumoto T	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2).	J Gastroenterol.	54(10)	860-870	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yamamoto Y, Masuda S, Nakase H, <u>Matsuura M</u> , Maruyama S, Hisamatsu T, Suzuki Y, Matsubara K.	Influence of Pharmaceutical Formulation on the Mucosal Concentration of 5-Aminosalicylic Acid and N-Acetylmethylsalicylic Acid in Japanese Patients with Ulcerative Colitis.	Biol Pharm Bull.	42 (1)	81-86	2019
Nakamura S, Imaeda H, Nishikawa H, Iimuro M, <u>Matsuura M</u> , Oka H, Oku J, Miyazaki T, Honda H, Watanabe K, Nakase H, Andoh A.	Usefulness of fecal calprotectin by monoclonal antibody testing in adult Japanese with inflammatory bowel diseases: a prospective multicenter study.	Intest Res.	16 (4)	554-562	2018
Tsuchido Y, Nagao M, <u>Matsuura M</u> , Nakano S, Yamamoto M, Matsumura Y, Seno H, Ichiyama S.	Real-time quantitative PCR analysis of endoscopic biopsies for diagnosing CMV gastrointestinal disease in non-HIV immunocompromised patients: a diagnostic accuracy study.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis.	37 (12)	2389-2396	2018
Imai T, Yamasaki H, <u>Mitsuyama K</u> , Yamaga O, Sugihara G, Kaida Y, Shibata R, Hazama T, Yoshioka S, Torimura T, Fukami K, Yamashita N	Single Needle Granulocyte and Monocyte Apheresis for Ulcerative Colitis: A Retrospective Safety Analysis	The Kurume medical journal	inpress 2020	inpress 2020	2020
Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Obara H, Kakuma T, Kurei S, Yamashita Y, <u>Mitsuyama K</u>	Antibodies to Crohn's disease peptide 353 as a diagnostic marker for pediatric Crohn's disease: a prospective multicenter study in Japan	Journal of Gastroenterology	inpress 2020	inpress 2020	2020
Sakisaka H, Takedatsu H, <u>Mitsuyama K</u> , Mochizuki S, Sakurai K, Sakisaka S, Hirai F	Topical Therapy with Antisense Tumor Necrosis Factor Alpha Using Novel - Glucan-Based Drug Delivery System Ameliorates Intestinal Inflammation	International journal of molecular sciences	21,2		2020
Naganuma M, Sugimoto S, Fukuda T, <u>Mitsuyama K</u> , Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Abe T, Suzuki Y, Kanai T	Indigo naturalis is effective even in treatment-refractory patients with ulcerative colitis: a post hoc analysis from the INDIGO study	Journal of Gastroenterology	55,2	169-180	2020
Yamasaki H, <u>Mitsuyama K</u> , Yoshioka S, Kuwaki K, Yamauchi R, Fukunaga S, Mori A, Tsuruta O, Torimura T	Leukocyte Apheresis Using a Fiber Filter Suppresses Colonic Injury Through Calcitonin Gene-Related Peptide Induction	Inflammatory bowel diseases	inpress 2019	inpress 2019	2019
Hirai F, Ishida T, Takeshima F, Yamamoto S, Yoshikawa I, Ashizuka S, Inatsu H, <u>Mitsuyama K</u> , Sou S, Iwakiri R, Nozaki R, Ohi H, Esaki M, Iida M, Matsui T	Effect of a concomitant elemental diet with maintenance anti-tumor necrosis factor-alpha antibody therapy in patients with Crohn's disease: A multicenter, prospective cohort study.	Journal of Gastroenterology and Hepatology	34,1	132-139	2019
Fukunaga S, Mori A, Ohuchi A, Yoshioka S, Akiba J, <u>Mitsuyama K</u> , Tsuruta O, Torimura T	Abdominal pain, diarrhea and bloody stools in a patient treated for renal cell carcinoma with sunitinib	Journal of Gastroenterology and Hepatology	35,1	10	2019
Yamasaki H, Kinugasa T, Iwasaki S, Yoshioka S, Mizuochi T, Ishibashi M, Nagatsuka K, Yamauchi R, Ishibashi N, Araki T, Mori A, Akagi Y, <u>Mitsuyama K</u> , Torimura T	Questionnaire Survey from the 1st Kurume University Inflammatory Bowel Disease Center Educational Lecture	The Kurume Medical Journal	65,3	109-112	2019
<u>光山慶一</u>	慢性便秘の診断と治療—最近の話題	久留米内科医会会報	74	24-26	2020
大内彬弘、鶴田 修、荒木俊博、長知徳、草場喜雄、中根智幸、徳安秀紀、永田 務、福永秀平、火野坂淳、向笠道太、江森啓悟、上野恵里奈、河野弘志、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	PG typeとNPG type隆起型早期大腸癌における生物学的悪性度の相違	胃と腸	54,6	889-896	2019
石原 潤、水落建輝、榊 忠宏、高木祐吾、吉岡慎一郎、 <u>光山慶一</u>	遺伝子異常が確認されたVEO-IBD症例	胃と腸	54,13	1746-1750	2019
山崎 博、 <u>光山慶一</u>	血球成分除去療法に使い方	診断と治療	107,7	811-814	2019
<u>光山慶一</u>	便秘症の治療 慢性便秘症における非薬物療法	臨牀と研究	96,11	32-33	2019
<u>光山慶一</u>	炎症性腸疾患の病態とサイトカイン	Colonoexpert コロノエキスパート	1,1	10	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
吉岡慎一郎、 <u>光山慶一</u>	潰瘍性大腸炎の重症度を評価するための大腸カプセル内視鏡検査を用いた新しいスコアリングシステムの確立-潰瘍性大腸炎のカプセルスコアリング	IBD Research	13,4	250-251	2019
草場喜雄、鶴田 修、永田 務、大内彬弘、中根智幸、福永秀平、向笠道太、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	FIT陰性癌の症例(2) FIT陰性であったpT1b癌	INTESTINE	23,5	457-461	2019
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、中根智幸、大内彬弘、徳安秀紀、福永秀平、火野坂淳、向笠道太、江森啓悟、上野恵里奈、河野弘志、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	大腸 NBI 拡大観察の基本と最新知見	胃と腸	54,1	9-16	2019
河野弘志、鶴田 修、上野恵里奈、菅原脩平、後藤諒介、深水 航、柴田翔、渡邊裕次郎、山田康正、伊藤陽平、小林起秋、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	主題：隆起型早期大腸癌の病態と診断 PG type隆起型早期大腸癌の内視鏡診断 通常内視鏡観察の立場から	胃と腸	54,6	847-858	2019
<u>光山慶一</u>	慢性便秘の診断と治療	慢性便秘の診断と治療	43,3	34-36	2019
Naganuma M, Sugimoto S, Mitsuyama K, Kobayashi T, Yoshimura N, Ohi H, Tanaka S, Andoh A, Ohmiya N, Saigusa K, Yamamoto T, Morohoshi Y, Ichikawa H, Matsuoka K, Hisamatsu T, Watanabe K, Mizuno S, Suda W, Hattori M, Fukuda S, Hirayama A, Abe T, Watanabe M, Hibi T, Suzuki Y, Kanai T	Efficacy of Indigo naturalis in a Multicenter Randomized Controlled Trial of Patients with Ulcerative Colitis.	Gastroenterology	154,4	935-947	2018
Fukunaga S, Kuwaki K, Mitsuyama K, Takedatsu H, Yoshioka S, Yamasaki H, Yamauchi R, Mori A, Kakuma T, Tsuruta O, Torimura T	Detection of calprotectin in inflammatory bowel disease: Fecal and serum levels and immunohistochemical localization.	International Journal of Molecular Medicine	41,1	107-118	2018
Fukunaga S, Takedatsu H, Mitsuyama K, Torimura T	A Rare Case of Ulcerative Colitis with Neurofibromatosis Type 1	The Kurume Medical Journal	64,12	25-27	2018
Takedatsu H, Mitsuyama K, Fukunaga S, Yoshioka S, Yamauchi R, Mori A, Yamasaki H, Kuwaki K, Sakisaka H, Sakisaka S, Torimura T	Diagnostic and clinical role of serum proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibodies in inflammatory bowel disease	Journal of Gastroenterology and Hepatology		1603-1607	2018
Nagata S, Mitsuyama K, Kawano H, Noda T, Maeyama Y, Mukasa M, Takedatsu H, Yoshioka S, Kuwaki K, Akiba J, Tsuruta O, Torimura T	Endoscopic analysis of colorectal serrated lesions with cancer	Oncology Letters	15,6	8655-8662	2018
Maeyama Y, Mitsuyama K, Noda T, Nagata S, Nagata T, Yoshioka S, Yoshida H, Mukasa M, Sumie H, Kawano H, Akiba J, Araki Y, Kakuma T, Tsuruta O, Torimura T	Prediction of colorectal tumor grade and invasion depth through narrow-band imaging scoring	World Journal of Gastroenterology	24,42	4809-4820	2018
Yamauchi R, Araki T, Mitsuyama K, Tokito T, Ishii H, Yoshioka S, Kuwaki K, Mori A, Yoshimura T, Tsuruta O, Torimura T	The characteristics of nivolumab-induced colitis: an evaluation of three cases and a literature review	BMC Gastroenterology	18,1	135	2018
Araki T, Arinaga-Hino T, Koga H, Akiba J, Ide T, Okabe Y, Kuwahara R, Amano K, Yasumoto M, Kawaguchi T, Sano T, Kondou R, Kurata S, Mitsuyama K, Torimura T	Marked accumulation of FDG and inflammatory cells expressing glucose transporter-3 in IgG4-related autoimmune hepatitis	Hepatology Research	48,11	937-944	2018
永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田拓、中根智幸、大内彬弘、徳安秀紀、進藤洋一郎、火野坂淳、向笠道太、秋葉純、宗 祐人、上野恵里奈、河野弘志、 <u>光山慶一</u> 、鳥村拓司	内視鏡的粘膜下層剥離術にて切除し得た肛門管癌	胃と腸	53,7	980-985	2018
竹田津英稔、 <u>光山慶一</u>	炎症性メディエーター・サイトカインの関与	日本臨牀	76,3	87-93	2018
<u>光山慶一</u> 、森 敦、吉岡慎一郎、桑木光太郎、山内亨介	炎症性腸疾患に対する腸内細菌叢の是正を目的とした治療の有用性	日本臨牀	76,3	362-366	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
光山慶一	便秘症の診断と治療	臨牀と研究	95,2	223-226	2018
光山慶一	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔に対する幹細胞治療(Cx601)の長期効果と安全性	IBD Research	12,3	201	2018
Yamauchi R, Kominato K, Mitsuyama K, Takedatsu H, Yoshioka S, Kuwaki K, Yamasaki H, Fukunaga S, Mori A, Akiba J, Tsuruta O, Torimura T	Stereomicroscopic features of colitis-associated tumors in mice: Evaluation of pit pattern.	Oncology Letters	14,3	3675-3682	2017
Yoshioka S, Takedatsu H, Fukunaga S, Kuwaki K, Yamasaki H, Yamauchi R, Mori A, Kawano H, Yanagi T, Mizuochi T, Ushijima K, Mitsuyama K, Tsuruta O, Torimura T	Study to determine guidelines for pediatric colonoscopy	World Journal Gastroenterol	23,31	5773-5779	2017
Fukunaga S, Takedatsu H, Muta H, Mitsuyama K, Torimura T	An unusual cause of colonic stricture with polyps	Gut	66,5	1495	2017
Mori A, Yamasaki H, Takedatsu H, Mitsuyama K	Duodenal metastases from lung carcinoma	Internal Medicine	56,5	573-574	2017
河野弘志、鶴田 修、上野恵里奈、深水航、長 知徳、柴田 翔、渡邊裕次郎、山田康正、伊藤陽平、光山慶一、鳥村拓司	主題：大腸小・微小病変に対するcold polypectomyの意義と課題 大腸小・微小病変に対する内視鏡診断-拡大観察	胃と腸	52,12	1535-1543	2017
吉岡慎一郎、光山慶一	【図説「胃と腸」所見用語集2017】画像所見[腸] アфта,アфта様潰瘍(aphtha, aphthoid ulcer)	胃と腸	52,5	623	2017
福永秀平、光山慶一	【図説「胃と腸」所見用語集2017】画像所見[腸] 粘膜橋,粘膜紐, polypoid mucosal tag(mucosal bridge, mucosal tag)	胃と腸	52,5	648	2017
Naoki Yoshimura, Yoko Yokoyama, Fumihito Hirai, Koji Sawada, Nobuhito Kashiwagi, Yasuo Suzuki	Development of a C1q-immobilized (Cim) assay to measure total antibodies to infliximab and its clinical relevance in patients with inflammatory bowel disease	Cytokine	120	54-61	2019
岡野 荘、酒匂 美奈子、吉村 直樹、高添 正和	シクロスポリン持続静注療法にて手術を回避し得た巨大結腸症を呈した重症・劇症潰瘍性大腸炎3例の検討	日本消化器病学会雑誌	117(2)	157-164	2020
岡野 荘、石沢 千尋、酒匂 美奈子、吉村 直樹、阿部 佳、高添 正和	潰瘍性大腸炎術後の回腸嚢炎に上部消化管病変を合併した一例	Progress of Digestive Endoscopy	94(1)	49-51	2019
Watanabe K, Ohmiya N, Nakamura M, Fujiwara Y	A Prospective Study Evaluating the Clinical Utility of the Tag-Less Patency Capsule with Extended Time for Confirming Functional Patency	Digestion	in press		2020
Watanabe K, Motoya S, Ogata H, Kanai T, Matsui T, Suzuki Y, Shikamura M, Sugiura K, Oda K, Hori T, Araki T, Watanabe M, Hibi T.	Effects of vedolizumab in Japanese patients with Crohn's disease: a prospective, multicenter, randomized, placebo-controlled Phase 3 trial with exploratory analyses.	J Gastroenterol	55	291-306	2020
Miyazaki T, Watanabe K, Kojima K, Koshiha R, Fujimoto K, Sato T, Kawai M, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Hida N, Nakamura S.	Efficacies and related issues of ustekinumab in Japanese patients with Crohn's disease: a preliminary study	Digestion	101	53-59	2020
Shiro Oka, Toshio Uraoka, Kenji Watanabe, Keisuke Hata, Keisuke Kawasaki, Kenichi Mizuno, Masashi Misawa, Naoki Hosoe, Tomohiko Moriyama and Hiroshi Kawachi	Endoscopic diagnosis and treatment of ulcerative colitis-associated neoplasia	Dig Endosc	31 Suppl 1	26-30	2019
渡辺憲治、樋田信幸、岡 志郎、畑 啓介、江崎幹宏、平井郁仁、斎藤彰一、浦岡俊夫、櫻田博史、嶋本文雄、味岡洋一、斎藤 豊、岩男 泰、池内浩基、松本主之、田中信治、工藤進英	UC 関連腫瘍の内視鏡所見分類に関する多施設共同研究(Navigator Study 2)の紹介	胃と腸	55	208-211	2020
渡辺憲治	潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対するサーベイランス内視鏡は、リアルワールド外科切除例において全生存率の向上をもたらす	IBD Research	13	252-253	2019
渡辺憲治、樋田信幸、中村志郎	炎症性腸疾患関連腫瘍サーベイランスの精度向上に向けて	日本消化器病学会雑誌	116	878-890	2019

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
渡辺憲治、樋田信幸、中村志郎	実地内科医のための潰瘍性大腸炎診療ABC, Special situationの治療・将来展望: ワクチン接種	診断と治療	107	855-858	2019
渡辺憲治、上小鶴孝二、横山陽子、宮崎孝子、樋田信幸、中村志郎	炎症性腸疾患の検査法 4) CT・MRI診断	臨床消化器内科	34	55-59	2019
渡辺憲治、中村志郎	小腸・大腸【潰瘍性大腸炎】 病態分類(拡がりによる病型分類、病期分類、重症度分類など)	胃と腸 2019年増刊号、消化管疾患の分類2019 使い方、使われ方	54	698-699	2019
Shiro Nakamura, Hirotsugu Imaeda, Hiroki Nishikawa, Masaki Iimuro, Minoru Matsuura, Hideo Oka, Junsuke Oku, Takako Miyazaki, Hirohito Honda, Kenji Watanabe, Hiroshi Nakase, Akira Andoh	Usefulness of fecal calprotectin by monoclonal antibody testing in adult Japanese with inflammatory bowel diseases: A prospective multicenter study	Intest Res.	16	554 - 562	2018
Soetikno R, East J, Suzuki N, Uedo N, Matsumoto T, Watanabe K, Sanduleanu S, Sanchez-Yague A, Kaltenbach T.	Usefulness of fecal calprotectin by monoclonal antibody testing in adult Japanese with inflammatory bowel diseases: A prospective multicenter study	Gastrointest Endosc.	87	1085-1094	2018
Kenji Watanabe, Takayuki Matsumoto, Tadakazu Hisamatsu, Hiroshi Nakase, Satoshi Motoya, Naoki Yoshimura, Tetsuya Ishida, Shingo Kato, Tomoo Nakagawa, Motohiro Esaki, Masakazu Nagahori, Toshiyuki Matsui, Yuji Naito, Takanori Kanai, Yasuo Suzuki, Masanori Nojima, Mamoru Watanabe, and Toshifumi Hibi, the DIAMOND study group.	Clinical and pharmacokinetic factors associated with adalimumab-induced mucosal healing in patients with Crohn's disease	Clin Gastroenterol Hepatol.	16	542-549	2018
Hosomi S, Watanabe K, Nishida Y, Yamagami H, Yukawa T, Otani K, Nagami Y, Tanaka F, Taira K, Kamata N, Tanigawa T, Shiba M, Watanabe T, Nagahara H, Maeda K, Fujiwara Y.	Combined infection of human herpes viruses: a risk factor for subsequent colectomy in ulcerative colitis	Inflamm Bowel Dis.	24	1307-1315	2018
渡辺憲治、樋田信幸、中村志郎	潰瘍性大腸炎関連腫瘍サーベイランス内視鏡の最前線	兵医大医会誌	43	33 - 37	2019
渡辺憲治、宮崎孝子、樋田信幸、中村志郎、味岡洋一	UCにおける IEE を用いたサーベイランスと Colitis associated dysplasia/cancer の IEE 診断	消化器内視鏡	30	1712 - 1714	2018
渡辺憲治、小島健太郎、藤本晃士、小柴良司、佐藤寿行、河合幹夫、上小鶴孝二、高川哲也、横山陽子、宮崎孝子、樋田信幸、中村志郎	IBD 患者の感染合併症	IBD Research	12	231 - 236	2018
日比紀文、渡辺 守、Laurent Peyrin-Biroulet、本谷 聡、松本主之、久松理一、猿田雅之、渡辺憲治	IBD 治療の展望	医薬ジャーナル	54	1670 - 1676	2018
渡辺憲治、樋田信幸、宮崎孝子、佐藤寿行、河合幹夫、上小鶴孝二、高川哲也、横山陽子、中村志郎	炎症性腸疾患の粘膜治癒を考える 各論 1. 潰瘍性大腸炎 (2) 色素拡大内視鏡・NBI	Intestine	22	324 - 329	2018
渡辺憲治、西下正和、横山陽子、宮崎孝子、樋田信幸、中村志郎	特集: 大腸腫瘍治療後のサーベイランス 潰瘍性大腸炎の dysplasia	臨床消化器内科	8	1045-1050	2018
渡辺憲治、上小鶴孝二、宮崎孝子、樋田信幸、中村志郎	炎症性腸疾患の検査・診断 4. 炎症性腸疾患の画像診断 (6) CT・MRI診断 1) CT・MRI診断概論	日本臨床 増刊号 炎症性腸疾患 (第2版) 病因解明と診断・治療の最新知見	76	220-225	2018
中村志郎、樋田信幸、渡辺憲治	炎症性腸疾患治療の最前線 - 治療指針・ガイドラインを踏まえて -	日本消化器病学会雑誌	115	233-243	2018
渡辺 憲治、樋田 信幸、宮崎 孝子、藤森 絢子、小柴 良司、藤本 晃士、佐藤 寿行、木田 裕子、河合 幹夫、上小鶴 孝二、高川 哲也、横山 陽子、中村 志郎	潰瘍性大腸炎の内視鏡的重症度評価 NBI拡大内視鏡所見からみた重症度	胃と腸	53	177-181	2018
渡辺憲治、村野実之、西下正和、大森敏秀	患者さんのためのIBD治療～GMA治療の位置付けを再考する～	CC Japan	102	34-37	2018

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
渡辺 憲治, 藤森 絢子, 小柴 良司, 藤本 晃士, 佐藤 寿行, 木田 裕子, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 宮崎 孝子, 樋田 信幸, 中村 志郎	今後本邦で承認が見込まれるクローン病治療薬の特徴	消化器の臨床	21	48-52	2018
渡辺 憲治, 樋田 信幸, 宮崎 孝子, 佐藤 寿行, 河合 幹夫, 上小鶴 孝二, 高川 哲也, 横山 陽子, 中村 志郎	潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する至適サーベイランス法の検討 インジゴカルミン色素散布法 vs NBI法	Intestine	22	53 - 58	2018
宮崎 孝子, 渡辺 憲治, 樋田 信幸, 中村 志郎	潰瘍性大腸炎に対する生物学的製剤の適応	消化器・肝臓内科	3	28-33	2018
Yoko Yokoyama, Koji Kamikozuru, Kenji Watanabe, Shiro Nakamura	Inflammatory bowel disease patients experiencing a loss of response to infliximab regain long-term response after undergoing granulocyte/monocyte apheresis: A case series	Cytokine	2017 Dec 29;103:25-28. doi: 10.1016/j.cyto.2017.12.030.		2018
Nishida Y, Hosomi S, Watanabe K, Watanabe K, Yukawa T, Otani K, Nagami Y, Tanaka F, Taira K, Kamata N, Yamagami H, Tanigawa T, Watanabe T, Fujiwara Y.	Serum interleukin-6 level is associated with response to infliximab in ulcerative colitis	Scand J Gastroenterol	2017 Nov 24:1-7. doi: 10.1080/00365521.2017.1403647.		2017
Kenji Watanabe, Takayuki Matsumoto, Tadakazu Hisamatsu, Hiroshi Nakase, Satoshi Motoya, Naoki Yoshimura, Tetsuya Ishida, Shingo Kato, Tomoo Nakagawa, Motohiro Esaki, Masakazu Nagahori, Toshiyuki Matsui, Yuji Naito, Takanori Kanai, Yasuo Suzuki, Masanori Nojima, Mamoru Watanabe, and Toshifumi Hibi, the DIAMOND study group.	Clinical and pharmacokinetic factors associated with adalimumab-induced mucosal healing in patients with Crohn's disease	Clin Gastroenterol Hepatol.	2017 Nov 11. pii: S1542-3565(17)31303-4. doi: 10.1016/j.cgh.2017.10.036.		2017
Sugita N, Watanabe K, Kamata N, Yukawa T, Otani K, Hosomi S, Nagami Y, Tanaka F, Taira K, Yamagami H, Tanigawa T, Shiba M, Watanabe T, Tominaga K, Kabata D, Shintani A, Arakawa T, Fujiwara Y.	Efficacy of a concomitant elemental diet to reduce the loss of response to adalimumab in patients with intractable Crohn's disease.	J Gastroenterol Hepatol.	2017 Aug 30. doi: 10.1111/jgh.13969.		2017
Toshifumi Hibi, Remo Panaccione, Miiko Katafuchi, Kaoru Yokoyama, Kenji Watanabe, Toshiyuki Matsui, Takayuki Matsumoto, Simon Travis, Yasuo Suzuki	The 5C Concept and 5S Principles in Inflammatory Bowel Disease Management	J Crohns Colitis	11	1302-1308	2017
Yamamoto H, Ogata H, Matsumoto T, Ohmiya N, Ohtsuka K, Watanabe K, Yano T, Matsui T, Higuchi K, Nakamura T, Fujimoto K	Clinical Practice Guideline for Enteroscopy	Dig Endosc	29	519-546	2017
Daisuke Tokuhara, Kenji Watanabe, Yuki Cho, Haruo Shintaku	Patency Capsule Tolerability in School-Aged Children	Digestion	96	46-51	2017
渡辺憲治	クローン病治療における抗TNF製剤と栄養療法の併用意義	クリニシアン	64	675 - 679	2017